

i . 子育てに関するアンケート調査

《対象：就学前児童の保護者》

1 回答者の住まい

(1)お住まいの小学校区(単一回答)

問1 お住まいの小学校区(校下)名(お送りした封筒の住所の上に記載してあります)を教えてください。あてはまるもの1つをお選びください。※小学校区は50音順に並んでいます。

・「戸板」校区、「米丸」校区が4.4%、「鞍月」校区が4.1%などとなっています。

区分	票数	0%	5%	10%
朝霧台	41	2.3%		
浅野川	38	2.1%		
浅野町	29	1.6%		
栗崎	22	1.2%		
医王山	1	0.1%		
泉	46	2.5%		
泉野	29	1.6%		
内川	2	0.1%		
扇台	20	1.1%		
大浦	32	1.8%		
大野町	13	0.7%		
押野	34	1.9%		
金石	23	1.3%		
木曳野	51	2.8%		
鞍月	75	4.1%		
兼六	42	2.3%		
小坂	64	3.5%		
小立野	43	2.4%		
犀桜	33	1.8%		
犀川	10	0.6%		
四十万	31	1.7%		
十一屋	26	1.4%		
新神田	24	1.3%		
西南部	43	2.4%		
大徳	64	3.5%		
田上	17	0.9%		
千坂	50	2.8%		
中央	36	2.0%		

区分	票数	0%	5%	10%
戸板	80	4.4%		
富樫	37	2.0%		
長坂台	58	3.2%		
長田町	30	1.7%		
中村町	24	1.3%		
西	20	1.1%		
額	48	2.6%		
花園	3	0.2%		
馬場	7	0.4%		
伏見台	46	2.5%		
不動寺	5	0.3%		
三谷	0	0.0%		
緑	47	2.6%		
南小立野	60	3.3%		
三和	32	1.8%		
三馬	52	2.9%		
明成	21	1.2%		
杜の里	38	2.1%		
森本	43	2.4%		
森山町	24	1.3%		
諸江町	57	3.1%		
安原	14	0.8%		
夕日寺	17	0.9%		
湯涌	1	0.1%		
米泉	28	1.5%		
米丸	80	4.4%		
無効・無回答	1	0.1%		
n(回答者数)	1,812			

2 回答者の属性

(1)対象の子どもの年齢(単一回答)

問2 あて名のお子さんの生年月をお答えください。

・「0歳児」が24.2%と、他の年齢が9~15%であるのに比べて、やや多くなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
0歳	438						
1歳	247	13.6%					
2歳	229	12.6%					
3歳	255	14.1%					
4歳	274	15.1%					
5歳	192	10.6%					
6歳	167	9.2%					
無効・無回答	10	0.6%					
n (回答者数)	1,812						

(2)子どもの人数

問3 あて名のお子さんの兄弟姉妹は何人いますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上のお子さんがある場合は、末子の生年月をお答えください。

- ・兄弟姉妹の人数を尋ねたところ、「1人」との回答が46.2%と最も多くなっています。「2人」との回答は38.2%です。
- ・末子年齢は「0歳」との回答が最も多く28.9%となりました。年齢が上がるにつれて徐々に少なくなっています。

兄弟姉妹の人数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1人	837	46.2%					
2人	692	38.2%					
3人	245	13.5%					
4人	25	1.4%					
5人以上	8	0.4%					
無効・無回答	5	0.3%					
n (回答者数)	1,812						

末子の年齢(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
0歳	280	28.9%					
1歳	173	17.8%					
2歳	135	13.9%					
3歳	116	12.0%					
4歳	99	10.2%					
5歳	78	8.0%					
6歳	55	5.7%					
無効・無回答	34	3.5%					
n (回答者数)	970						

(3)調査票の回答者(単一回答)

問4 アンケートの記入者はどなたですか。あてはまるもの1つをお選びください。(続柄はあて名のお子さんからみた関係です)

- ・調査票の回答者は88.2%が「母親」と回答しています。父親の11.6%をあわせると、ほぼ100%となります。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
母親	1,598						
父親	210						
その他	1						
無効・無回答	3						
n (回答者数)	1,812						

(4)調査票の回答者の配偶関係の有無(単一回答)

問5 アンケートの記入者の配偶関係をお答えください。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・97.2%は「配偶者・パートナーがいる」と回答しており、「配偶者・パートナーはいない」との回答は2.8%でした。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
配偶者・パートナーがいる	1,761						
配偶者・パートナーはいない	50						
無効・無回答	1						
n (回答者数)	1,812						

(5)子育てを主に行っている方(単一回答)

問6 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまるもの1つをお選びください。(続柄はあて名のお子さんからみた関係です)

- ・子育てを主に行っている方を尋ねたところ、「父母ともに」との回答が70.1%、「主に母親」との回答は28.9%と、2つの回答でほぼ100%となります。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
父母ともに	1,271	70.1%					
主に母親	523	28.9%					
主に父親	4	0.2%					
主に祖父母	9	0.5%					
その他	3	0.2%					
無効・無回答	2	0.1%					
n (回答者数)	1,812						

(6)子どもを見てもらえる親族・知人の有無(複数回答)

問7 日頃、あて名のお子さんを、みてもらえる親族・知人はいますか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」との回答が62.3%と最も多くなっています。
- ・一方で、「いずれもない」との回答は13.1%でした。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	513	28.3%					
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	1,129	62.3%					
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	22	1.2%					
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	126	7.0%					
いずれもない	237	13.1%					
無効・無回答	1	0.1%					
n (回答者数)	1,812						

3 保護者の就労状況

(1)保護者の現在の就労状況(単一回答)

問8 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。

【母親】

(1) 母親について あてはまるもの1つをお選びください。（父子家庭の場合は記入不要です。）

※フルタイムは1週5日・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等はフルタイム以外の就労です。

- ・母親の就労状況を見ると、「フルタイム」での就労が57.2%と半数を超えています。フルタイムで勤務している人の、育児休業等の取得状況は、「就労中」が35.0%に対して「休業中」が22.2%となっています。
- ・一方、就労形態が「パート・アルバイト等」では「就労中」が23.2%に対して、「休業中」は3.6%と、フルタイムに比べて低い値となっています。

母親の就労状況(単一回答)

区分		票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
フルタイム	就労中	635	35.0%					
	休業中	403	22.2%					
パート・アルバイト等	就労中	421	23.2%					
	休業中	66	3.6%					
無職	就労経験あり	277	15.3%					
	就労経験なし	5	0.3%					
無効・無回答		5	0.3%					
n（回答者数）		1,812						

年齢別×母親の就労状況

- ・子どもの年齢別に母親の就労状況を見ていくと、子どもが3歳までの期間は、子どもの年齢が幼いほど「フルタイム(休業中)」の割合が高くなっており、子どもが0歳児の母親は56.8%となっています。
- ・また、「パート・アルバイト等(就労中)」の割合は、子どもが0歳の母親は5.3%ですが、子どもが4歳以上の母親は3割を超えています。

上段：票数 下段：割合	母親の就労状況						
	n (回答者数)	フルタイム (就労中)	フルタイム (休業中)	パート・ア ルバイト等 (就労中)	パート・ア ルバイト等 (休業中)	無職 (就労経験 あり)	無職 (就労経験 なし)
全体	1,812	635	403	421	66	277	5
	100.0%	35.0%	22.2%	23.2%	3.6%	15.3%	0.3%
0歳	438	48	249	23	33	82	2
	100.0%	11.0%	56.8%	5.3%	7.5%	18.7%	0.5%
1歳	247	97	51	61	7	31	0
	100.0%	39.3%	20.6%	24.7%	2.8%	12.6%	0.0%
2歳	229	97	30	62	9	30	0
	100.0%	42.4%	13.1%	27.1%	3.9%	13.1%	0.0%
3歳	255	121	21	65	7	36	3
	100.0%	47.5%	8.2%	25.5%	2.7%	14.1%	1.2%
4歳	274	112	29	83	7	43	0
	100.0%	40.9%	10.6%	30.3%	2.6%	15.7%	0.0%
5歳	192	87	14	66	1	24	0
	100.0%	45.3%	7.3%	34.4%	0.5%	12.5%	0.0%
6歳	167	69	7	59	2	30	0
	100.0%	41.3%	4.2%	35.3%	1.2%	18.0%	0.0%
無効・無回答	10	4	2	2	0	1	0
	100.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%

問 8(1)母親で「1～4」(就労している)を選んだ方

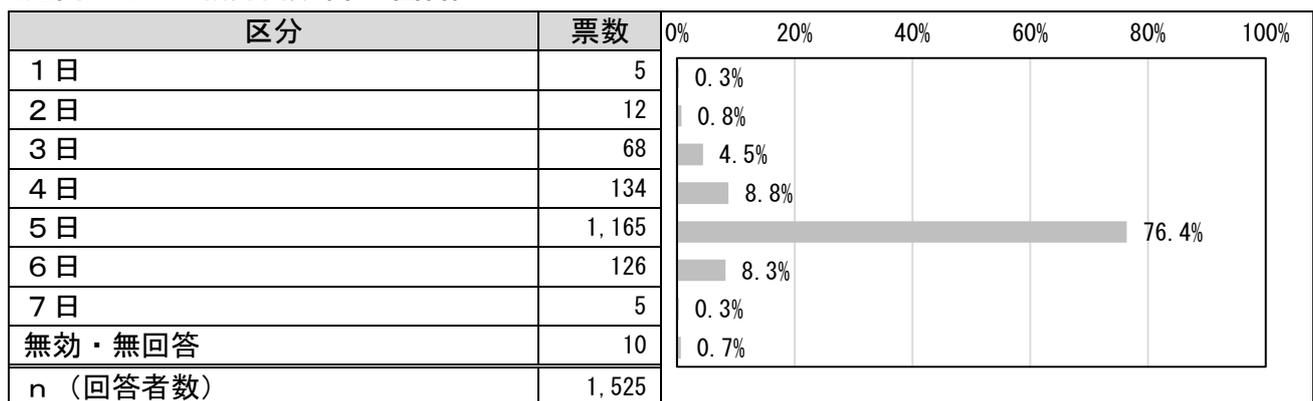
(1) - 1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、家を出る時間、帰宅時間をお答えください。また、就労日に土曜日、日曜日・祝日が含まれる場合は、あてはまるものをお選びください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて記入してください。

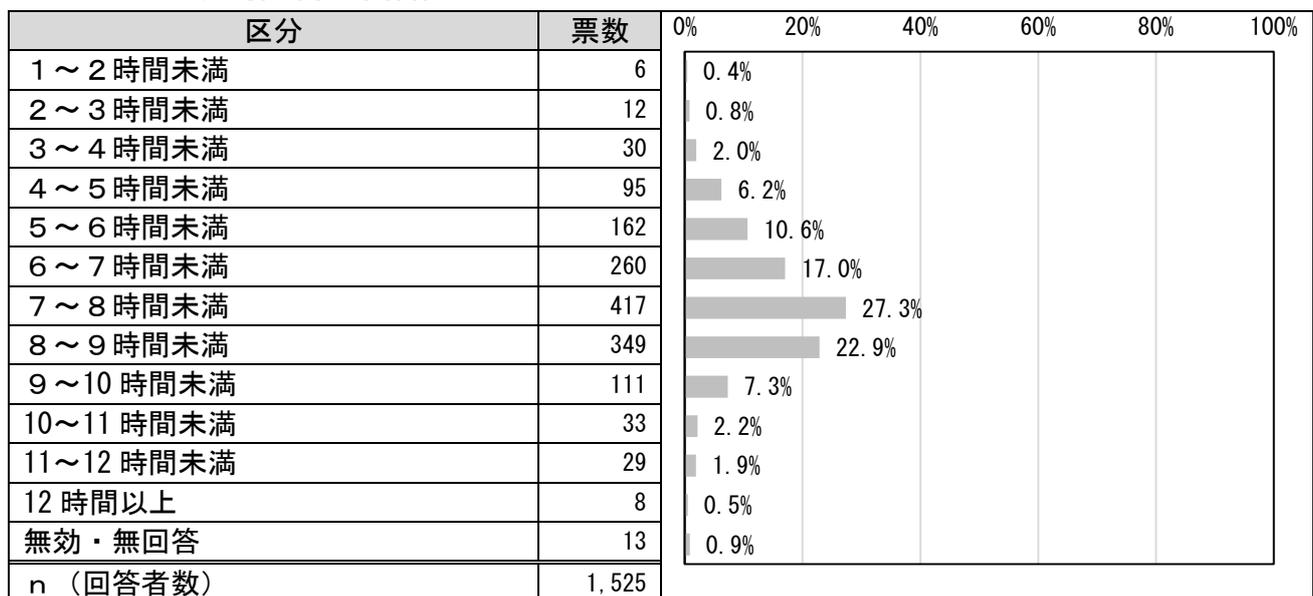
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について記入してください。

- ・1週間あたりの就労日数で最も多い回答は、「5日」の76.4%となります。また、1日あたりの就労時間で最も多い回答は「7～8時間未満」の27.3%となります。
- ・家を出る時間は7時台が42.1%、帰宅時間は17時台が21.4%との回答が最も多くなっています。
- ・それぞれ最も多い回答を組み合わせると「週5日、1日あたり7～8時間勤務で、7時台に家を出て17時台に帰宅する」という生活パターンになります。
- ・なお、土曜日に就労しているとの回答は、35.3%と就労をしている方全体の約3分の1を占め、日曜・祝日は18.7%です。

1週間あたりの就労日数(単一回答)



1日あたりの就労時間(単一回答)



就労日(複数回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
平日	1,507						
土曜日	538						
日曜日・祝日	285						
無効・無回答	10						
n(回答者数)	1,525						

家を出る時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
0時台	0	0.0%		
1時台	0	0.0%		
2時台	1	0.1%		
3時台	0	0.0%		
4時台	4	0.3%		
5時台	3	0.2%		
6時台	42	2.8%		
7時台	642		42.1%	
8時台	636		41.7%	
9時台	136		8.9%	
10時台	24	1.6%		
11時台	2	0.1%		
12時台	3	0.2%		
13時台	1	0.1%		
14時台	1	0.1%		
15時台	3	0.2%		
16時台	2	0.1%		
17時台	1	0.1%		
18時台	2	0.1%		
19時台	0	0.0%		
20時台	1	0.1%		
21時台	0	0.0%		
22時台	0	0.0%		
23時台	0	0.0%		
無効・無回答	21	1.4%		
n(回答者数)	1,525			

帰宅時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
0時台	0	0.0%		
1時台	7	0.5%		
2時台	22	1.4%		
3時台	24	1.6%		
4時台	74	4.9%		
5時台	139	9.1%		
6時台	142	9.3%		
7時台	57	3.7%		
8時台	16	1.0%		
9時台	7	0.5%		
10時台	1	0.1%		
11時台	4	0.3%		
12時台	11	0.7%		
13時台	19	1.2%		
14時台	29	1.9%		
15時台	57	3.7%		
16時台	151	9.9%		
17時台	326	21.4%		
18時台	316	20.7%		
19時台	69	4.5%		
20時台	24	1.6%		
21時台	4	0.3%		
22時台	4	0.3%		
23時台	1	0.1%		
無効・無回答	21	1.4%		
n(回答者数)	1,525			

【父親】

(2) 父親について あてはまるもの1つをお選びください。(母子家庭の場合は記入不要です。)

※フルタイムは1週5日・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等はフルタイム以外の就労です。

・父親は「フルタイムで就労中」との回答が94.6%と回答者の大部分を占めました。休業中との回答は1.2%でした。

父親の就労状況(単一回答)

区分		票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
フルタイム	就労中	1,715						
	休業中	21						
パート・アルバイト等	就労中	10						
	休業中	0						
無職	就労経験あり	10						
	就労経験なし	1						
無効・無回答		55						
n (回答者数)		1,812						

問8(2)父親で「1~4」(就労している)を選んだ方

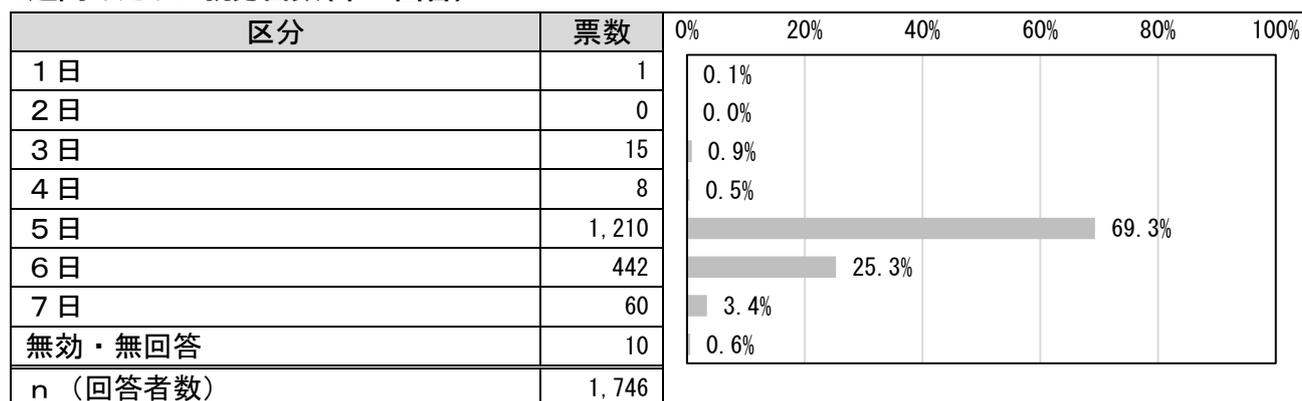
(2) - 1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、家を出る時間、帰宅時間をお答えください。また、就労日に土曜日、日曜日・祝日が含まれる場合は、あてはまるものをお選びください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて記入してください。

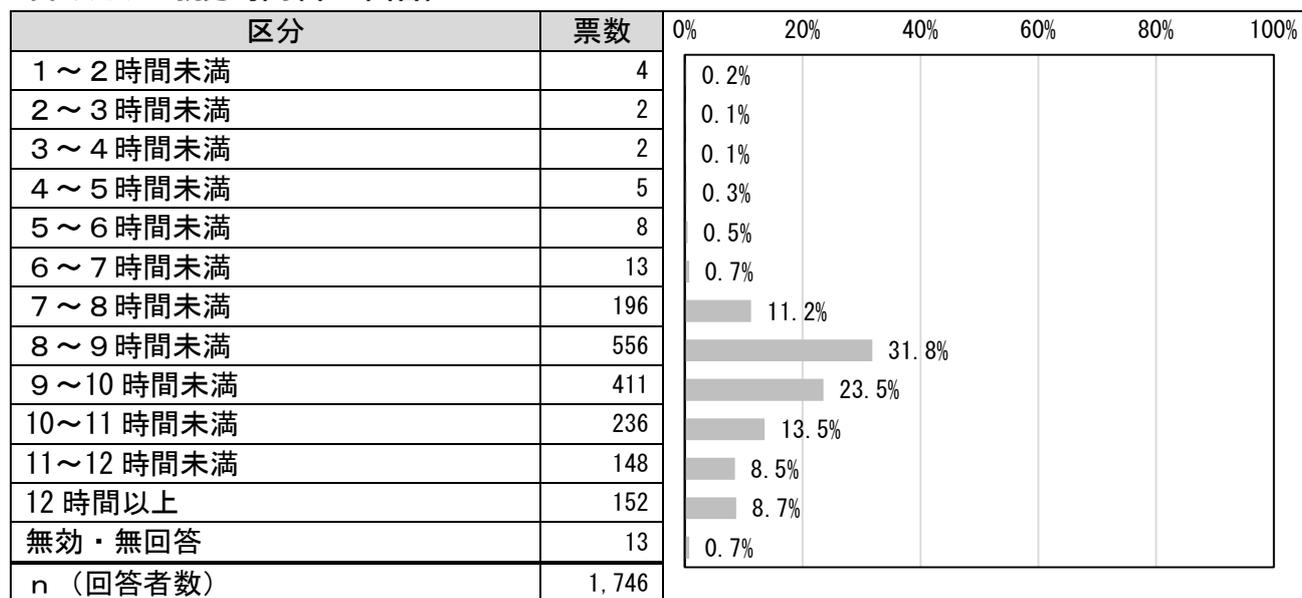
※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について記入してください。

- ・就労状況を見ていくと、1週間あたりの就労日数は「5日」との回答が69.3%、「6日」との回答が25.3%となりました。
- ・1日あたりの就労時間は「8~9時間未満」との回答が最も多く31.8%でした。8時間以上の回答は合計すると86.1%となります。
- ・それぞれ最も多い回答を組み合わせると「週5日、1日あたり8~9時間勤務で、7時台(47.2%)に家を出て、18時台(16.8%)に帰宅する」という生活パターンになります。
- ・なお、土曜日に就労しているとの回答は50.5%、日曜・祝日の就労は30.5%です。

1週間あたりの就労日数(単一回答)



1日あたりの就労時間(単一回答)



就労日(複数回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
平日	1,718						
土曜日	881						
日曜日・祝日	533						
無効・無回答	14						
n(回答者数)	1,746						

家を出る時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
0時台	4	0.2%		
1時台	5	0.3%		
2時台	5	0.3%		
3時台	3	0.2%		
4時台	9	0.5%		
5時台	32	1.8%		
6時台	250	14.3%		
7時台	824	47.2%		
8時台	453	25.9%		
9時台	71	4.1%		
10時台	23	1.3%		
11時台	5	0.3%		
12時台	9	0.5%		
13時台	6	0.3%		
14時台	1	0.1%		
15時台	0	0.0%		
16時台	4	0.2%		
17時台	3	0.2%		
18時台	0	0.0%		
19時台	2	0.1%		
20時台	1	0.1%		
21時台	1	0.1%		
22時台	1	0.1%		
23時台	1	0.1%		
無効・無回答	33	1.9%		
n(回答者数)	1,746			

帰宅時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
0時台	9	0.5%		
1時台	6	0.3%		
2時台	2	0.1%		
3時台	5	0.3%		
4時台	5	0.3%		
5時台	55	3.2%		
6時台	141	8.1%		
7時台	142	8.1%		
8時台	133	7.6%		
9時台	89	5.1%		
10時台	36	2.1%		
11時台	19	1.1%		
12時台	13	0.7%		
13時台	1	0.1%		
14時台	2	0.1%		
15時台	8	0.5%		
16時台	21	1.2%		
17時台	103	5.9%		
18時台	294	16.8%		
19時台	264	15.1%		
20時台	204	11.7%		
21時台	72	4.1%		
22時台	65	3.7%		
23時台	23	1.3%		
無効・無回答	34	1.9%		
n(回答者数)	1,746			

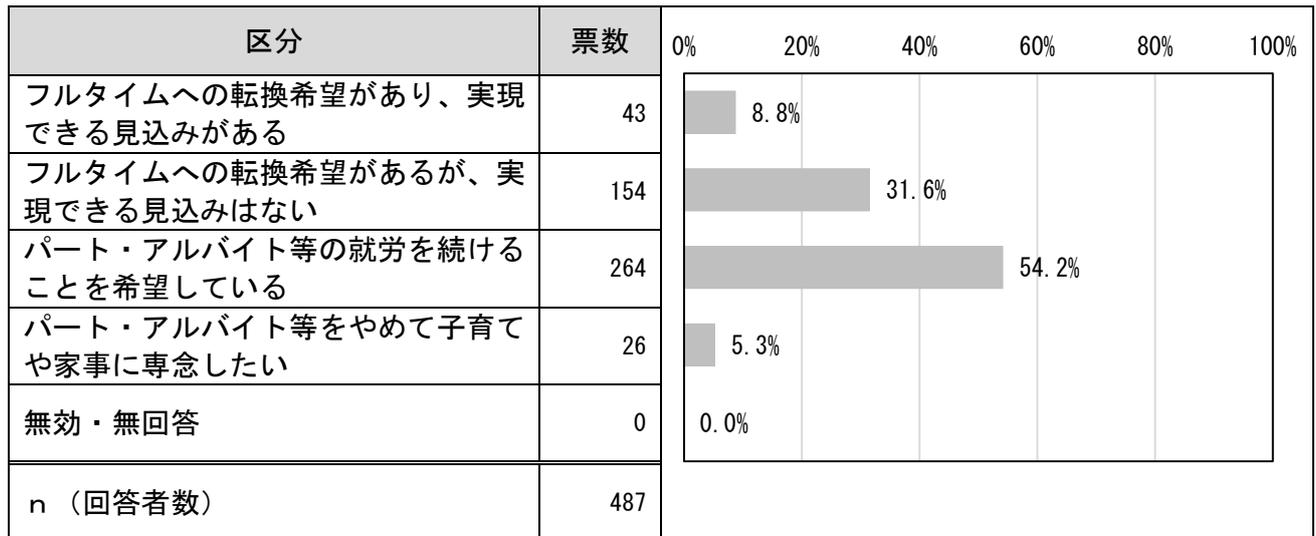
(2)パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望

問 8 の(1)母親または(2)父親で「3~4」(パート・アルバイト等で就労している)を選んだ方

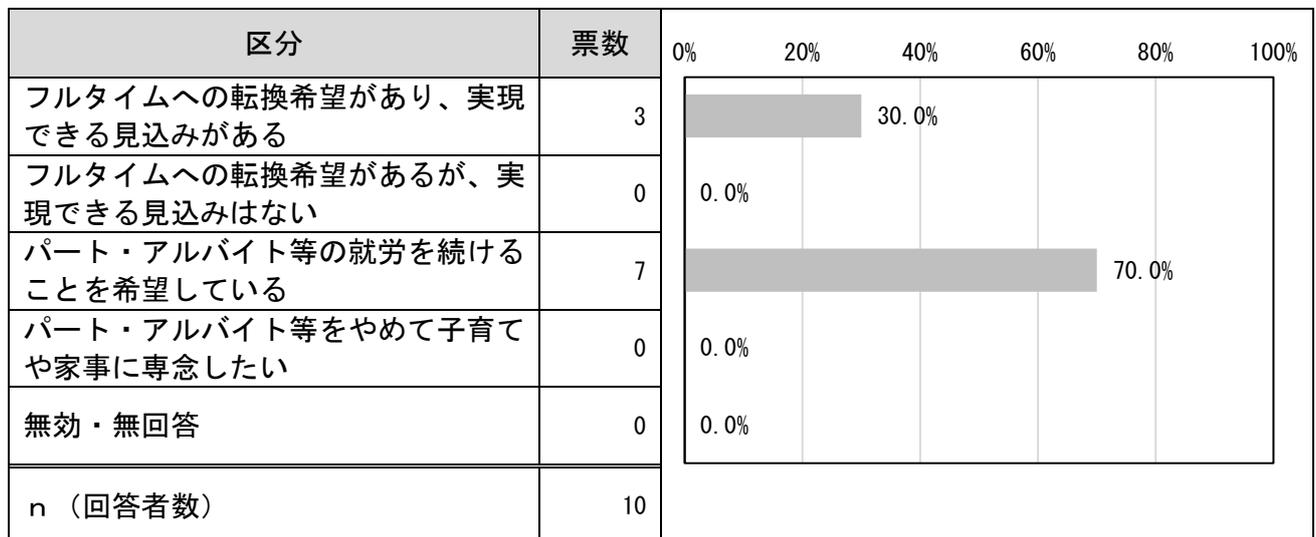
問 9 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が54.2%と最も高くなっています。

(1)母親(単一回答)



(2)父親(単一回答)



(3)現在就労していない方の就労希望

問8の(1)母親または(2)父親で「5・6」(就労していない)を選んだ方

問10 就労したいという希望はありますか。あてはまるものそれぞれ1つをお選びください。

(1)母親

- ・現在就労していない方の就労希望についてみると、母親では「1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい」が53.9%と最も高くなっています。
- ・また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかについては、母親では「6歳以上」が35.5%と最も高くなっています。
- ・「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方の希望する就労形態については、母親では「パート・アルバイト等」が78.8%となり、「フルタイム」は21.3%です。
- ・また、1週あたりの就労日数については、母親では「4日」が41.3%と最も高く、ついで「3日」が38.1%となっています。
- ・希望する1日あたりの就労時間では、母親では「4～5時間未満」(42.9%)の割合が最も高くなっています。
- ・父親はサンプル数が多くありませんが、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」との回答が63.6%となりました。

母親の就労希望(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	49	17.4%					
1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい	152	53.9%					
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	80	28.4%					
無効・無回答	1	0.4%					
n(回答者数)	282						

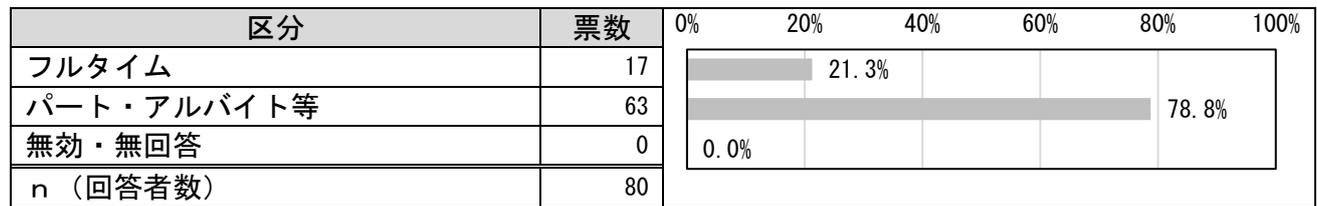
問10で「2.1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい」を選んだ方

就労時の子どもの年齢(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1歳	12	7.9%					
2歳	19	12.5%					
3歳	48	31.6%					
4歳	13	8.6%					
5歳	6	3.9%					
6歳以上	54	35.5%					
無効・無回答	0	0.0%					
n(回答者数)	152						

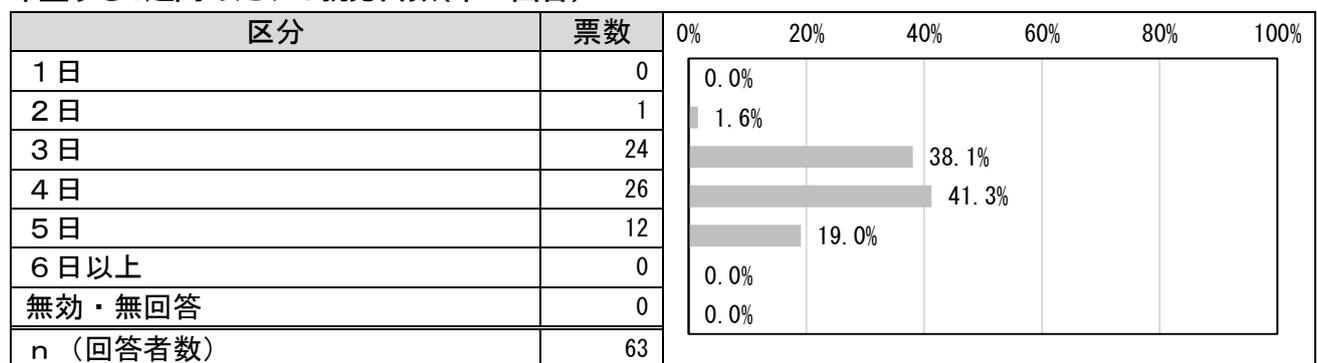
問 10 で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

希望する就労の形態(単一回答)

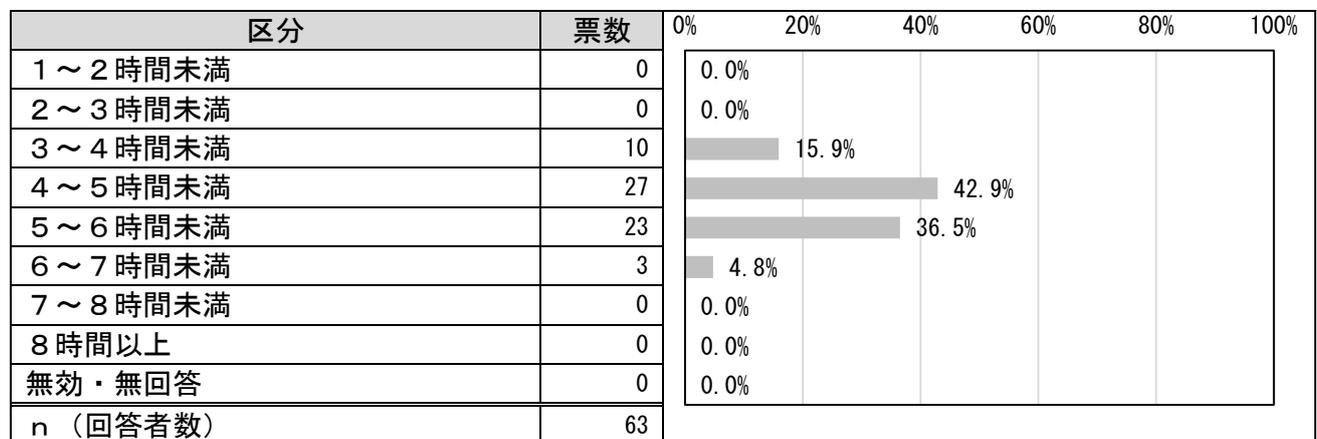


希望する就労の形態で「イ. パート・アルバイト等(「ア. フルタイム」以外)」を選んだ方

希望する1週間あたりの就労日数(単一回答)



希望する1日あたりの就労時間(単一回答)



(2)父親

父親の就労希望(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	2	18.2%					
1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい	1	9.1%					
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	7	63.6%					
無効・無回答	1	9.1%					
n（回答者数）	11						

問10で「2. 1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったところに就労したい」を選んだ方

就労時の子どもの年齢(単一回答)

・有効な回答者は1人で、3歳と回答していました。

問10で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

希望する就労の形態(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
フルタイム	6	85.7%					
パート・アルバイト等	1	14.3%					
無効・無回答	0	0.0%					
n（回答者数）	7						

希望する就労の形態で「イ. パート・アルバイト等(「ア. フルタイム」以外)」を選んだ方

希望する1週間あたりの就労日数(単一回答)

・有効な回答者は1人で、4日と回答していました。

希望する1日あたりの就労時間(単一回答)

・有効な回答者は1人で、9時間以上と回答していました。

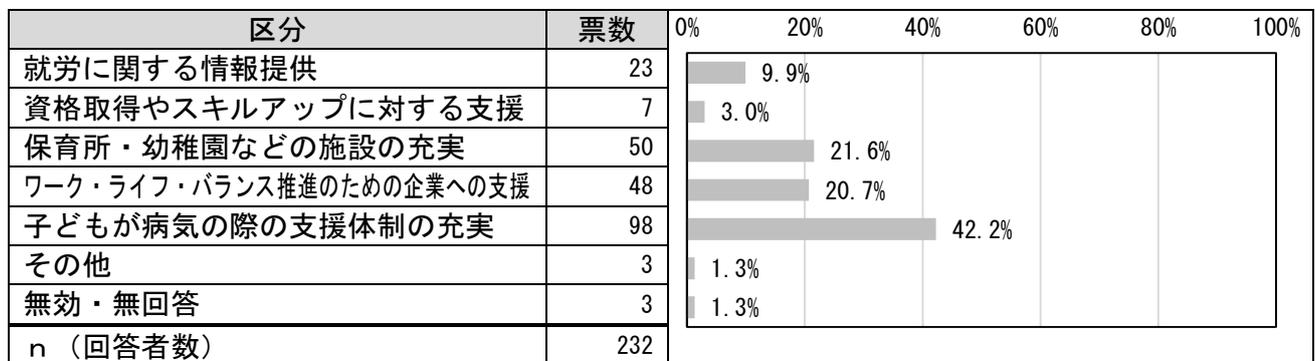
(4)就職時に必要とされる支援や対策

問 10 の (1)母親または(2)父親の就労希望で「2・3」(就労したい)を選んだ方

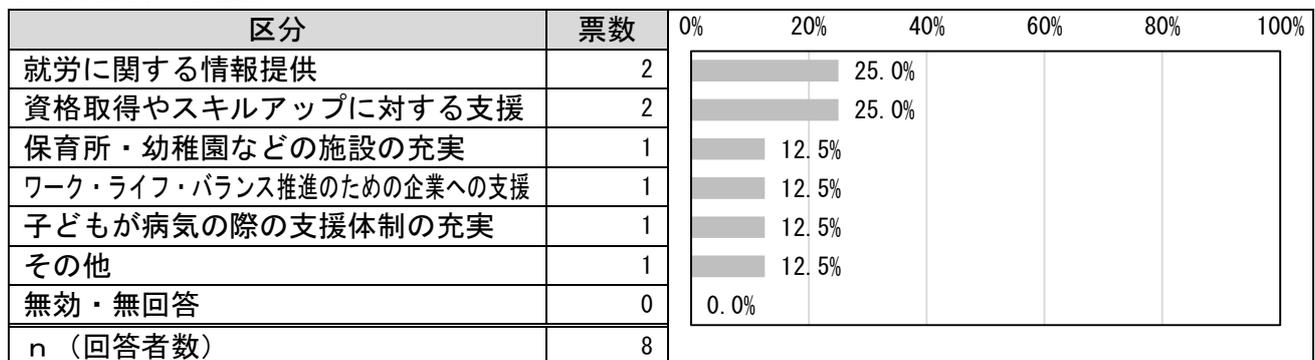
問10-1 就職または再就職するにあたって、どのような支援をもっとも必要としていますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・就職時に必要とされるの就労支援制度について尋ねたところ、母親では「子どもが病気の際の支援体制の充実」が 42.2%と最も高く、ついで「保育所・幼稚園などの施設の充実」(21.6%)、「ワーク・ライフ・バランス推進のための企業への支援」(20.7%)と続きます。
- ・父親は、サンプル数が少ないですが、子育て支援制度よりも「就労に関する情報提供」、「資格取得やスキルアップに対する支援」のニーズが高くなっています。

(1)母親(単一回答)



(2)父親(単一回答)



4 あて名のお子さんの平日の定期的な保育所・幼稚園などの利用状況

(1) 定期的な保育所・幼稚園などの利用の有無(単一回答)

問 11 あて名のお子さんは現在、定期的に保育所・幼稚園などを利用されていますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・平日の定期的な保育所・幼稚園などの利用の有無について尋ねたところ、「利用している」との回答は72.2%と全体の約4分の3を占めています。「利用していない」との回答は27.5%でした。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用している	1,309	72.2%					
利用していない	498	27.5%					
無効・無回答	5	0.3%					
n (回答者数)	1,812						

子どもの人数×保育所・幼稚園などの利用の有無

- ・子どもの人数別に保育所・幼稚園などの利用の有無をみていくと、3人までは子どもの人数が多くなるに従って、「利用している」との回答が多くなる傾向にあります(4人以上はサンプル数が少ない)。

上段：票数 下段：割合	保育所・幼稚園などの利用の有無			
	n (回答者数)	利用している	利用していない	無効・無回答
全体	1,812	1,309	498	5
	100.0%	72.2%	27.5%	0.3%
1人	837	506	329	2
	100.0%	60.5%	39.3%	0.2%
2人	692	558	134	0
	100.0%	80.6%	19.4%	0.0%
3人	245	217	27	1
	100.0%	88.6%	11.0%	0.4%
4人	25	20	4	1
	100.0%	80.0%	16.0%	4.0%
5人以上	8	4	4	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
無効・無回答	5	4	0	1
	100.0%	80.0%	0.0%	20.0%

母親の就労状況×保育所・幼稚園などの利用の有無

- ・母親の就労状況別でみていくと「フルタイムで就労中」、「パート・アルバイト等で就労中」で「利用している」との回答が9割を超えています。

上段：票数 下段：割合	保育所・幼稚園などの利用の有無			
	n（回答者数）	利用している	利用していない	無効・無回答
全体	1,812	1,309	498	5
	100.0%	72.2%	27.5%	0.3%
フルタイム （就労中）	635	615	20	0
	100.0%	96.9%	3.1%	0.0%
フルタイム （休業中）	403	115	286	2
	100.0%	28.5%	71.0%	0.5%
パート・アル バイト等（就労中）	421	403	17	1
	100.0%	95.7%	4.0%	0.2%
パート・アル バイト等（休業中）	66	28	38	0
	100.0%	42.4%	57.6%	0.0%
無職 （就労経験あり）	277	142	134	1
	100.0%	51.3%	48.4%	0.4%
無職 （就労経験なし）	5	3	2	0
	100.0%	60.0%	40.0%	0.0%
無効・無回答	5	3	1	1
	100.0%	60.0%	20.0%	20.0%

年齢別×保育所・幼稚園などの利用の有無

- ・子どもの年齢別にみていくと年齢が上がるにつれて「利用している」との回答が増える傾向がみられます（6歳は5歳・4歳と比べやや少ない）。
- ・0歳では「利用している」との回答は15.3%、1歳では64.4%に対し、3歳以上ではほぼ全数が「利用している」と回答しています。

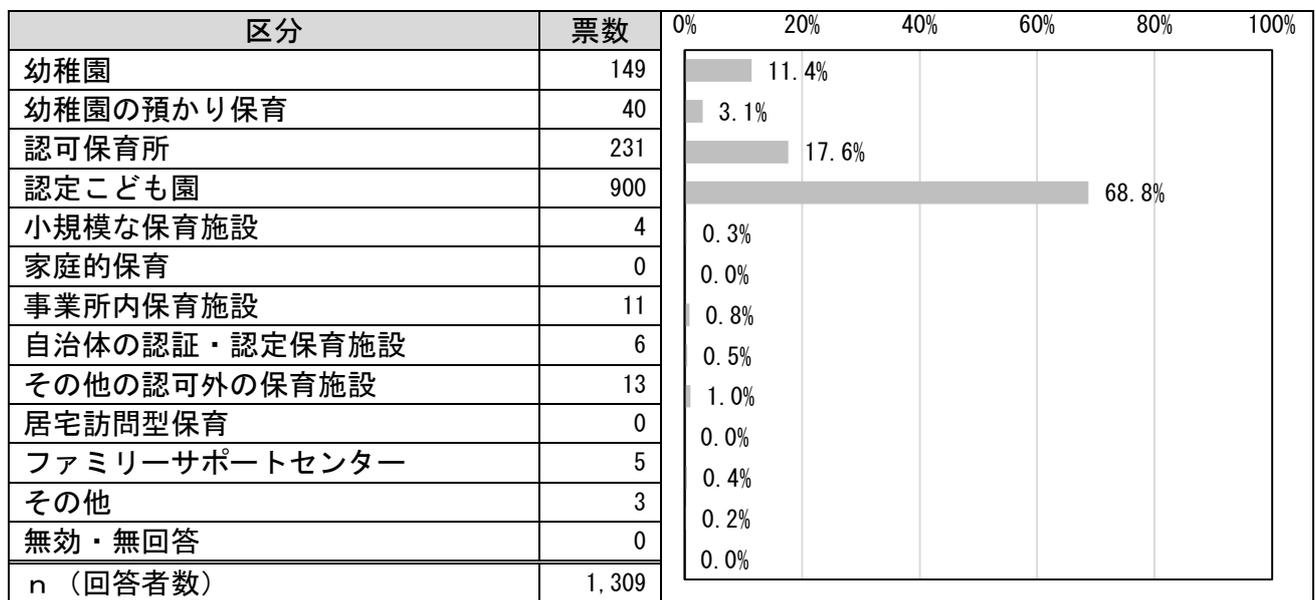
上段：票数 下段：割合	保育所・幼稚園などの利用の有無			
	n（回答者数）	利用している	利用していない	無効・無回答
全体	1,812	1,309	498	5
	100.0%	72.2%	27.5%	0.3%
0歳	438	67	369	2
	100.0%	15.3%	84.2%	0.5%
1歳	247	159	88	0
	100.0%	64.4%	35.6%	0.0%
2歳	229	201	28	0
	100.0%	87.8%	12.2%	0.0%
3歳	255	245	8	2
	100.0%	96.1%	3.1%	0.8%
4歳	274	273	1	0
	100.0%	99.6%	0.4%	0.0%
5歳	192	192	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
6歳	167	165	2	0
	100.0%	98.8%	1.2%	0.0%
無効・無回答	10	7	2	1
	100.0%	70.0%	20.0%	10.0%

(2)平日に利用している保育所・幼稚園などの事業(複数回答)

問 11 で定期的に保育所・幼稚園などを「1. 利用している」を選んだ方

問11-1 あて名のお子さんは、平日どのように保育所・幼稚園などを利用されていますか。年間を通じて「定期的に」利用している施設などをお答えください。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・利用している保育所・幼稚園などの事業は、「認定こども園」が最も多く 68.8%、「認可保育所」が 17.6%、「幼稚園」が 11.4%となりました。
- ・平成 30 年度調査では、「認定こども園」が 41.0%、「保育所」が 37.3%、「幼稚園」が 18.7%であり、認定こども園の増加により保育所や幼稚園から利用者が移行しています。



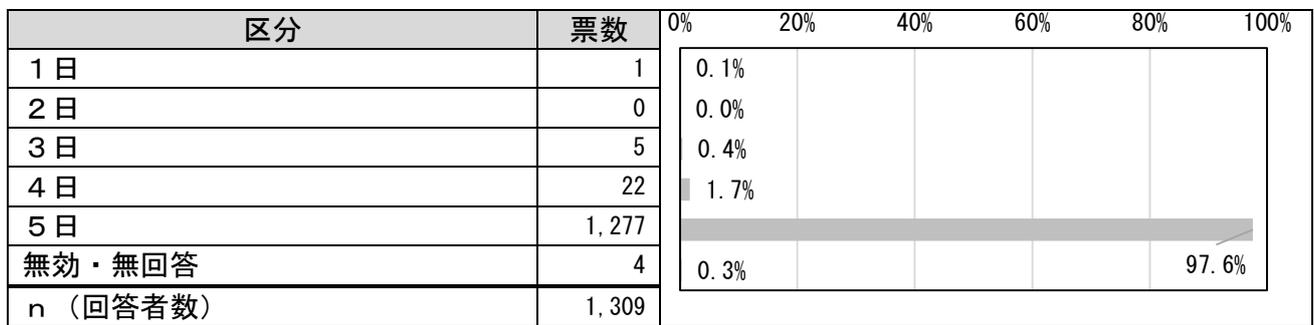
(3)平日に利用している保育所・幼稚園などの現在の状況と、今後の利用希望

問11-2 平日に定期的に利用している保育所・幼稚園などについて、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。あてはまるもの1つをお選びください。なお、現在、希望どおりの場合は希望欄の回答は必要ありません。

- ・平日に利用している保育所・幼稚園などの現在の状況と、今後の利用希望についてみると、1週あたりの利用日数では、「現在」では「5日」が最も高くなっています。
- ・今後の「希望」でも、無効・無回答を除くと「現在」と同じく「5日」が最も高くなっています。

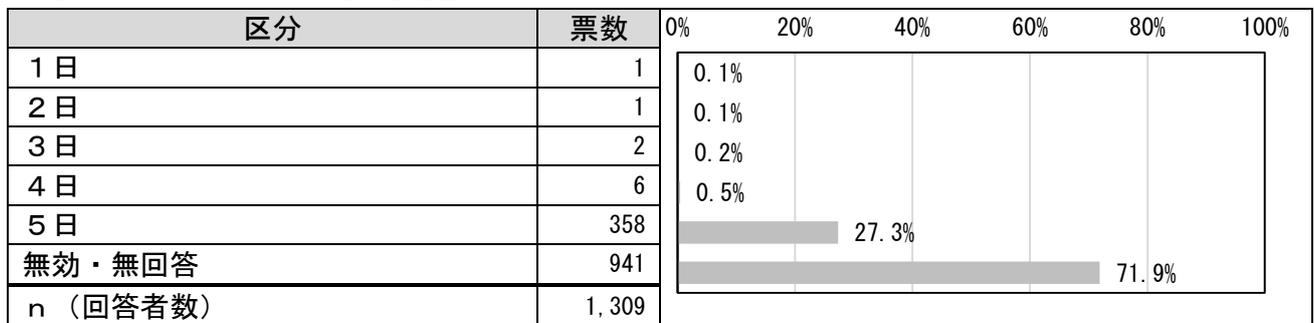
①現在

1週間あたりの利用日数(単一回答)



②希望

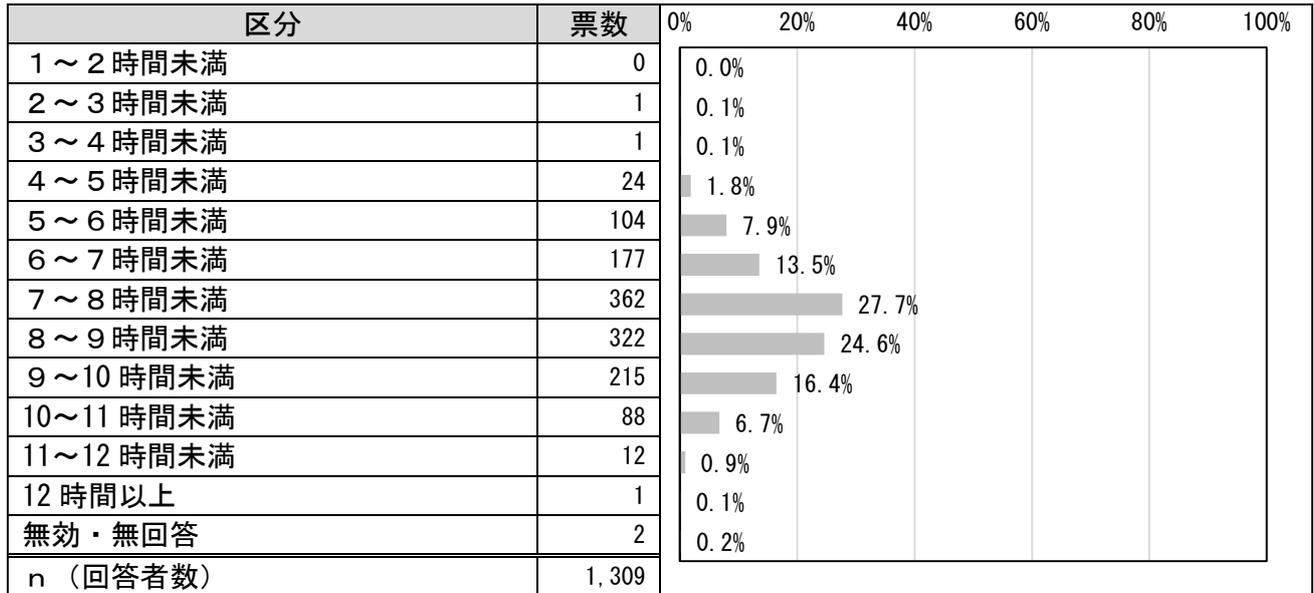
1週間あたりの利用日数(単一回答)



- ・ 1日あたりの利用時間では、「現在」では「7～8時間未満」(27.7%)が最も高くなっています。
- ・ また、「希望」でも、無効・無回答を除くと「7～8時間未満」(8.4%)が最も高くなっています。
- ・ なお、今後の希望について、「1週あたりの利用日数」、「1日あたりの利用時間」ともに「無効・無回答」が全体の7割近くを占めていますが、現在の利用状況が希望通りの方を含んでいるためであると考えられます。

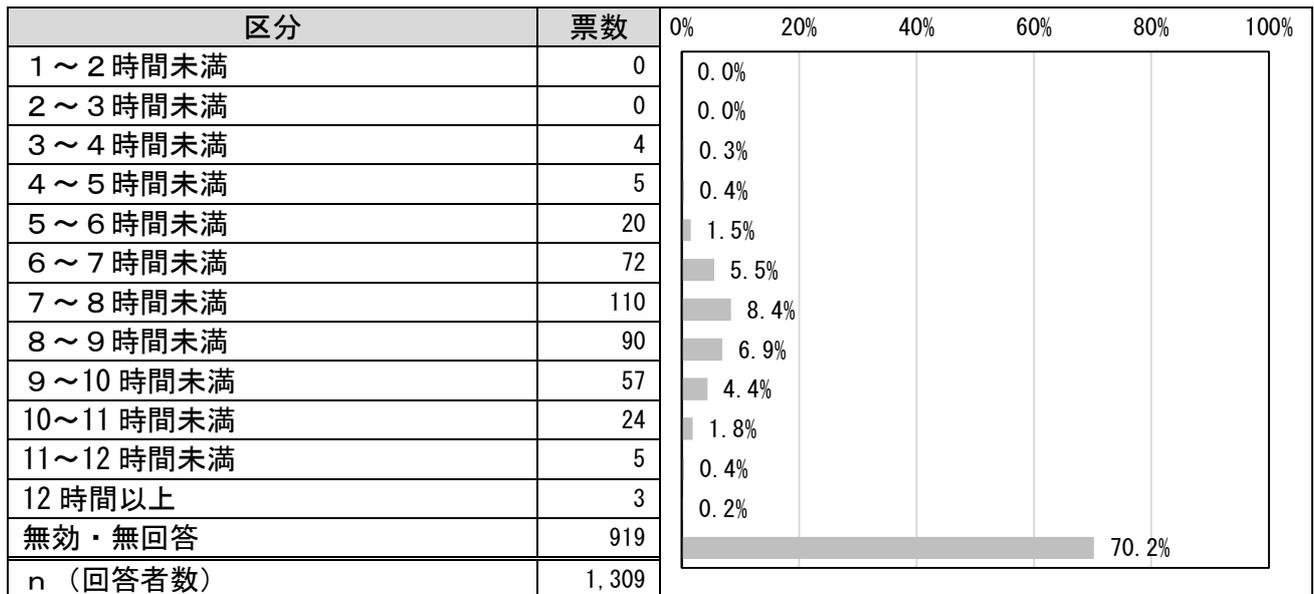
①現在

1日あたりの利用時間(単一回答)



②希望

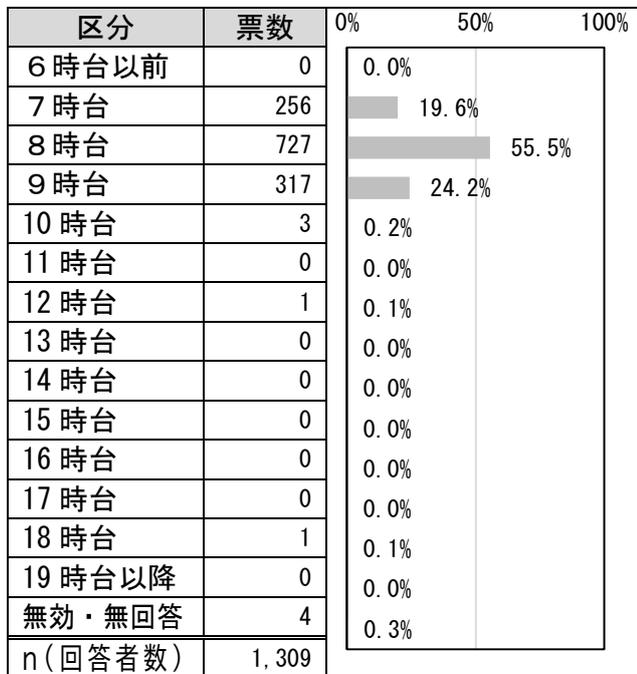
1日あたりの利用時間(単一回答)



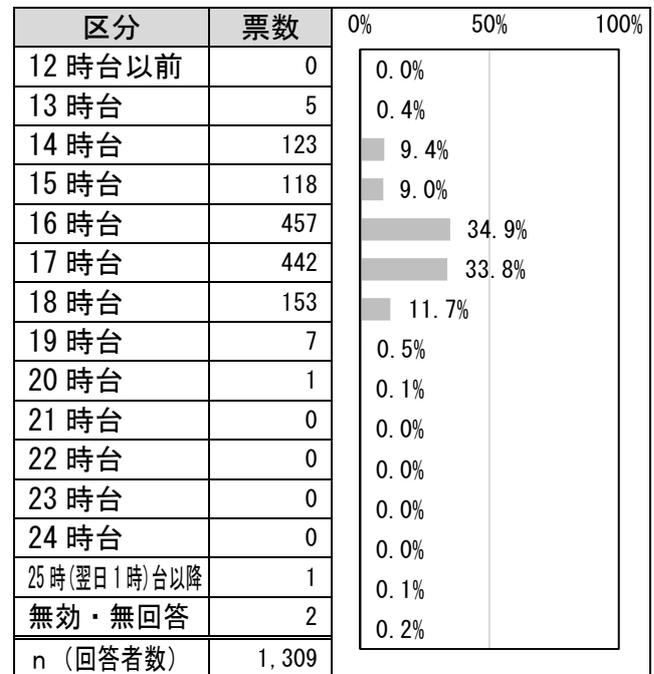
- ・利用開始時間については、「現在」も「希望」も「8時台」との回答が最も多くなっています。
- ・一方、利用終了時間については、「現在」は「16時台」が34.9%と最も多く、ついで「17時台」が33.8%となっていますが、「希望」では「17時台」が最も多くなっています。

①現在

利用開始時間(単一回答)

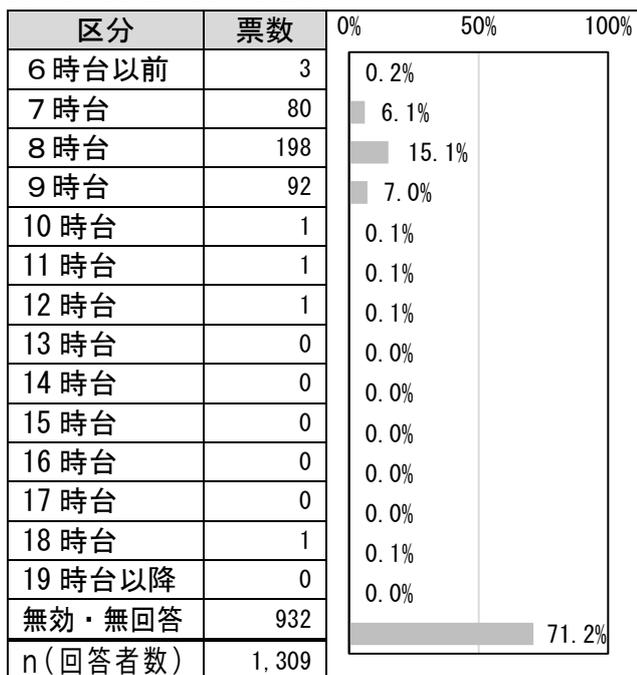


利用終了時間(単一回答)

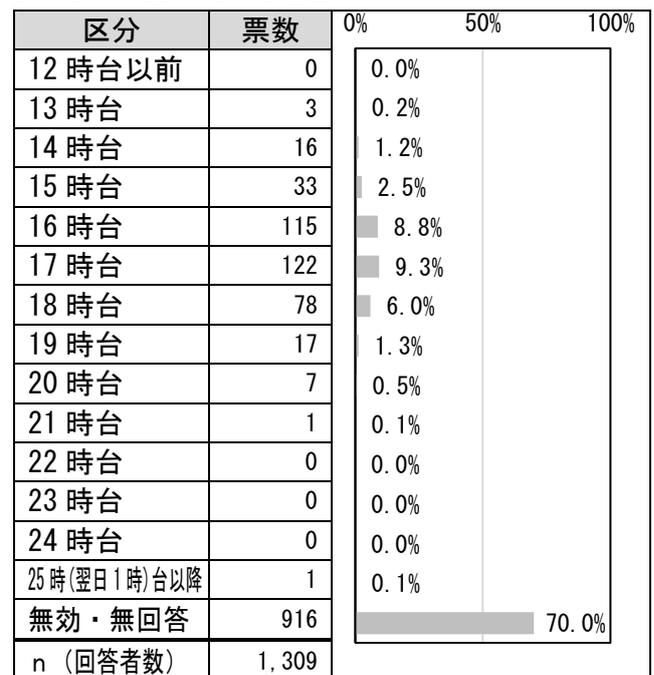


②希望

利用開始時間(単一回答)



利用終了時間(単一回答)



(4)現在利用している保育所・幼稚園などの実施場所(単一回答)

問11-3 現在、利用している保育所・幼稚園などの実施場所について、あてはまるもの1つをお選びください。また、「2. 他の市町を選んだ方は()に該当する市町名を記入してください。

- ・平日、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「金沢市内」が96.5%と大部分を占めています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
金沢市内	1,263						
他の市町	14						
無効・無回答	32						
n (回答者数)	1,309						

(5)平日に定期的に保育所・幼稚園などを利用している理由(複数回答)

問11-4 平日に定期的に保育所・幼稚園などを利用されている理由について、主な理由としてあてはまるものすべてをお選びください。

- ・平日に定期的に保育所・幼稚園などを利用している主な理由についてみると、「子育てや教育をしている者が現在就労しているため」が83.1%と最も高く、ついで「子どもの教育や発達のため」が61.2%となっています。

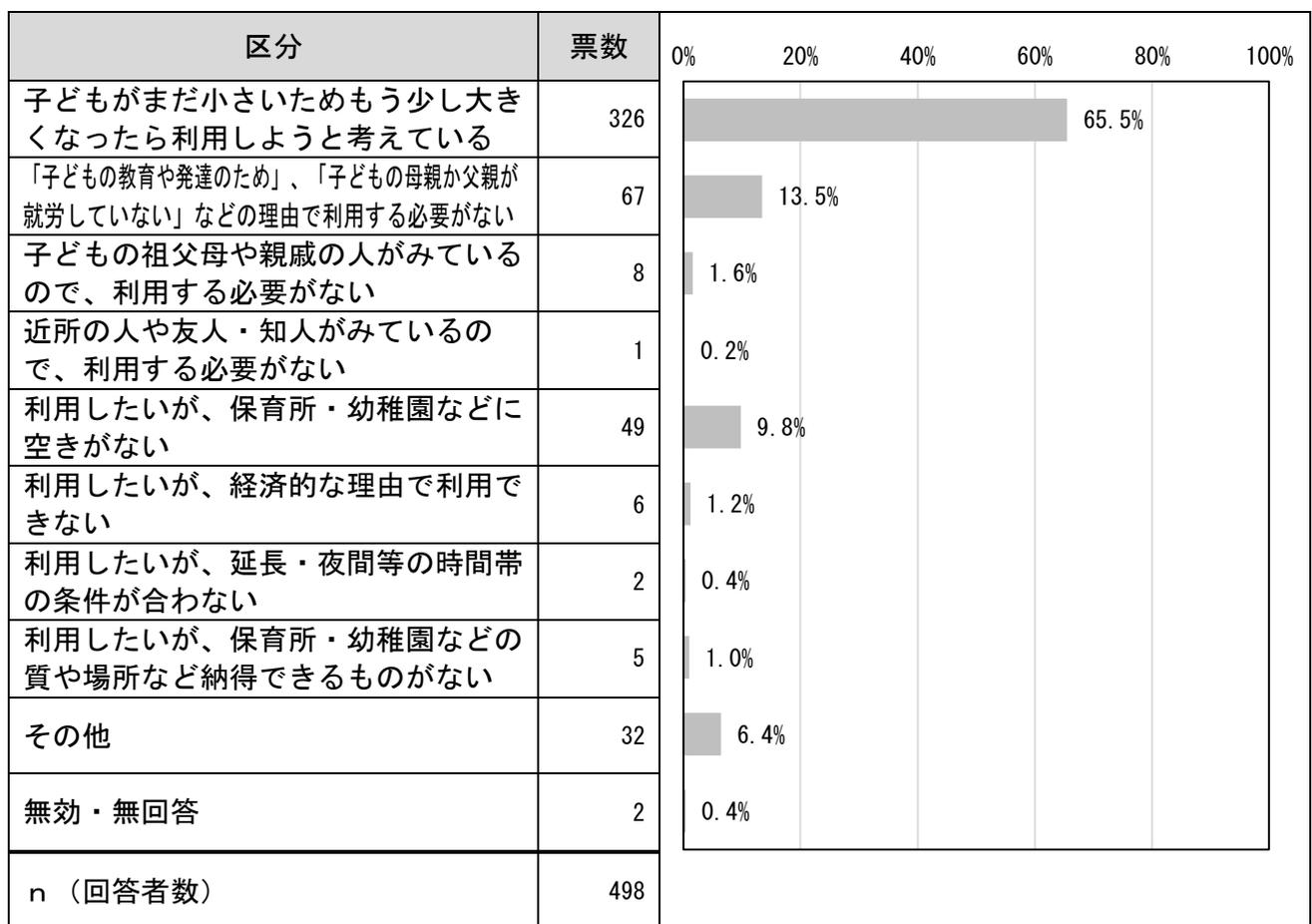
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子どもの教育や発達のため	801						
子育てや教育をしている者が現在就労しているため	1,088						
子育てや教育をしている者に就労予定があるため/求職中であるため	49						
子育てや教育をしている者が家族・親族などを介護しているため	6						
子育てや教育をしている者に病気や障害があるため	17						
子育てや教育をしている者が学生であるため	4						
その他	15						
無効・無回答	5						
n (回答者数)	1,309						

(6)平日に定期的に保育所・幼稚園などを利用していない理由(単一回答)

問 11 で定期的に保育所・幼稚園などを「2. 利用していない」を選んだ方

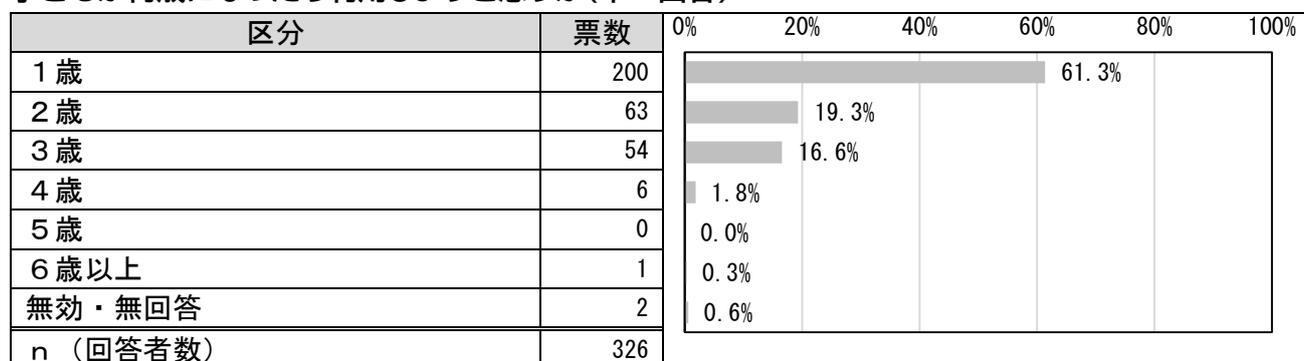
問11-5 利用していない理由として、もっともあてはまるもの1つをお選びください。

- ・平日、保育所・幼稚園などを利用していない主な理由についてみると、「子どもがまだ小さいためもう少し大きくなったら利用しようと考えている」が65.5%と最も高く、ついで「(子どもの教育や発達のため)、(子どもの母親か父親が就労していない)などの理由で利用する必要がない」が13.5%となっています。
- ・また、子どもがまだ小さいために定期的に保育所・幼稚園などを利用していない方で、今後利用しようとする時の子どもの年齢については、「1歳」が61.3%と最も高くなっています。



問 11-5 で定期的に保育所・幼稚園などを利用していない理由として「1. 子どもがまだ小さいためもう少し大きくなったら利用しようと考えている」を選んだ方

子どもが何歳になったら利用しようと思うか(単一回答)

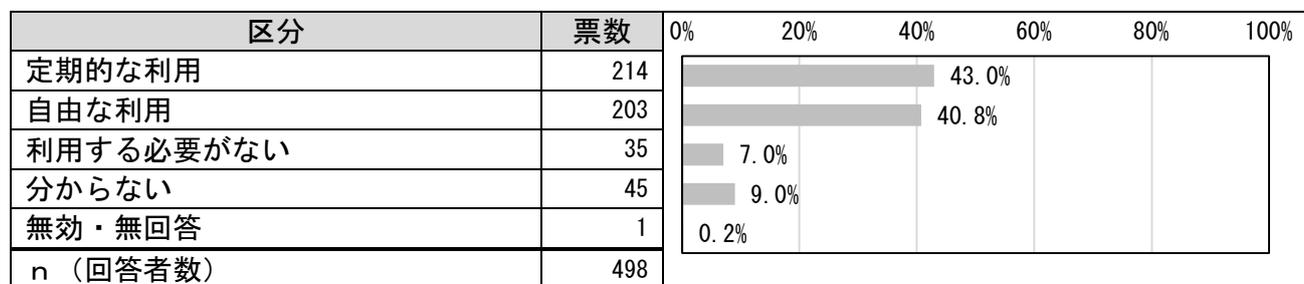


(7)新たな通園制度の利用形態の希望(単一回答)

問 11 で定期的に保育所・幼稚園などを「2. 利用していない」を選んだ方

問11-6 国では、親が働いていなくても、時間単位等で柔軟に保育園等を利用できる新たな通園制度を創設する見込みです。この制度が創設された場合、どのような利用形態を希望しますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・新たな通園制度に対する利用形態の希望は、「定期的な利用」が43.0%と最も高く、ついで「自由な利用」が40.8%となっています。

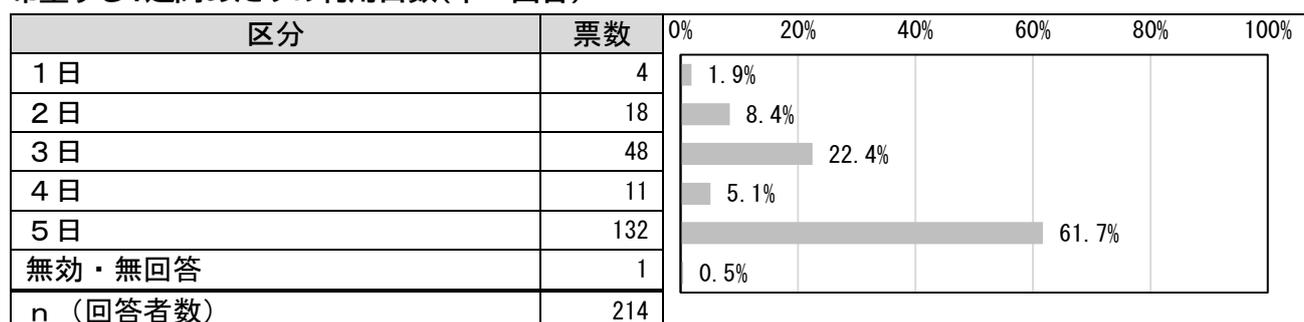


問 11-6 で新たな通園制度の利用形態の希望として「1. 定期的な利用」を選んだ方

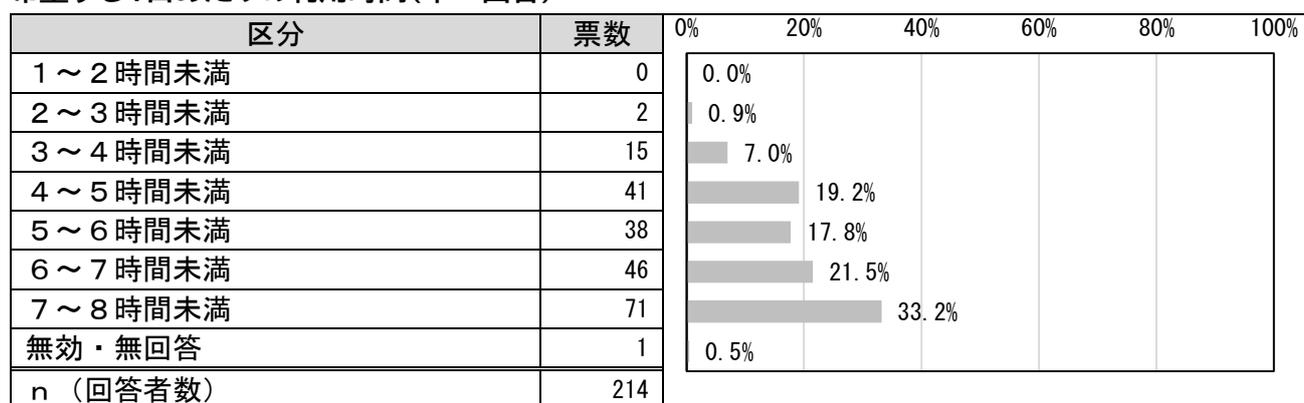
問11-7 希望としてどのくらい利用したいですか。

- ・新たな通園制度の利用形態として定期的な利用をしたい人の1週間あたりの利用日数の希望は「5日」が最も高く61.7%、ついで「3日」が22.4%となっています。
- ・1日あたりの利用時間の希望は「7～8時間未満」が最も高く33.2%、ついで「6～7時間未満」が21.5%となっています。

希望する1週間あたりの利用日数(単一回答)



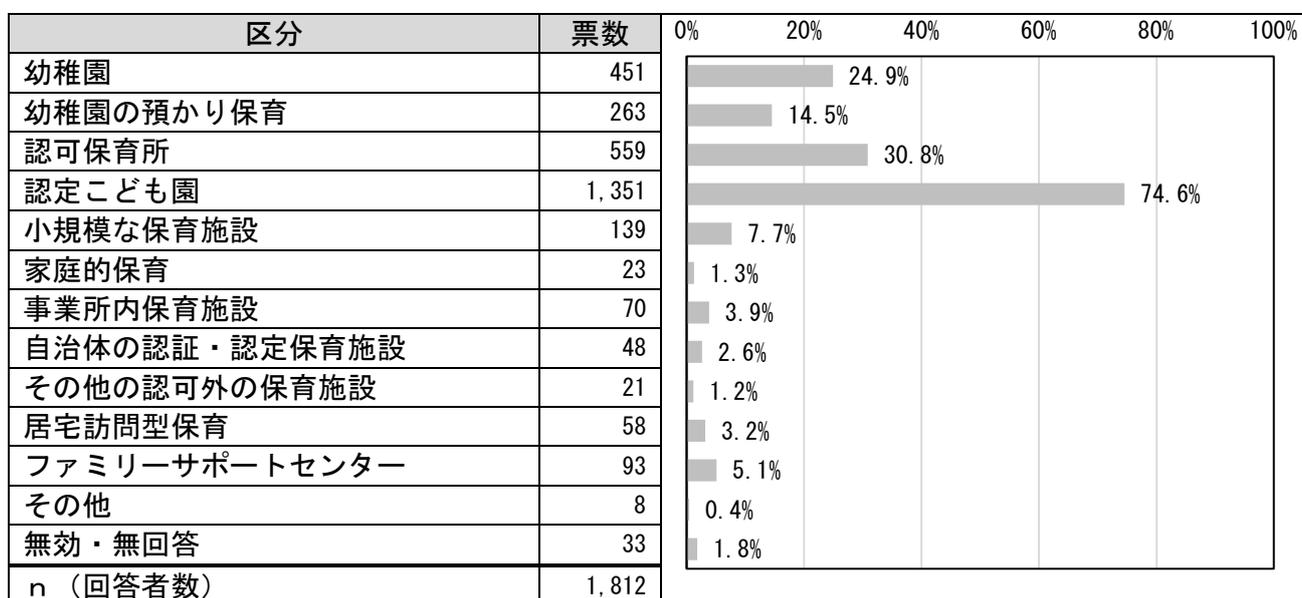
希望する1日あたりの利用時間(単一回答)



(8)現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日に「定期的に」利用したいと考える事業(複数回答)

問12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日における保育所・幼稚園などの預け先等として、今後、「定期的に」利用したいと考えるものをお答えください。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・今後、平日に「定期的に」利用したいと考える保育所・幼稚園などの預け先等についてみると、「認定こども園」が74.6%と最も高く、ついで「認可保育所」が30.8%となっています。
- ・平成30年度調査では「認定こども園」との回答が56.1%でしたが、今回調査では74.6%と伸びています。

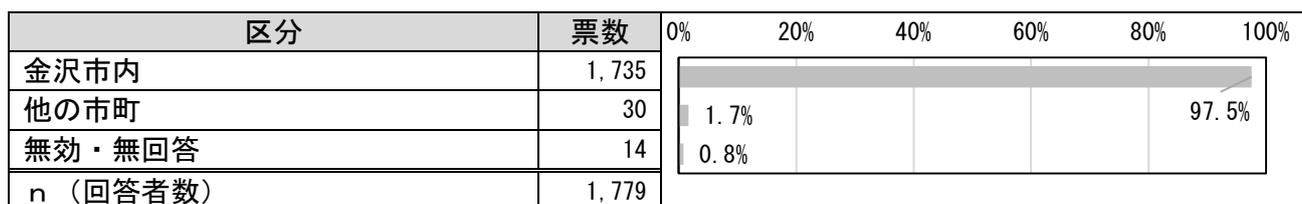


(9)保育所・幼稚園などを利用したい場所(単一回答)

問12-1 保育所・幼稚園などを利用したい場所について、あてはまるもの1つをお選びください。

また、「2. 他の市町を選んだ方は()に該当する市町名を記入してください。

- ・保育所・幼稚園などを利用したい場所についてみると、「金沢市内」が97.5%と大部分を占めています。

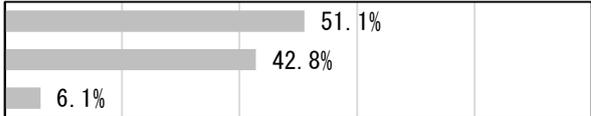


(10)幼稚園の利用希望(単一回答)

問 12 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」を選択し、かつその他の選択肢(3～12)も選んだ方

問 12-2 問 12 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」を選択し、かつその他の選択肢（3～12）も選択した方に伺います。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

- ・特に幼稚園の利用を強く希望する人は 51.1%です。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
はい	167						
いいえ	140						
無効・無回答	20						
n（回答者数）	327						

5 あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な保育所・幼稚園などの利用希望

(1)土曜日と日曜日・祝日の定期的な保育所・幼稚園などの利用希望(単一回答)

問 13 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的に保育所・幼稚園などの利用を希望しますか。(一時的な利用は除きます) あてはまるものをお選びください。なお、これらの利用には、一定の利用料が発生します。

※保育所・幼稚園などの利用には、親族・知人による預かりは含みません。

- ・土曜日と日曜日・祝日の定期的な保育所・幼稚園などの利用希望についてみると、「利用する必要はない」との回答が、土曜日では56.2%と最も高く、日曜日・祝日でも81.2%と大部分を占めています。
- ・また、希望する利用時間帯については、開始時間では土曜日、日曜日・祝日ともに「8時台」の割合が最も高くなっています。終了時間では土曜日、日曜日・祝日ともに「17時台」の割合が最も高くなっています。

(1)土曜日

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用する必要はない	1,019	56.2%					
ほぼ毎週利用したい	147	8.1%					
月に1～2回は利用したい	628	34.7%					
無効・無回答	18	1.0%					
n(回答者数)	1,812						

問 13 の(1)土曜日の定期的な保育所・幼稚園などの利用希望で「2. ほぼ毎週利用したい」又は「3.月に1~2回は利用したい」を選んだ方

利用したい時間帯をお答えください。

利用開始時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
6時台以前	3	0.4%		
7時台	159	20.5%		
8時台	359	46.3%		
9時台	203	26.2%		
10時台	32	4.1%		
11時台	4	0.5%		
12時台	3	0.4%		
13時台	4	0.5%		
14時台	0	0.0%		
15時台	2	0.3%		
16時台	1	0.1%		
17時台	0	0.0%		
18時台	1	0.1%		
19時台以降	1	0.1%		
無効・無回答	3	0.4%		
n(回答者数)	775			

利用終了時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
12時台以前	19	2.5%		
13時台	42	5.4%		
14時台	38	4.9%		
15時台	109	14.1%		
16時台	176	22.7%		
17時台	232	29.9%		
18時台	128	16.5%		
19時台	19	2.5%		
20時台	4	0.5%		
21時台	2	0.3%		
22時台	2	0.3%		
23時台	1	0.1%		
24時台	0	0.0%		
25時(翌日1時)台以降	1	0.1%		
無効・無回答	2	0.3%		
n(回答者数)	775			

(2)日曜日・祝日

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用する必要はない	1,472	81.2%					
ほぼ毎週利用したい	36	2.0%					
月に1～2回は利用したい	288	15.9%					
無効・無回答	16	0.9%					
n(回答者数)	1,812						

問 13 の(2)日曜日・祝日での定期的な保育所・幼稚園などの利用希望で「2. ほぼ毎週利用したい」又は「3.月に1～2回は利用したい」を選んだ方

利用したい時間帯をお答えください。

利用開始時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
6時台以前	3	0.9%		
7時台	70	21.6%		
8時台	136	42.0%		
9時台	78	24.1%		
10時台	28	8.6%		
11時台	2	0.6%		
12時台	1	0.3%		
13時台	0	0.0%		
14時台	3	0.9%		
15時台	0	0.0%		
16時台	2	0.6%		
17時台	0	0.0%		
18時台	0	0.0%		
19時台以降	1	0.3%		
無効・無回答	0	0.0%		
n(回答者数)	324			

利用終了時間(単一回答)

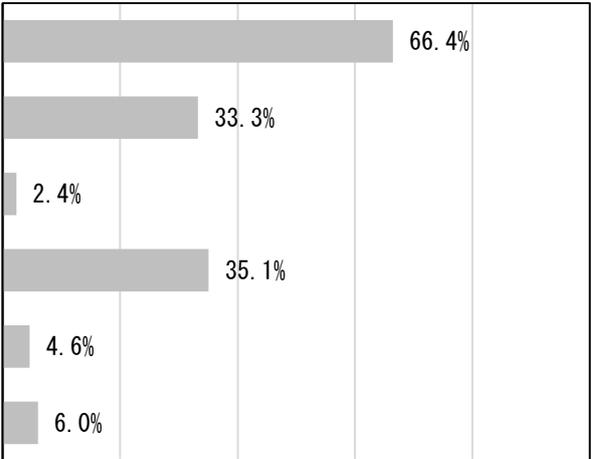
区分	票数	0%	50%	100%
12時台以前	4	1.2%		
13時台	6	1.9%		
14時台	12	3.7%		
15時台	40	12.3%		
16時台	68	21.0%		
17時台	105	32.4%		
18時台	66	20.4%		
19時台	15	4.6%		
20時台	4	1.2%		
21時台	1	0.3%		
22時台	1	0.3%		
23時台	1	0.3%		
24時台	0	0.0%		
25時(翌日1時)台以降	1	0.3%		
無効・無回答	0	0.0%		
n(回答者数)	324			

(2)たまに利用したい理由(複数回答)

問 13 の(1)土曜日もしくは(2)日曜日・祝日で、定期的な保育所・幼稚園などの利用希望として「3.月に1~2回は利用したい」を選んだ方

問 13-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・利用したい理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が66.4%と最も高く、ついで「リフレッシュや息抜きのため」が35.1%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
月に数回仕事が入るため	475						
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	238						
親族の介護や手伝いをする必要があるため	17						
リフレッシュや息抜きのため	251						
その他	33						
無効・無回答	43						
n (回答者数)	715						

(3)長期休暇中の幼稚園の利用希望(単一回答)

幼稚園を利用されている方

問 14 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に幼稚園の利用を希望しますか。あてはまるもの1つをお選びいただき、利用したい時間帯について、あてはまるもの1つをお選びください。なお、これらの利用には、一定の利用料が発生します。

- ・幼稚園を利用されている方の、長期休暇期間中の幼稚園の利用希望についてみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が35.2%と最も高く、ついで「休みの期間中、週に数日利用したい」が27.7%となっており、あわせると約6割となり長期休暇中の利用ニーズも一定程度あることが伺えます。
- ・また、希望する利用時間帯については、開始時間では「9時台」、終了時間では「15時台」の割合が最も高くなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用する必要はない	29	18.2%					
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	56	35.2%					
休みの期間中、週に数日利用したい	44	27.7%					
無効・無回答	30	18.9%					
n (回答者数)	159						

問 14 で「2.休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」又は「3.休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方

利用したい時間帯をお答えください。

利用開始時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
6時台以前	0	0.0%		
7時台	10	10.0%		
8時台	39	39.0%		
9時台	42	42.0%		
10時台	1	1.0%		
11時台	1	1.0%		
12時台	0	0.0%		
13時台	0	0.0%		
14時台	0	0.0%		
15時台	0	0.0%		
16時台	0	0.0%		
17時台	0	0.0%		
18時台	0	0.0%		
19時台以降	0	0.0%		
無効・無回答	7	7.0%		
n (回答者数)	100			

利用終了時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
12時台以前	1	1.0%		
13時台	1	1.0%		
14時台	13	13.0%		
15時台	32	32.0%		
16時台	20	20.0%		
17時台	20	20.0%		
18時台	6	6.0%		
19時台	0	0.0%		
20時台	0	0.0%		
21時台	0	0.0%		
22時台	0	0.0%		
23時台	0	0.0%		
24時台	0	0.0%		
25時(翌日1時)台以降	0	0.0%		
無効・無回答	7	7.0%		
n (回答者数)	100			

(4)毎日ではなくたまに利用したい理由(複数回答)

問 14 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方

問 14-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」、「リフレッシュや息抜きのため」が45.5%と最も高くなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
週に数回仕事が入るため	15						
買い物等の用事をまとめて済ませるため	20						
親族の介護や手伝いをする必要があるため	2						
リフレッシュや息抜きのため	20						
その他	5						
無効・無回答	2						
n (回答者数)	44						

6 あて名のお子さんの病気の際の対応

(1)子どもが病気やケガで保育所・幼稚園などが利用できなかったことの有無 (単一回答)

問 11 で定期的に保育所・幼稚園などを「1. 利用している」を選んだ方

問 15 平日において、定期的に保育所・幼稚園などを利用していると答えた保護者の方におうかがいします。利用していない方は、問 16 にお進みください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで保育所・幼稚園などが利用できなかったことはありますか。

- ・病気やケガで保育所・幼稚園などが利用できなかったことの有無についてみると、「あった」が82.6%と大部分を占めています。
- ・「なかった」との回答は16.1%でした。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
あった	1,081						
なかった	211						
無効・無回答	17						
n (回答者数)	1,309						

(2)子どもが病気やケガで普段利用している保育所・幼稚園などの事業が利用できなかった場合の、この1年間に行った対処方法(複数回答)

問 15-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している保育所・幼稚園などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものすべてをお選びいただき、それぞれの日数をお選びください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

- ・子どもが病気やケガで保育所・幼稚園などが利用できなかった場合の対処方法についてみると、「母親が仕事を休んだ」が83.8%と最も高く、ついで「父親が仕事を休んだ」(54.4%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(42.2%)、となっています。
- ・外部のサービス(「病児保育」「ベビーシッター」「ファミリーサポートセンター」)などを利用したとの回答は合計で13.1%でした。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
父親が仕事を休んだ	588	54.4%					
母親が仕事を休んだ	906	83.8%					
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	456	42.2%					
父親または母親のうち就労していない保護者がみた	172	15.9%					
病児保育を利用した	132	12.2%					
ベビーシッターを利用した	6	0.6%					
ファミリーサポートセンターを利用した	3	0.3%					
子どもだけで留守番をさせた	10	0.9%					
その他	16	1.5%					
無効・無回答	15	1.4%					
n(回答者数)	1,081						

子どもが病気やケガの際の対処方法別の1年間の対処日数

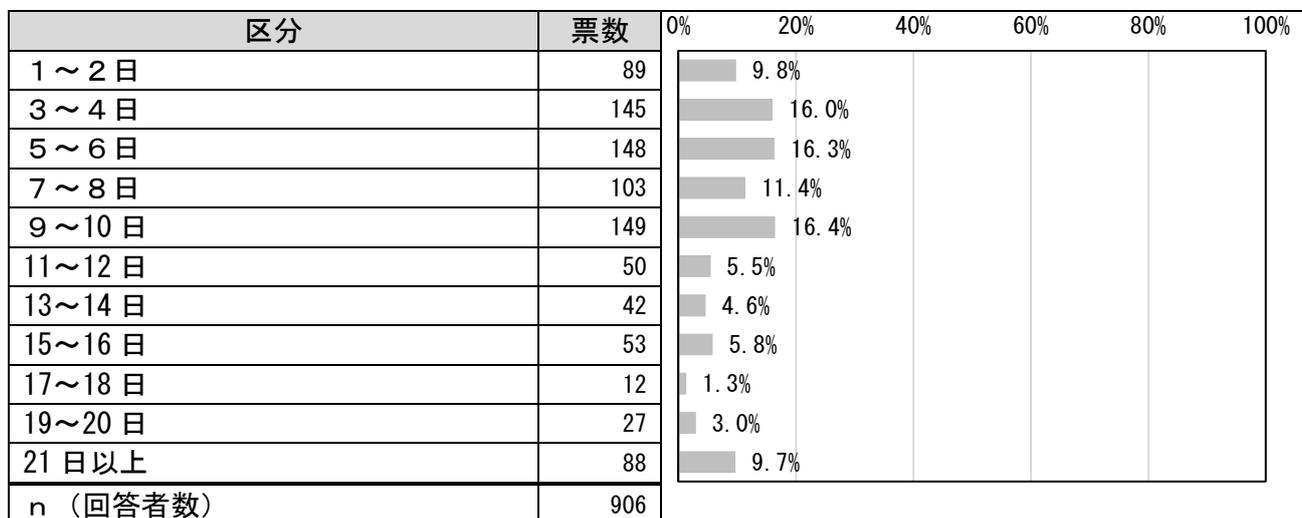
父親が仕事を休んだ(単一回答)

- ・「1～2日」が43.7%と最も多く占めており、6日以下で81.1%と約8割を占めています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1～2日	257	43.7%					
3～4日	136	23.1%					
5～6日	84	14.3%					
7～8日	36	6.1%					
9～10日	40	6.8%					
11～12日	11	1.9%					
13～14日	5	0.9%					
15～16日	7	1.2%					
17～18日	1	0.2%					
19～20日	4	0.7%					
21日以上	7	1.2%					
n(回答者数)	588						

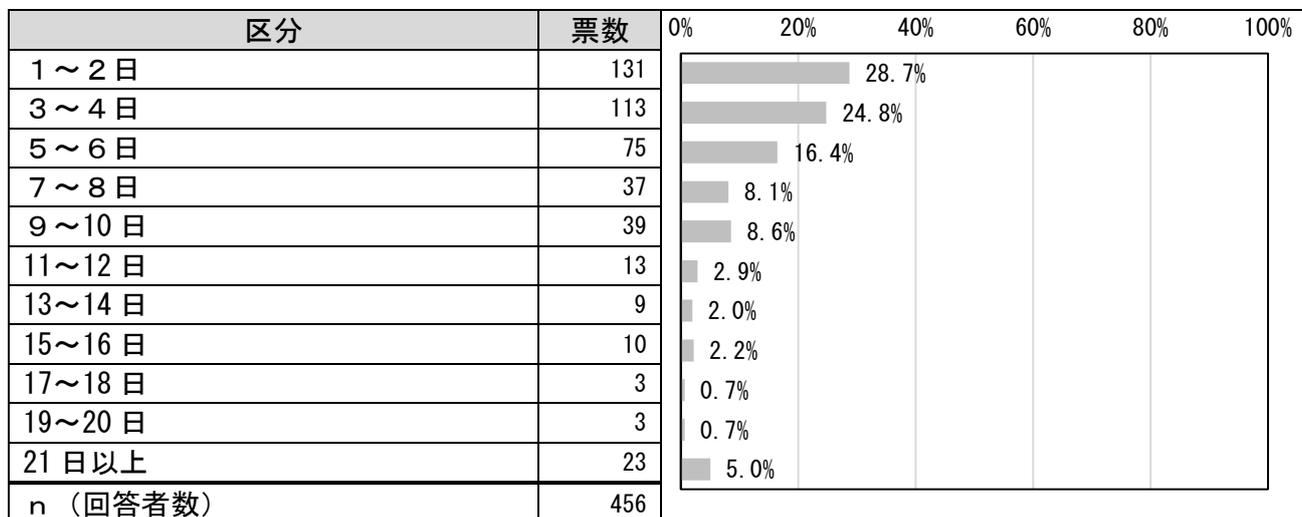
母親が仕事を休んだ(単一回答)

・「9～10日」が16.4%、「5～6日」が16.3%と続き、6日以下では42.2%、7日以上は57.8%と父親に比べて長く休んで対応しています。



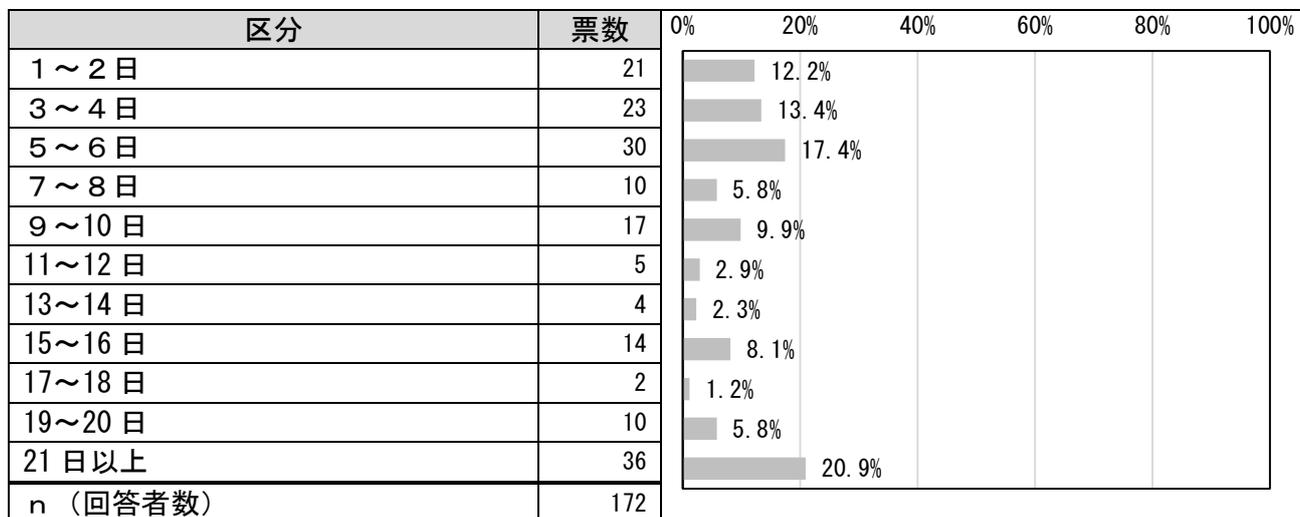
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった(単一回答)

・「1～2日」が28.7%、「3～4日」が24.8%と続き、6日以下では70.0%、7日以上は30.0%と父親に比べて長く対応しています。



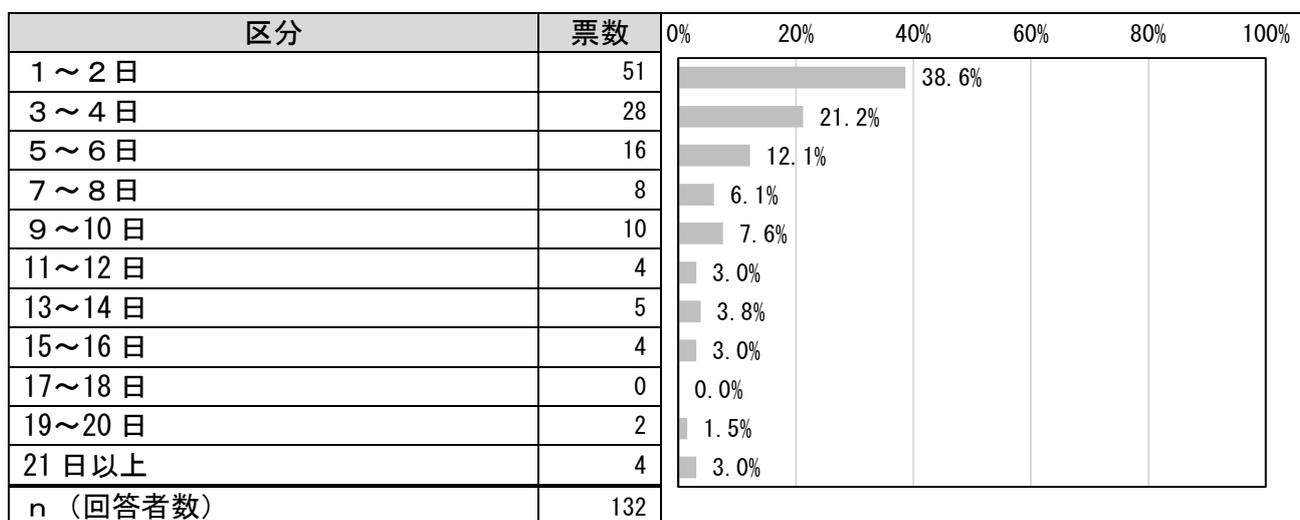
父親または母親のうち就労していない保護者がみた(単一回答)

- ・「21日以上」との回答が最も多く、20.9%、ついで「5～6日」が17.4%となっています。
- ・6日以下の回答を合計すると43.0%となります。

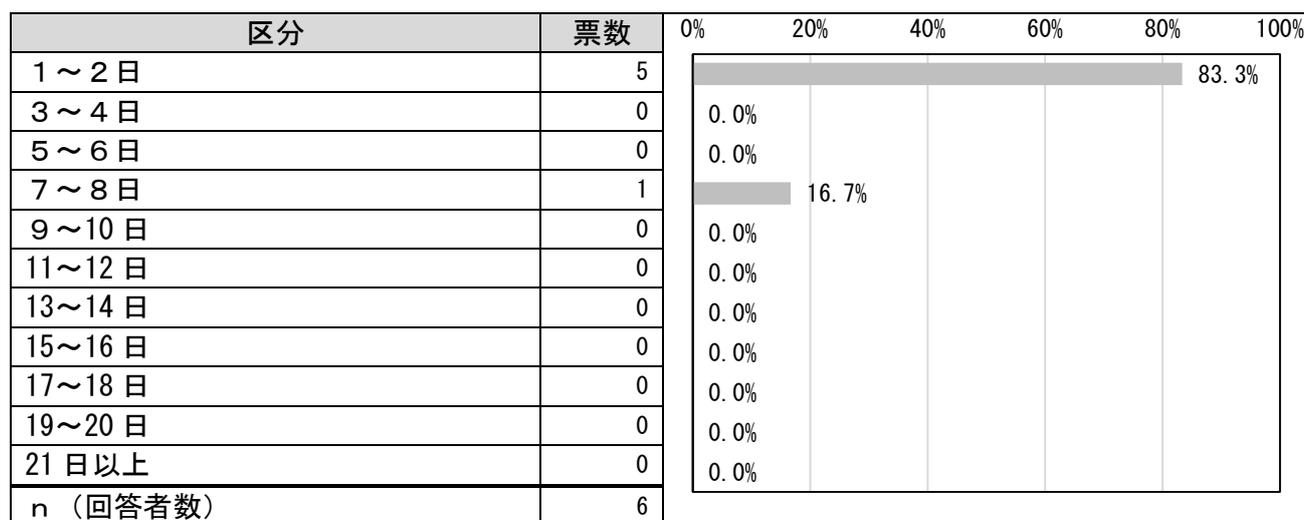


病児保育を利用した(単一回答)

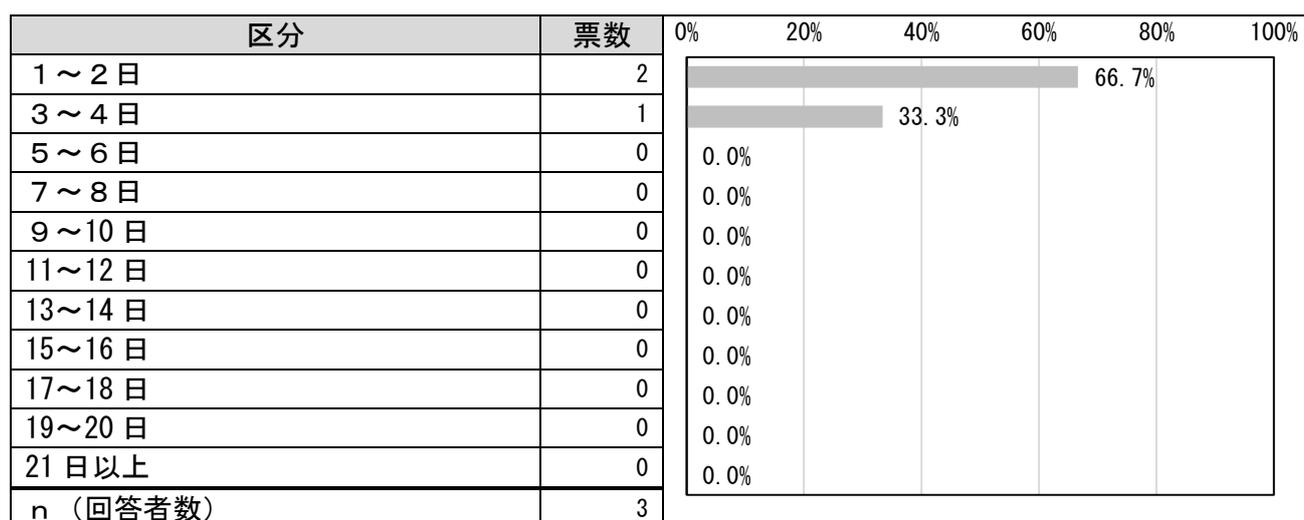
- ・6日以下の回答を合計すると72.0%となります。



ベビーシッターを利用した(単一回答)

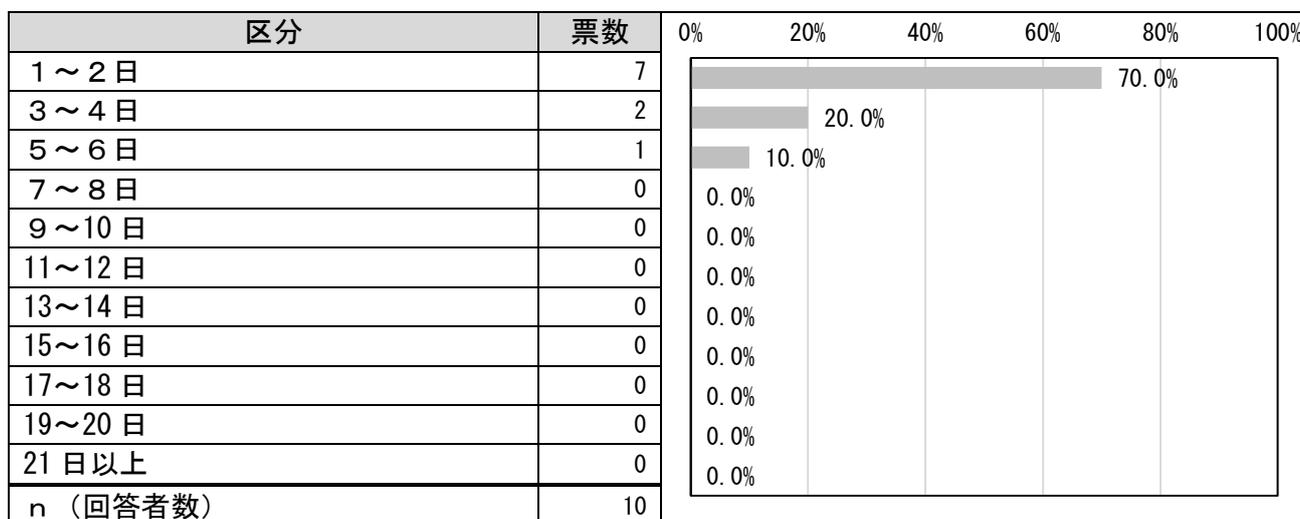


ファミリーサポートセンターを利用した(単一回答)



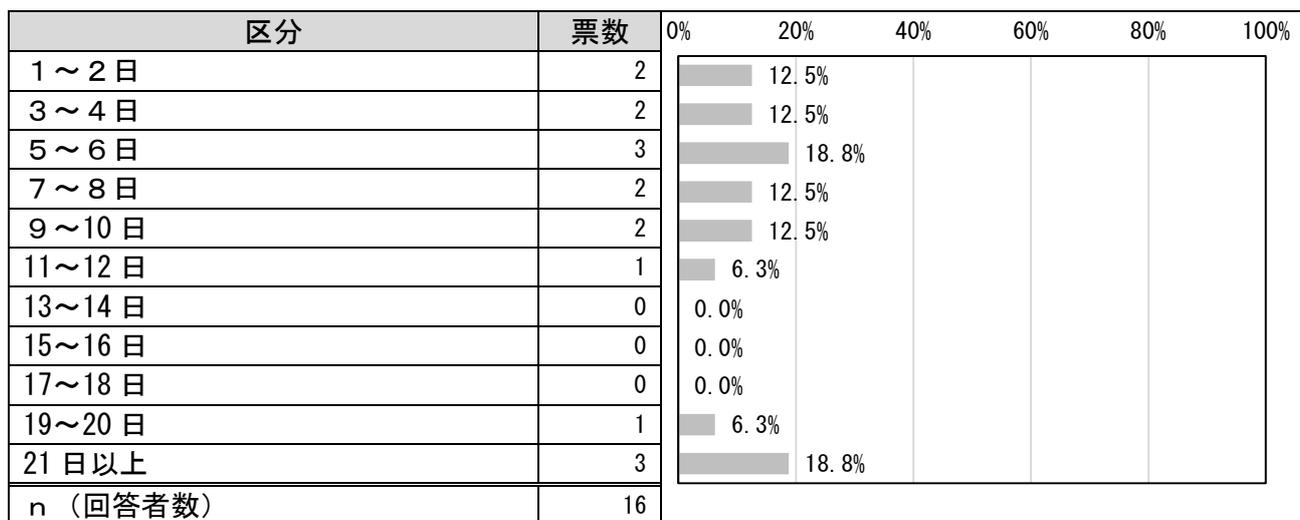
子どもだけで留守番をさせた(単一回答)

・サンプル数は10と少ないですが、「1～2日」が7人(70.0%)となりました。



その他(単一回答)

・「テレワーク」、「在宅勤務で対応」などの回答がありました。

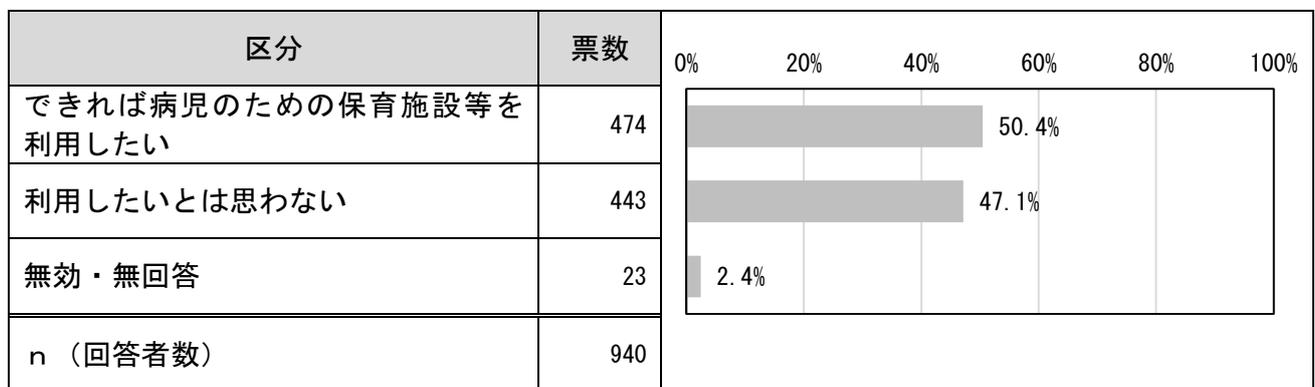


(3)「できれば病児のための保育施設を利用したい」と思ったか(単一回答)

問 15-1 で「ア. 父親が仕事を休んだ」又は「イ. 母親が仕事を休んだ」のいずれかを選んだ方

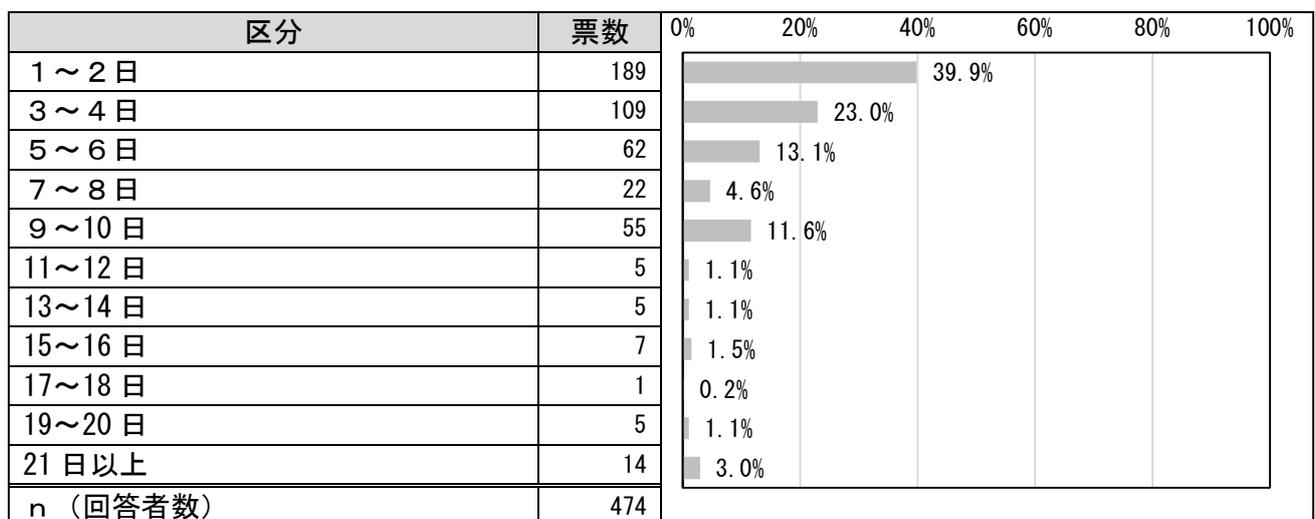
問 15-2 その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまるもの1つをお選びいただき、日数についてもお選びください。なお、病児のための事業等の利用には、一定の利用料が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- ・父親または母親が仕事を休んだ方で「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについてみると、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」が50.4%、「利用したいとは思わない」が47.1%となっています。
- ・また、病児のための保育施設等を利用したい日数については、「1～2日」が39.9%と最も高く、ついで「3～4日」(23.0%)、「5～6日」(13.1%)となっています。



(4)病児のための保育施設等を利用したい日数(単一回答)

問 15-2 で「1. できれば病児のための保育施設等を利用したい」を選んだ方

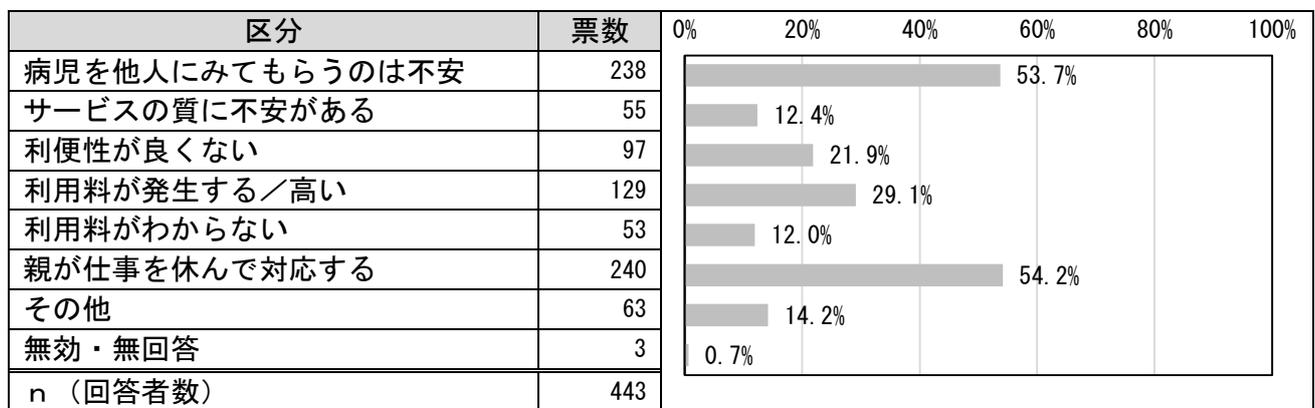


(5)病児のための保育施設等を利用したいと思わない理由(複数回答)

問 15-2 で病児のための保育施設等を「2. 利用したいとは思わない」を選んだ方

問 15-3 そう思う理由について、あてはまるものすべてをお選びください。

- ・病児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由としては、「親が仕事を休んで対応する」が 54.2%、「病児を他人にみてもらうのは不安」が 53.7%とそれぞれ5割近くとなりました。
- ・「利便性が良くない」や「料金が発生する／高い」といった施設自体のことを理由にしている回答はそれぞれ 21.9%、29.1%となっています。

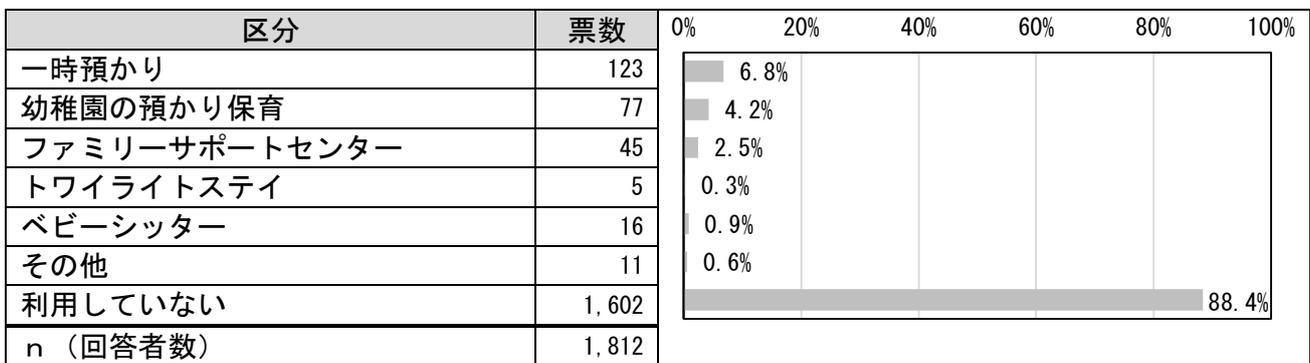


7 あて名のお子さんの不規則の保育所・幼稚園などの利用や一時預かり等の利用

(1)日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業(複数回答)

問 16 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や、病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまるものすべてをお選びいただき、1年間の利用日数(おおよそ)をお選びください。

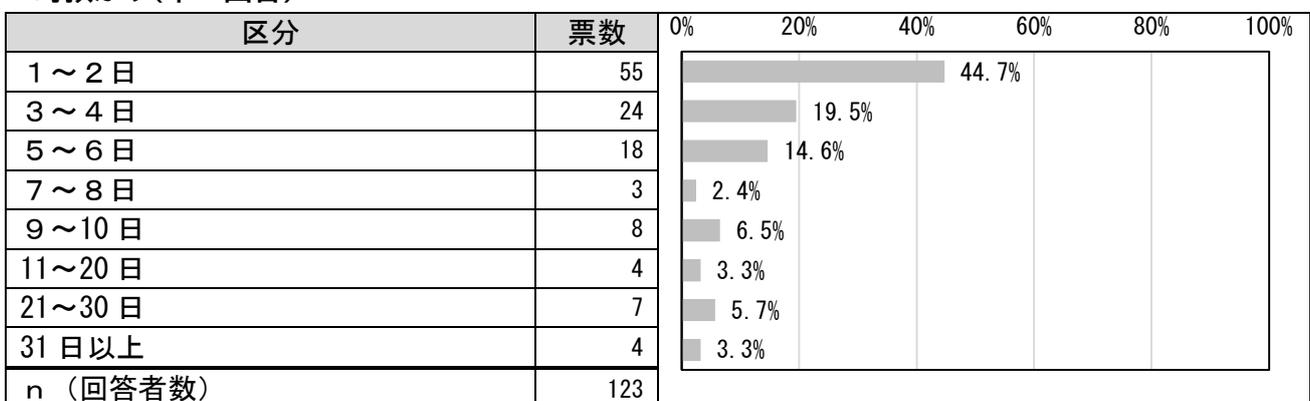
- ・不規則に利用している事業についてみると、「利用していない」が88.4%となっています。利用している事業では、「一時預かり」が6.8%、「幼稚園の預かり保育」が4.2%となっています。



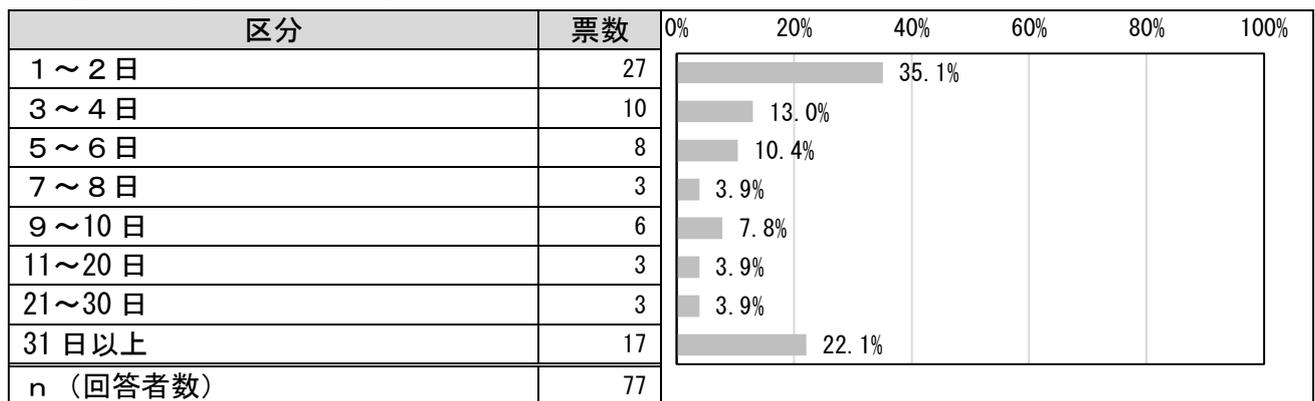
不規則に利用している預かり先等の日数

- ・1年間の利用日数については、「一時預かり」、「幼稚園の預かり保育」、「ファミリーサポートセンター」では「1~2日」が最も多く、それぞれ44.7%、35.1%、42.2%となっており、「幼稚園の預かり保育」では「31日以上」(22.1%)の割合が高くなっています。

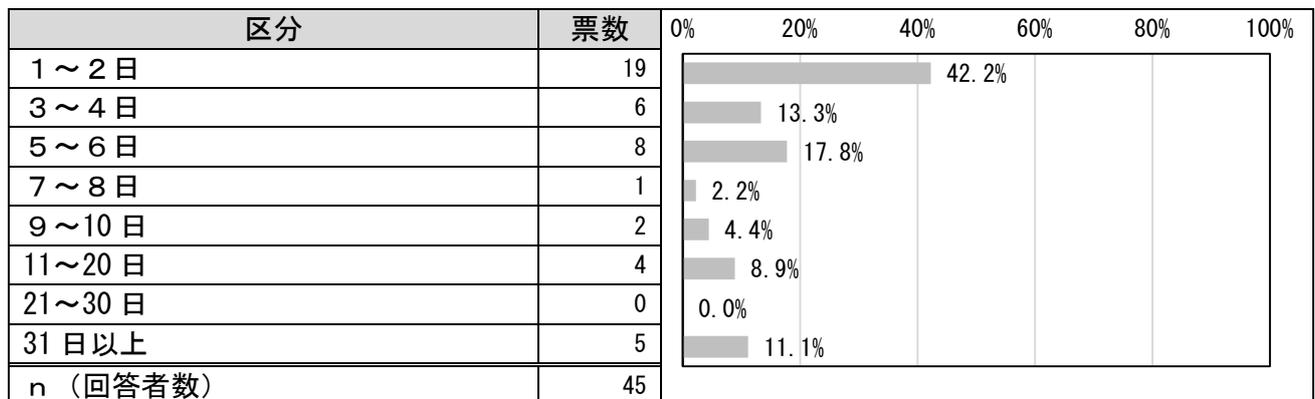
一時預かり(単一回答)



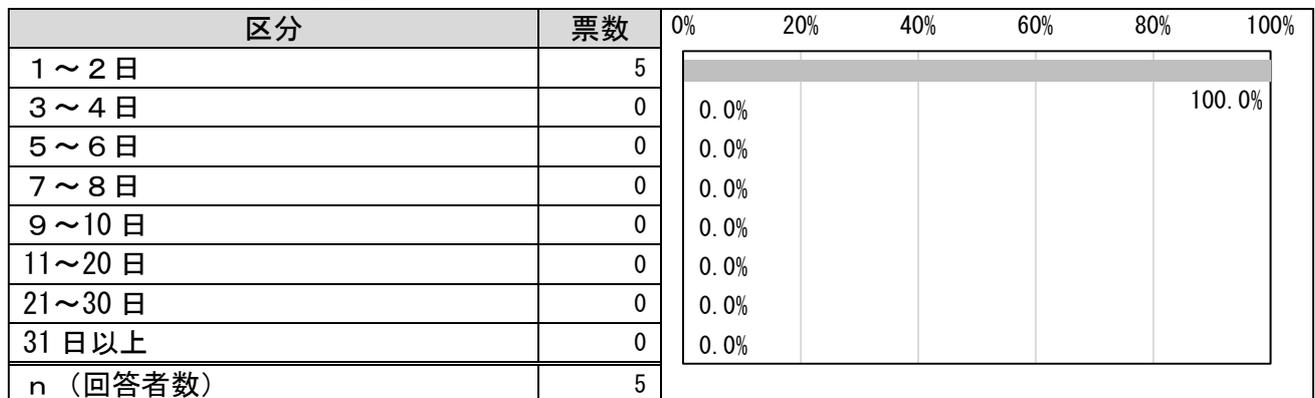
幼稚園の預かり保育(単一回答)



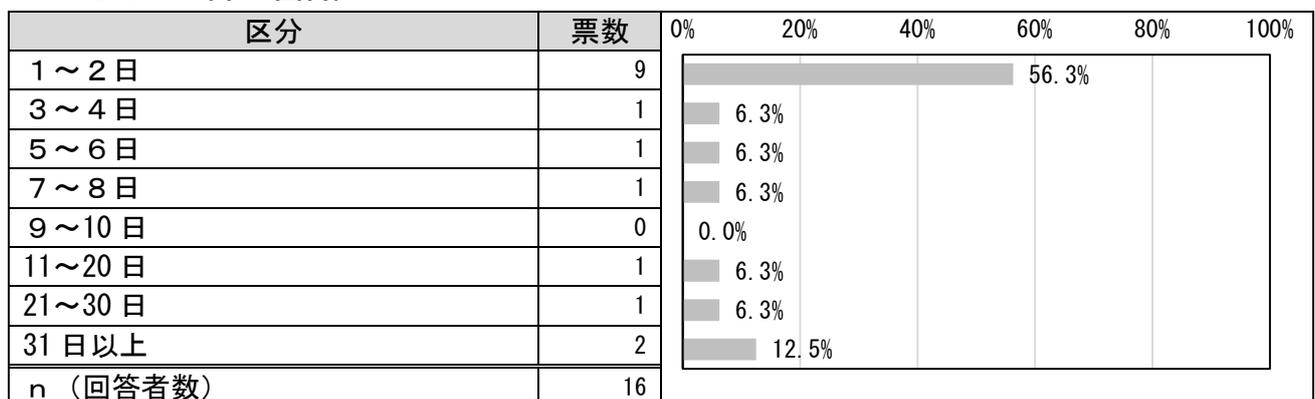
ファミリーサポートセンター(単一回答)



トワイライトステイ(単一回答)



ベビーシッター(単一回答)



その他(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1～2日	6	54.5%					
3～4日	0	0.0%					
5～6日	1	9.1%					
7～8日	0	0.0%					
9～10日	1	9.1%					
11～20日	1	9.1%					
21～30日	1	9.1%					
31日以上	1	9.1%					
n (回答者数)	11						

(2)現在、事業を利用していない理由(複数回答)

問 16 で事業を「7. 利用していない」を選んだ方

問 16-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が62.4%となっています。
- ・ついで、「利用方法（手続き等）がわからない」との回答が17.1%、「利用料が発生する/高い」が16.4%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
特に利用する必要がない	999	62.4%					
利用したい保育所・幼稚園などが近くにない	88	5.5%					
サービスの質に不安がある	141	8.8%					
利便性がよくない	158	9.9%					
利用料が発生する/高い	262	16.4%					
利用料がわからない	133	8.3%					
自分が対象者になるのかわからない	192	12.0%					
利用方法（手続き等）がわからない	274	17.1%					
その他	76	4.7%					
無効・無回答	169	10.5%					
n (回答者数)	1,602						

(3)私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等のサービスを利用する希望の有無(単一回答)

問17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について、あてはまるものすべてをお選びいただき、それぞれの日数についてあてはまるものをお選びください。
 なお、事業の利用には、一定の利用料が発生します。

- ・一時預かり等のサービスの利用希望の有無についてみると、「利用する必要はない」が47.1%となっていますが、「利用したい」との回答が46.1%となっています。
- ・また、利用したい目的の内訳については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が76.7%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が66.0%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用したい	836						
利用する必要はない	854						
無効・無回答	122						
n（回答者数）	1,812						

(4)利用したい目的の内訳(複数回答)

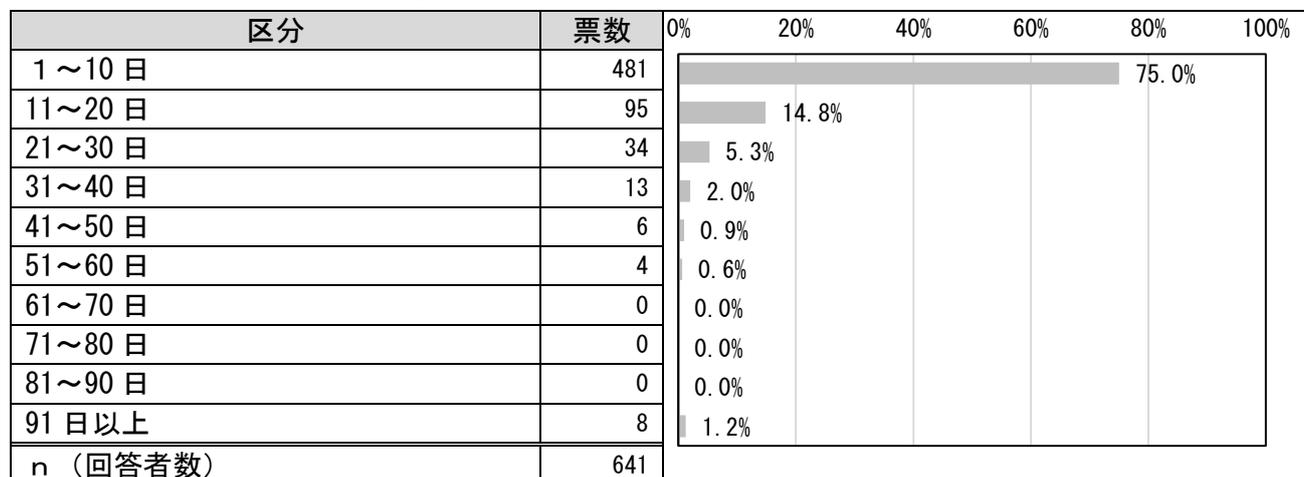
問17で私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等のサービスを「1. 利用したい」を選んだ方

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
私用、リフレッシュ目的	641						
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	552						
不定期の就労	295						
その他	55						
無効・無回答	42						
n（回答者数）	836						

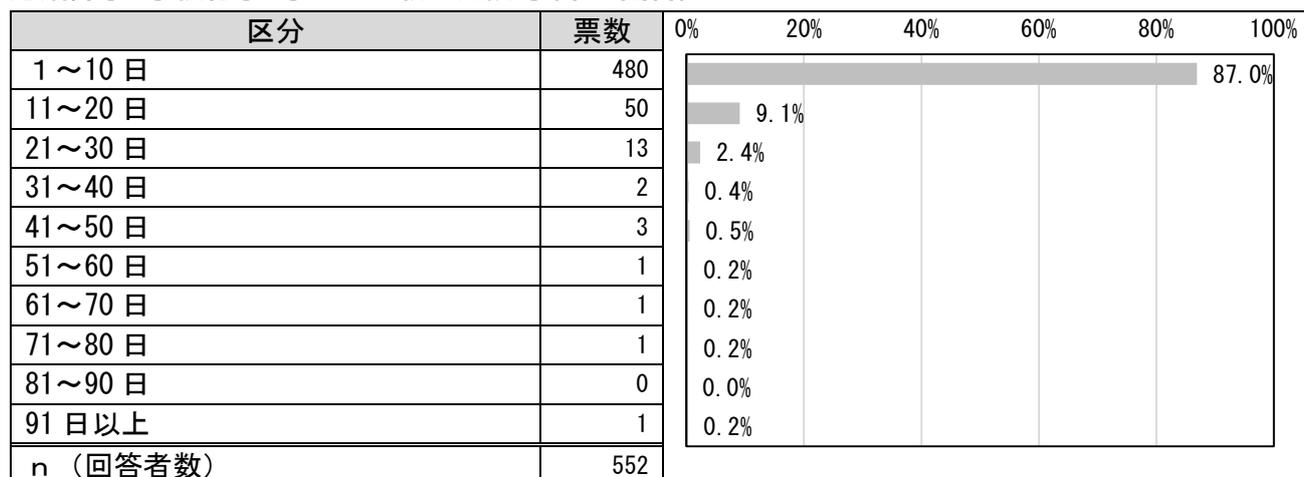
利用したい目的の年間日数

・一時預かり等の利用目的と日数の関係を見ていくと、すべての項目において「1～10日」が最も多くなっています。

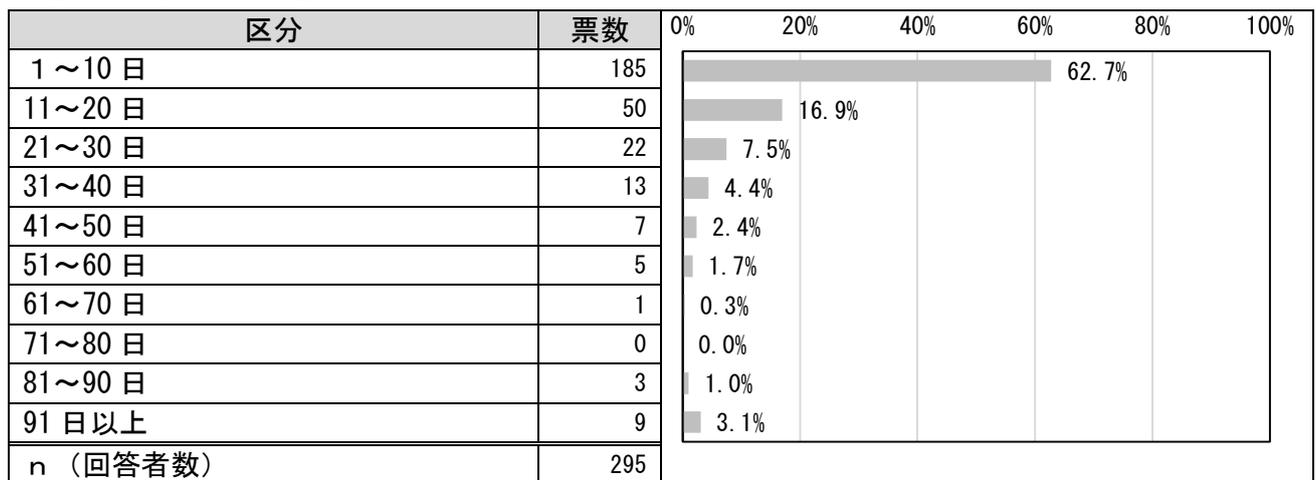
私用、リフレッシュ目的(単一回答)



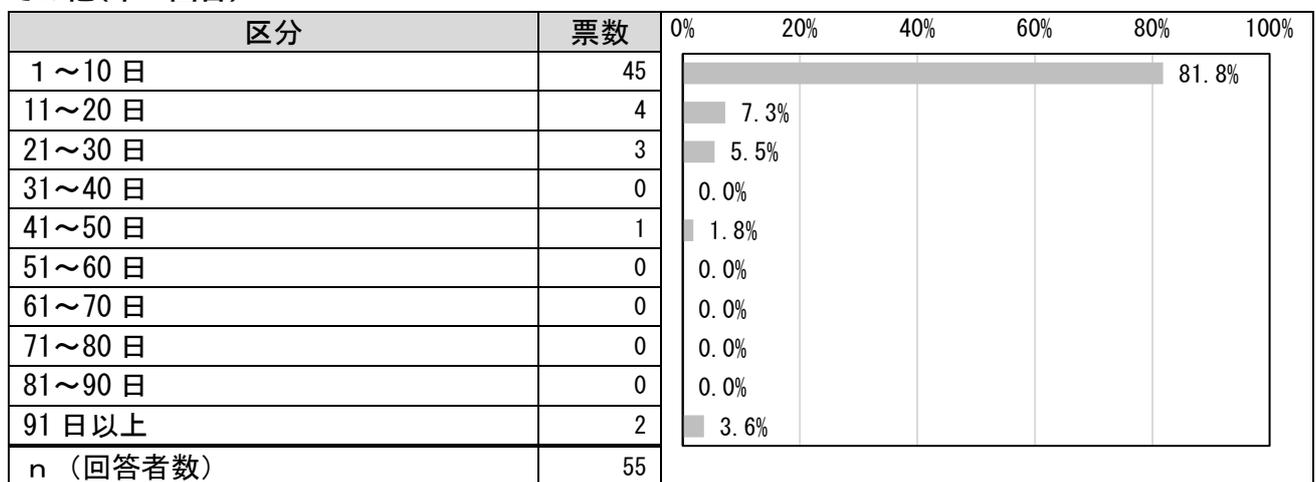
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等(単一回答)



不定期の就労(単一回答)



その他(単一回答)

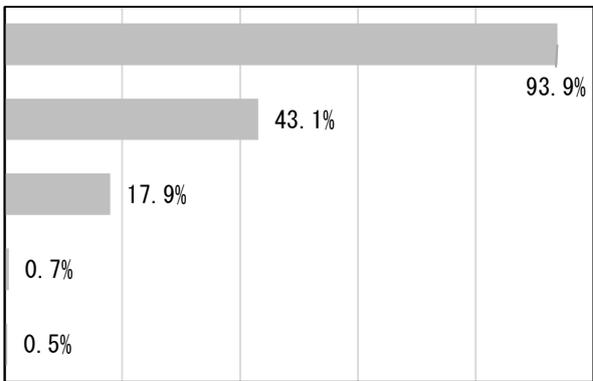


(5)子どもを預ける場合の事業形態の希望(複数回答)

問17で私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等のサービスを「1. 利用したい」を選んだ方

問17-1 問17の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思いますか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・利用したい方の子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「保育所・幼稚園・認定こども園での子どもの保育」が93.9%と最も高く、ついで「こども広場や地域の子育て支援センターでの子どもの保育」が43.1%となっており、日常的に利用している施設での事業へのニーズが高い傾向があります。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
保育所・幼稚園・認定こども園での子どもの保育	785						
こども広場や地域の子育て支援センターでの子どもの保育	360	93.9%					
ファミリーサポートセンターなど地域住民等による、子育て家庭等の身近な場所での子どもの保育	150	43.1%					
その他	6	17.9%					
無効・無回答	4	0.7%					
n (回答者数)	836	0.5%					

(6) ショートステイの利用希望(単一回答)

問 18 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

ショートステイ（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）の利用希望の有無について当てはまるものをお選びいただき、利用を希望する場合はそれぞれの日数についてお選びください。

- ・ ショートステイの利用希望の有無についてみると、「利用する必要はない」が 86.4%となっています。
- ・ また、利用したい目的の内訳については、「保護者や家族の病気」が 62.1%、「保護者・家族の育児疲れ・不安」が 44.7%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用したい	206	11.4%					
利用する必要はない	1,566	86.4%					
無効・無回答	40	2.2%					
n（回答者数）	1,812						

(7) ショートステイを利用したい目的(複数回答)

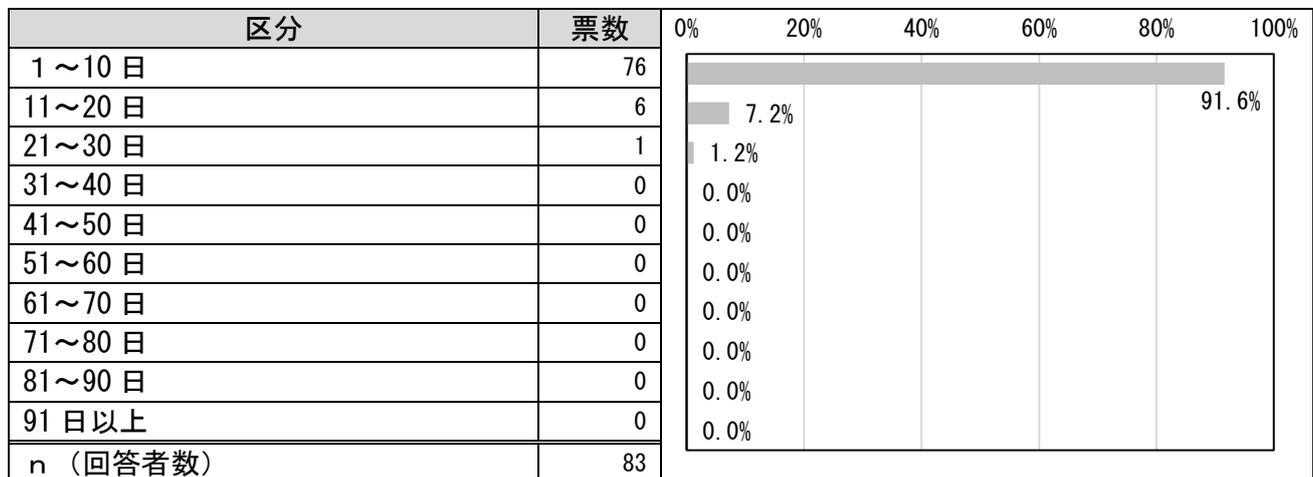
問 18 でショートステイを「1.利用したい」を選んだ方

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
冠婚葬祭	83	40.3%					
保護者・家族の育児疲れ・不安	92	44.7%					
保護者や家族の病気	128	62.1%					
不定期の就労	65	31.6%					
その他	22	10.7%					
無効・無回答	17	8.3%					
n（回答者数）	206						

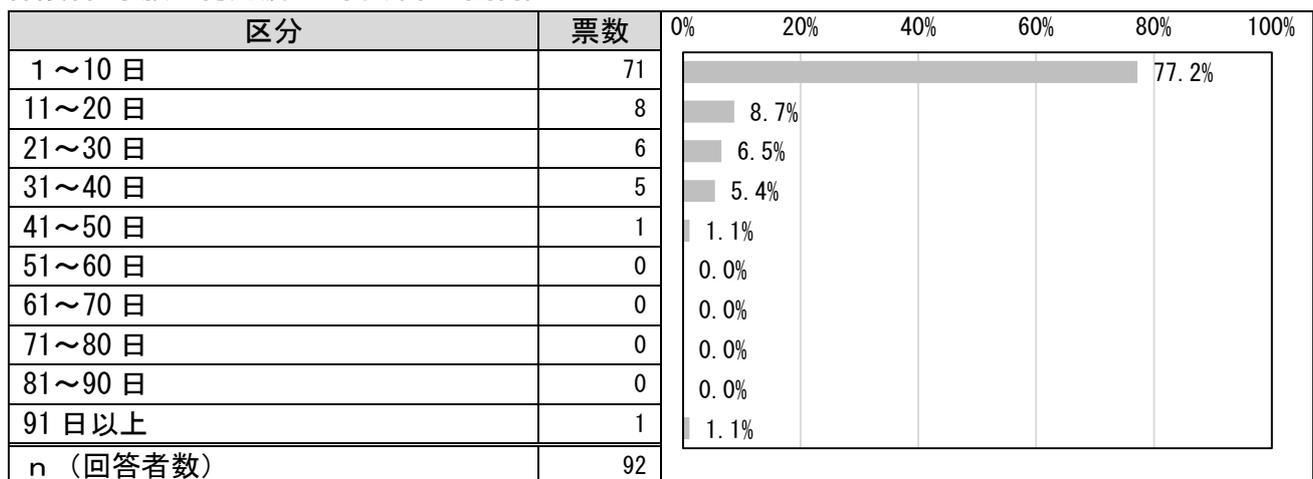
ショートステイを利用したい目的と日数の関係

・ショートステイの利用目的と日数の関係を見ていくと、すべての項目において「1～10日」が最も多くなっています。

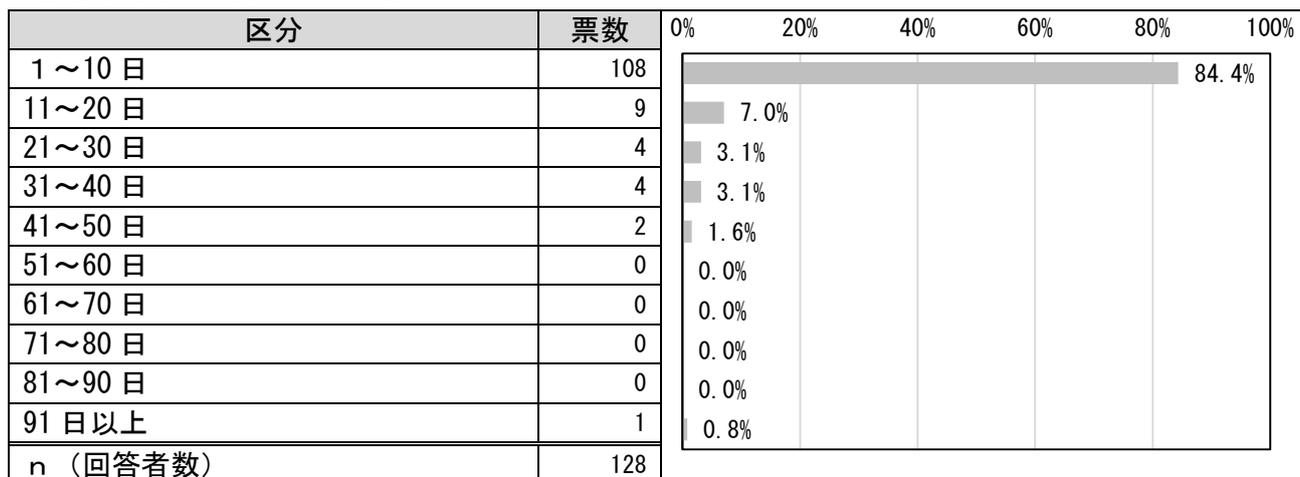
冠婚葬祭(単一回答)



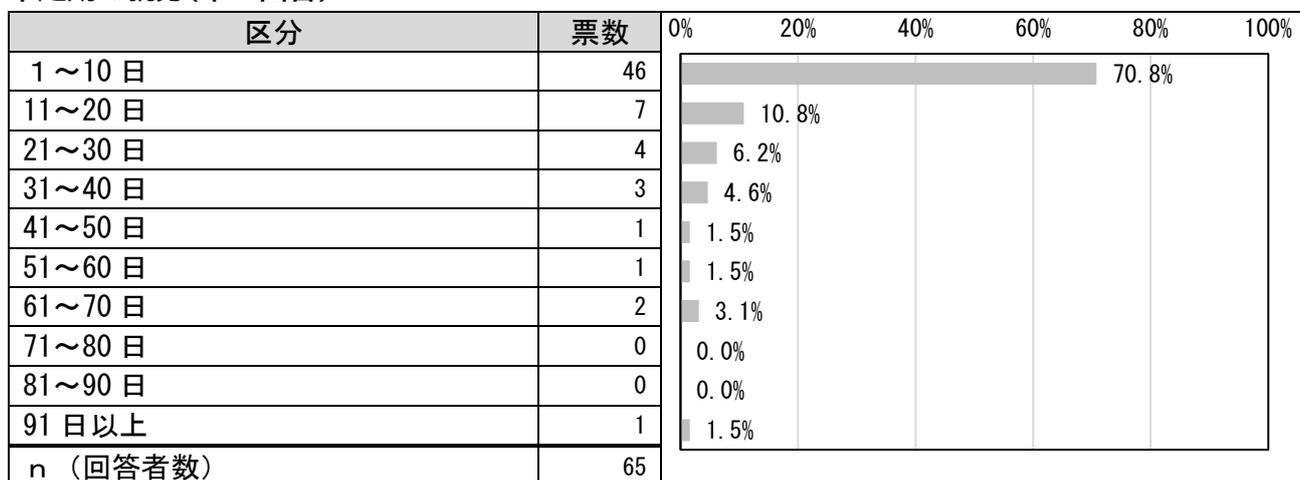
保護者・家族の育児疲れ・不安(単一回答)



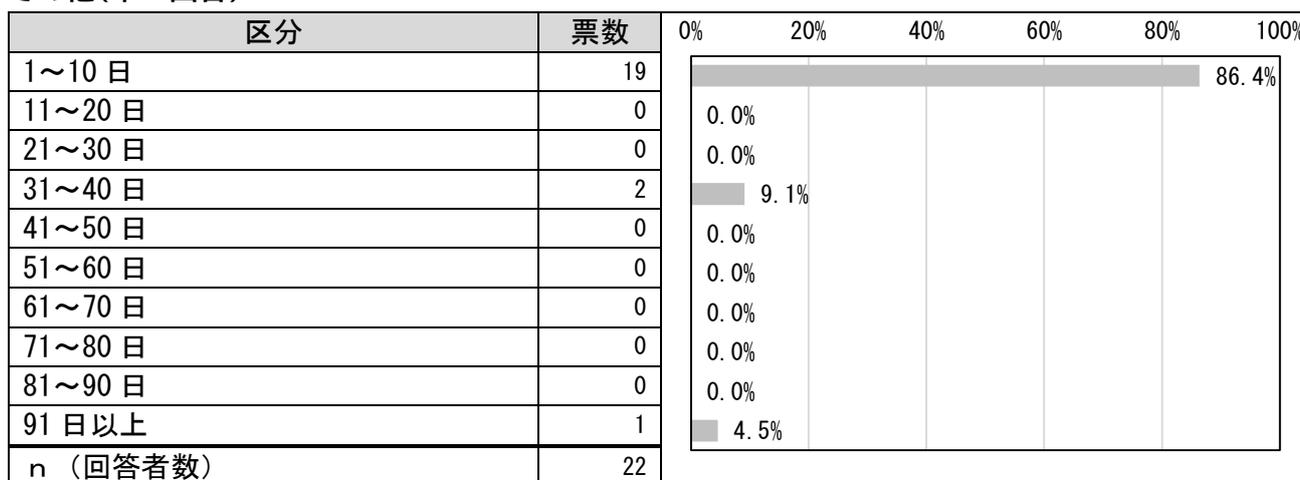
保護者や家族の病気(単一回答)



不定期の就労(単一回答)



その他(単一回答)



8 子育て支援事業の利用状況

(1)「こども広場」や「地域子育て支援センター」の利用の有無(単一回答)

問 19 あて名のお子さんは、現在、「こども広場」（8か所）や「地域子育て支援センター」（6か所）を利用していますか。あてはまるもの1つをお選びください。また、おおよその利用回数（頻度）についてあてはまるもの1つをお選びください。

「こども広場」…金沢駅こどもらんど、近江町交流プラザちびっこ広場、教育プラザ富樫子育て広場ぞう・こあら、福祉健康センター（駅西スマイルパーク、元町ぞうさんランド、泉野あいあいルーム）、金沢21世紀美術館まるびいすくすくステーション、玉川こども図書館木の広場

「地域子育て支援センター」…泉の台幼稚園子育て支援センター、光こども園子育て支援センター、安原こども園子育てセンター、龍雲寺学園バウデア学舎子育て支援センター、石川県済生会こども園アイリス子育て支援センター、むつみ園ふれんどハウス子育て支援センター

- ・「こども広場」や「地域子育て支援センター」の利用の有無については、「知っているが、利用していない」との回答が57.8%と半数以上を占めています。
- ・利用者の利用回数は、1週間あたりでは「1回」（13.0%）が最も多く、1か月あたりでは「1～2回」（65.6%）が最も多くなっています。

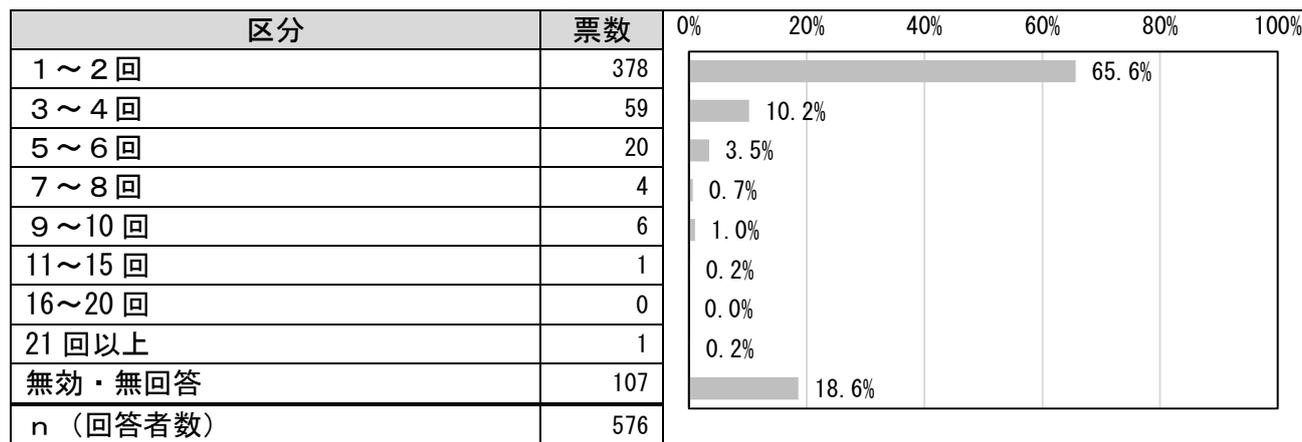
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用している	576	31.8%					
知っているが、利用していない	1,047	57.8%					
知らない	176	9.7%					
無効・無回答	13	0.7%					
n（回答者数）	1,812						

問 19 で「こども広場」や「地域子育て支援センター」を「1. 利用している」を選んだ方

1週間あたりの利用回数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1回	75	13.0%					
2回	35	6.1%					
3回	10	1.7%					
4回	6	1.0%					
5回	1	0.2%					
6回	1	0.2%					
7回	1	0.2%					
無効・無回答	447	77.6%					
n（回答者数）	576						

もしくは1か月あたりの利用回数(単一回答)



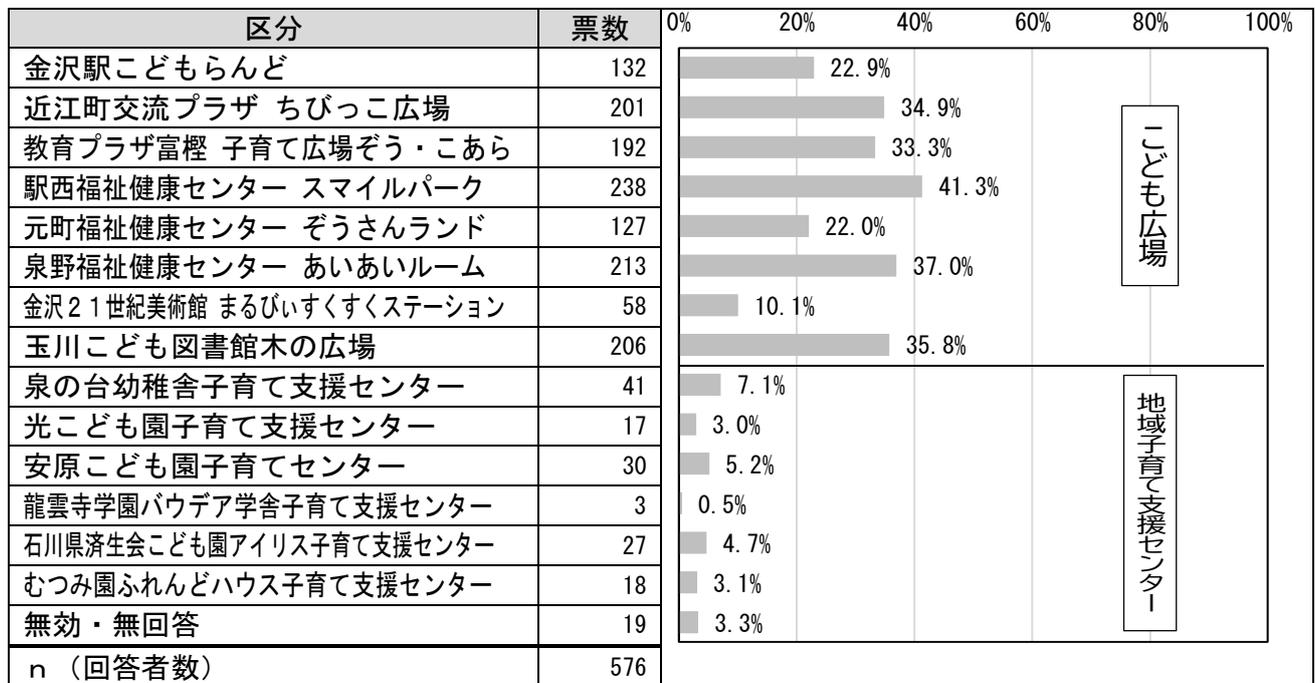
(2)利用経験のある「こども広場」や「地域子育て支援センター」(複数回答)

問 19 で「こども広場」や「地域子育て支援センター」を「1. 利用している」を選んだ方

問 19-1 利用している、または利用したことがある施設は何ですか。あてはまる施設すべてをお選びください。

- ・「こども広場」や「地域子育て支援センター」の利用経験者に、利用経験のある施設の名称を尋ねたところ、「こども広場」の方が「地域子育て支援センター」よりも利用経験者が多く、「こども広場」の中では「駅西福祉健康センター スマイルパーク」が41.3%、「泉野福祉健康センター あいあいルーム」が37.0%となっています。
- ・「玉川こども図書館木の広場」が35.8%、「近江町交流プラザ ちびっこ広場」が34.9%で続きます。

子ども広場・地域子育て支援センター

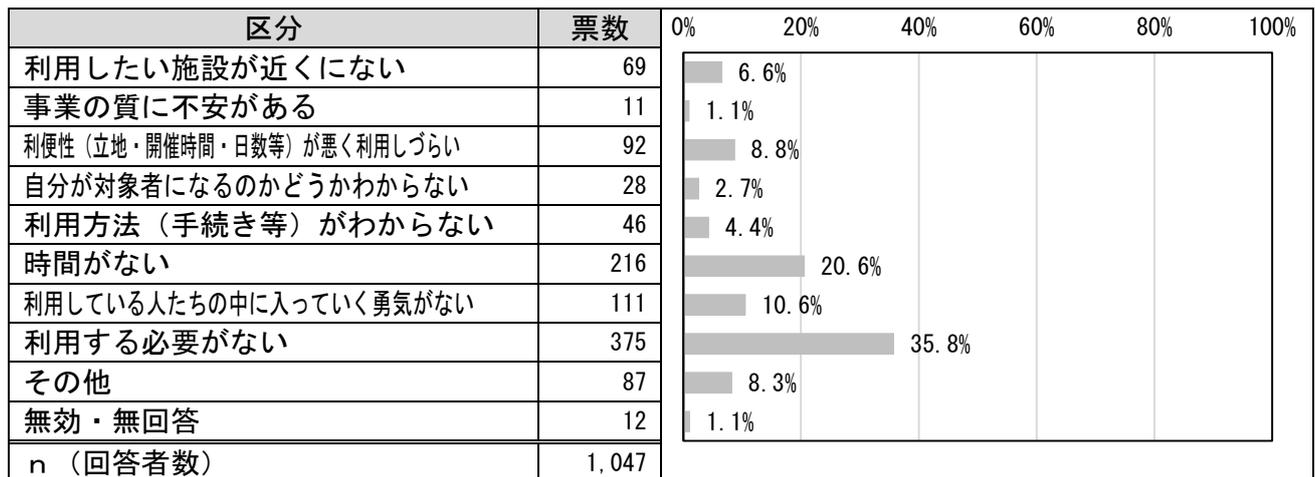


(3)「こども広場」や「地域子育て支援センター」を利用していない理由(複数回答)

問 19 で「こども広場」や「地域子育て支援センター」を「2. 知っているが、利用していない」を選んだ方

問 19-2 利用していない理由は何ですか。もっともあてはまるもの1つをお選びください。

- ・利用していない理由については、「利用する必要がない」が35.8%、「時間がない」との回答が20.6%となっています。



(4)地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望(単一回答)

問 20 問 19 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまるもの1つをお選びいただき、あてはまる施設1つをお選びください。また、おおよその利用回数（頻度）についてあてはまるもの1つをお選びください。

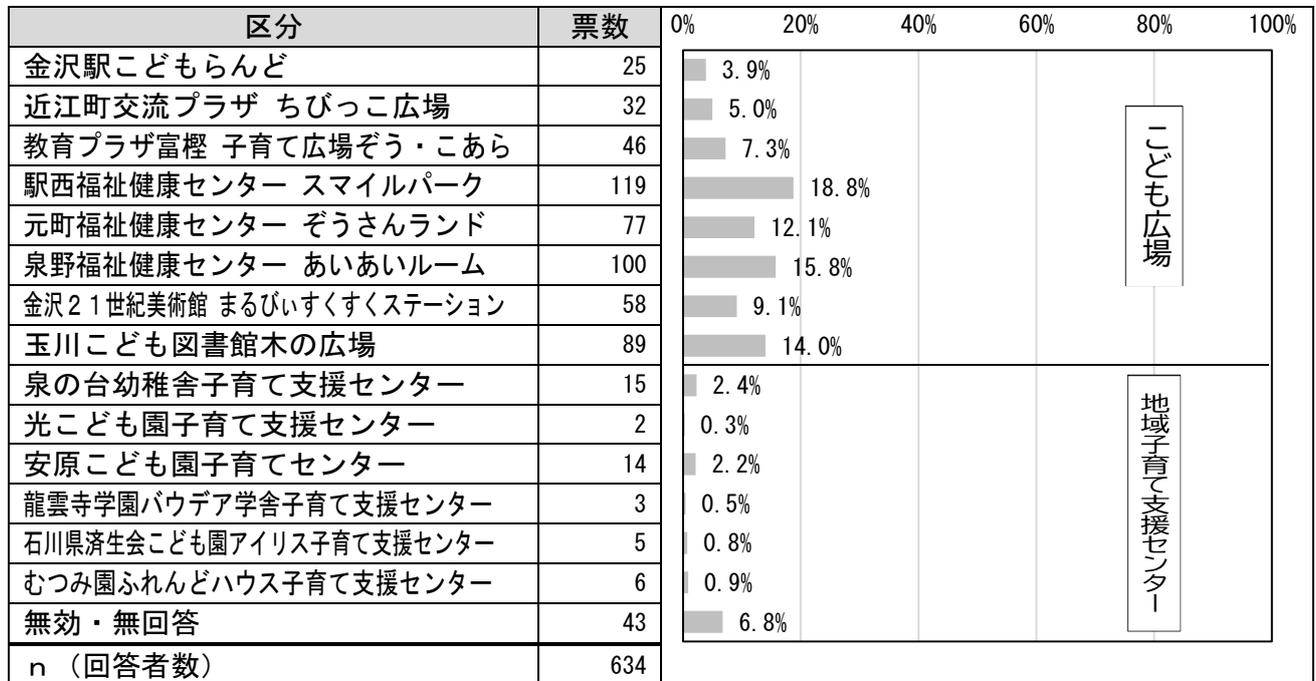
- ・地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が43.2%と最も高くなっています。
- ・1週あたりの利用希望回数では、「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」とともに「1回」の割合が最も高くなっています。
- ・1か月あたりの利用希望回数では、「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」とともに「1～2回」の割合が最も高くなっています。
- ・「利用していないが、今後利用したい」との回答者が記入した施設は、「駅西福祉健康センター スマイルパーク」や「泉野福祉健康センター あいあいルーム」、「玉川こども図書館木の広場」などが目立ちました。
- ・「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」との回答者が記入した施設は、「玉川こども図書館木の広場」や「駅西福祉健康センター スマイルパーク」が多くありました。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用していないが、今後利用したい	634						
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	327						
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	782						
無効・無回答	69						
n（回答者数）	1,812						

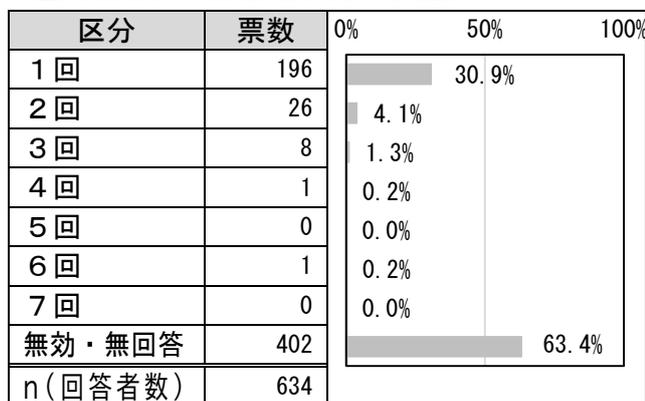
(5)「こども広場」や「地域子育て支援センター」の利用希望(単一回答)

問 19 で「こども広場」や「地域子育て支援センター」を「1. 利用していないが、今後利用したい」を選んだ方

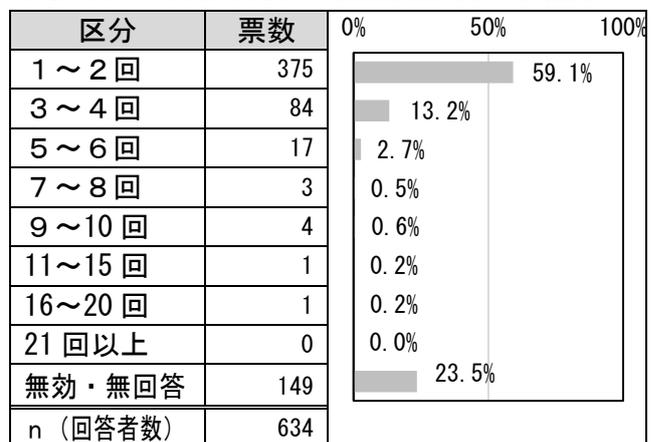
今後利用したい施設



1週間あたりの利用回数(単一回答)

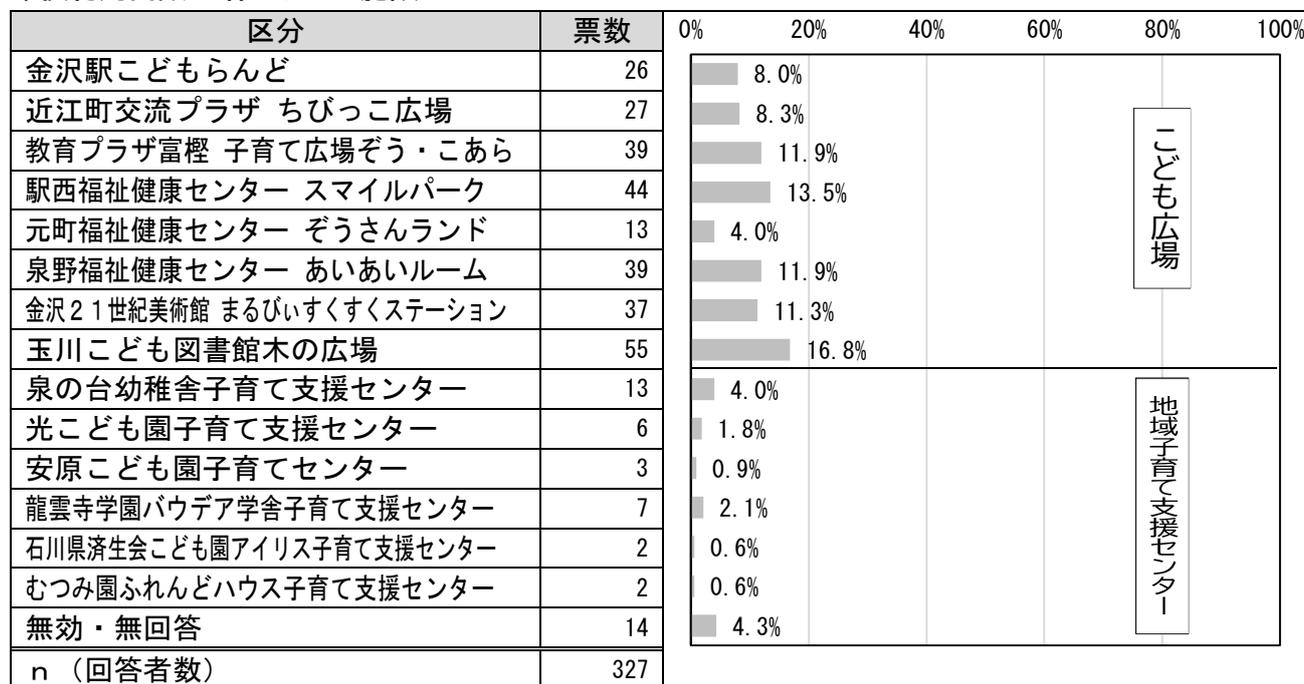


もしくは1か月あたりの利用回数(単一回答)

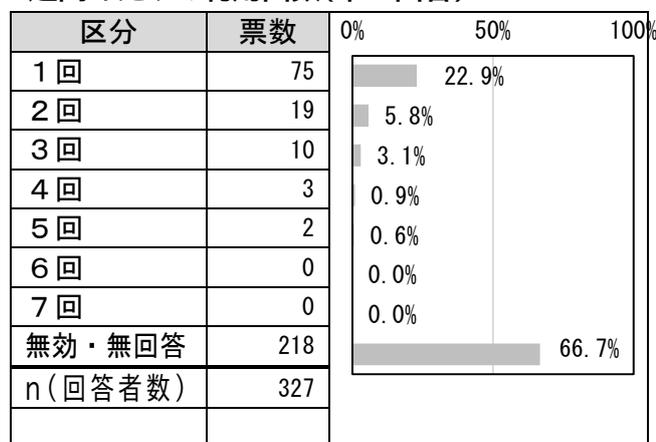


問 19 で「こども広場」や「地域子育て支援センター」を「2. 利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方

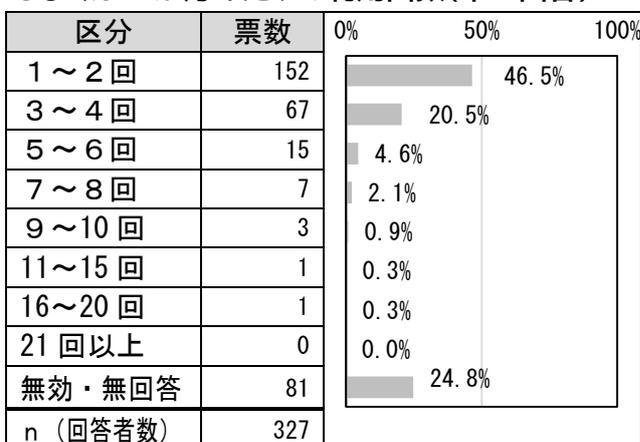
今後利用日数を増やしたい施設



1週間あたりの利用回数(単一回答)



もしくは1か月あたりの利用回数(単一回答)



9 小学校入学後の放課後の過ごし方

(1)小学校入学後の1～3年生の時に、放課後(平日の小学校終了後)の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか(複数回答)

あて名のお子さんが5歳以上の方

問 21 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてをお選びいただき、それぞれ希望する1週あたりの日数をお選びください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間もお選びください。

「放課後児童クラブ」（学童保育）… 保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用には、一定の利用料が発生します。

※1 児童館で行っている放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答してください。

※2 地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や地域の公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組みです。（市内10公民館で実施）

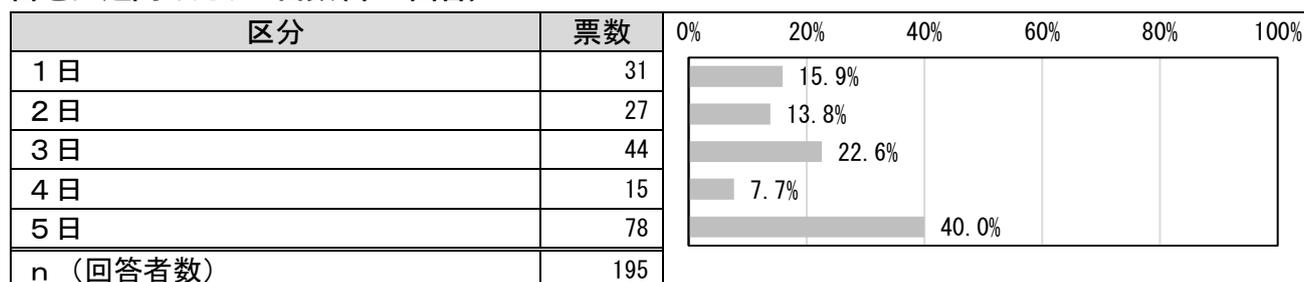
- ・小学校入学後に、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、低学年（1～3年生）では「放課後児童クラブ(学童保育)」が59.5%と高く、ついで「習い事」(43.8%)、「自宅」(42.5%)となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
自宅	195	42.5%					
祖父母宅や友人・知人宅	70	15.3%					
習い事	201	43.8%					
児童館 ^{※1}	53	11.5%					
放課後子ども教室 ^{※2}	59	12.9%					
放課後児童クラブ（学童保育）	273	59.5%					
ファミリーサポートセンター	5	1.1%					
放課後等デイサービス	19	4.1%					
その他	45	9.8%					
無効・無回答	9	2.0%					
n（回答者数）	459						

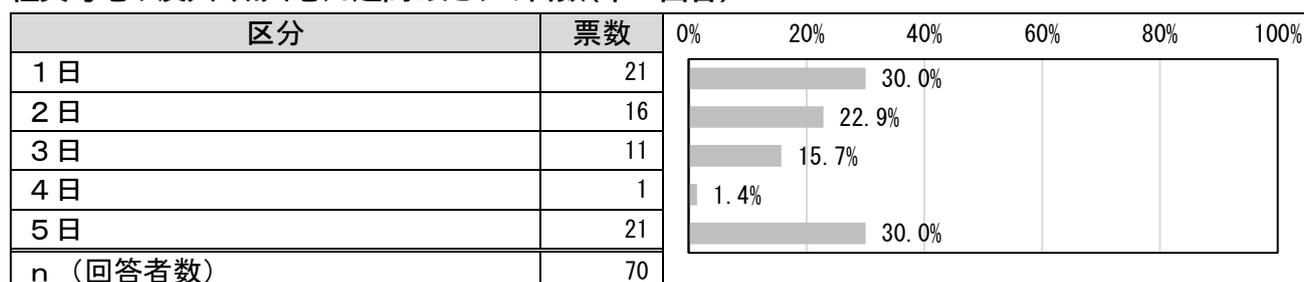
週あたりの利用希望日数(1～3年生)

- ・小学校1～3年生の間の、週あたりの利用希望日数については、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「放課後児童クラブ(学童保育)」「放課後等デイサービス」では「5日」の割合が最も高くなっています。
- ・「習い事」は、「1日」「2日」の回答が多くなっています。
- ・放課後児童クラブ(学童保育)を選んだ方の利用希望時間では、「17時台」までの利用が最も高く36.3%となっています。

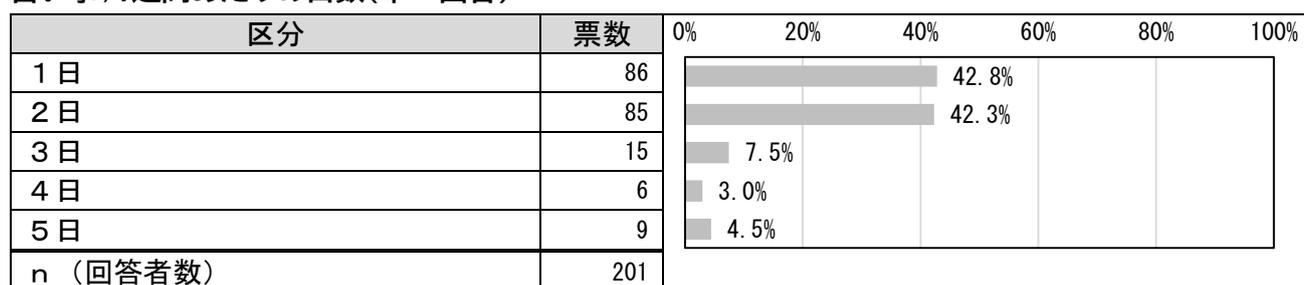
自宅;1週間あたりの日数(単一回答)



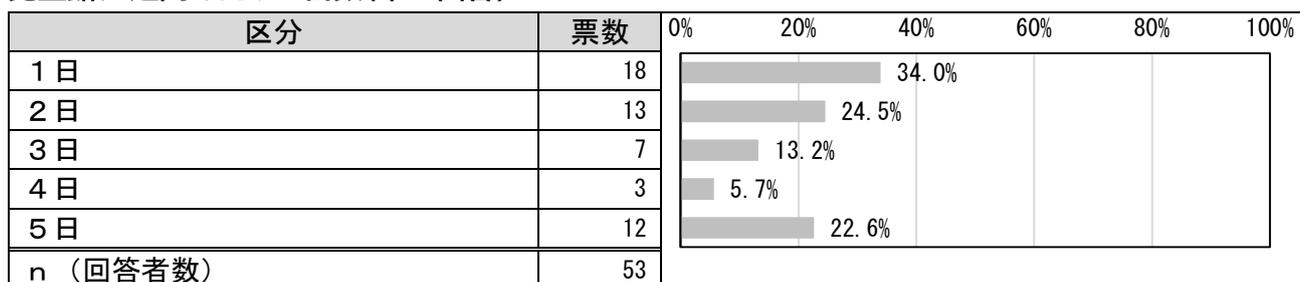
祖父母宅や友人・知人宅;1週間あたりの日数(単一回答)



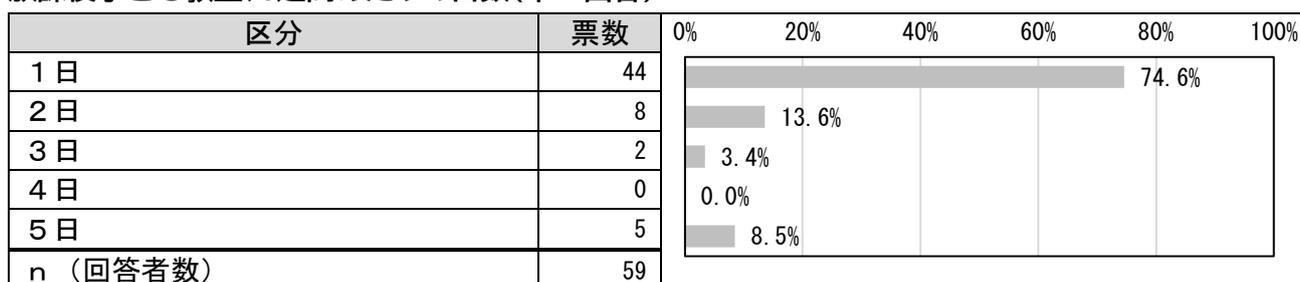
習い事;1週間あたりの日数(単一回答)



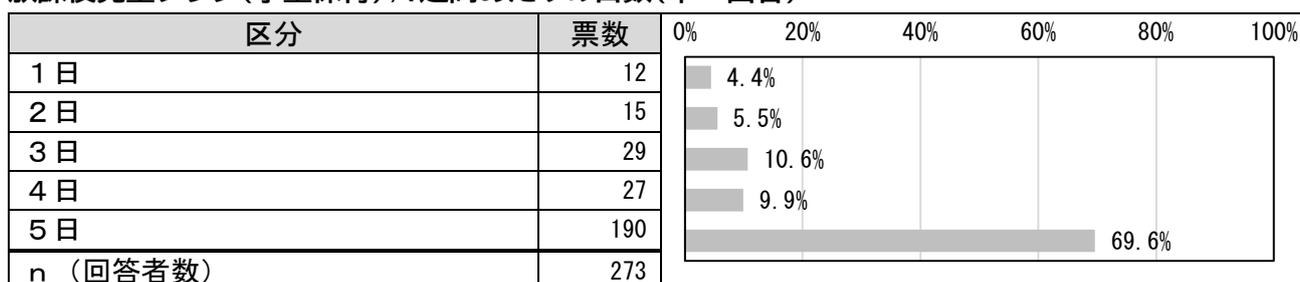
児童館;1週間あたりの日数(単一回答)



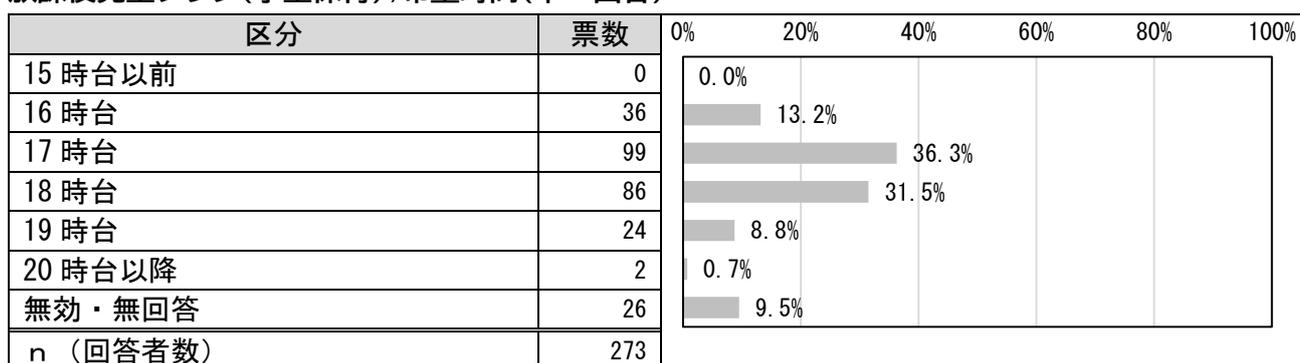
放課後子ども教室;1週間あたりの日数(単一回答)



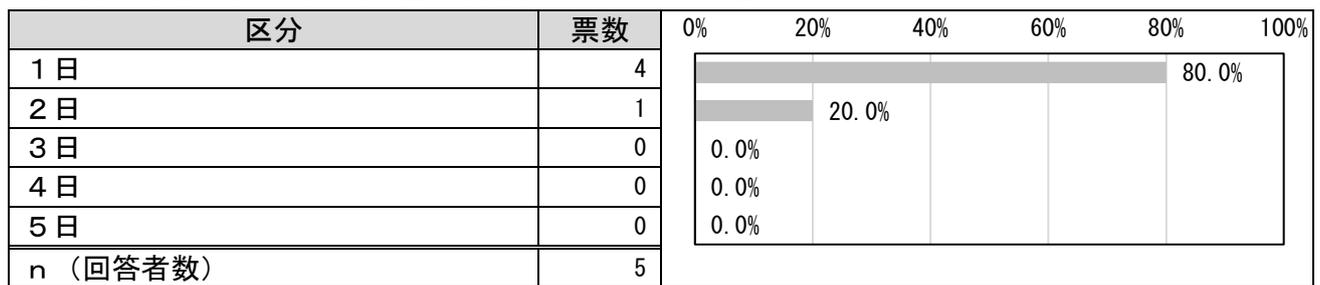
放課後児童クラブ(学童保育);1週間あたりの日数(単一回答)



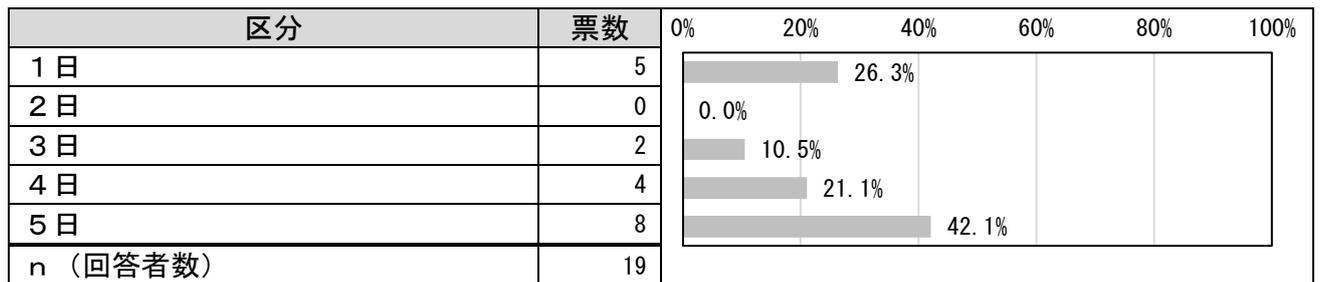
放課後児童クラブ(学童保育);希望時間(単一回答)



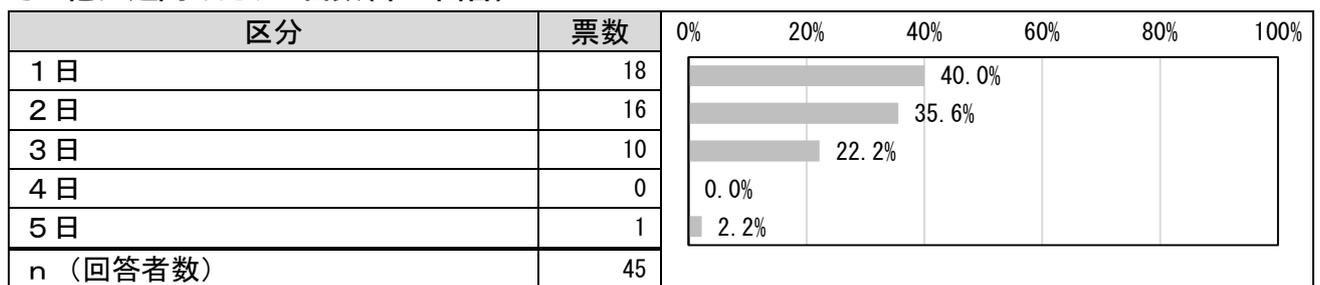
ファミリーサポートセンター;1週間あたりの日数(単一回答)



放課後等デイサービス;1週間あたりの日数(単一回答)



その他;1週間あたりの日数(単一回答)



(2)小学校入学後の4～6年生の時に、放課後(平日の小学校終了後)の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか(複数回答)

問 22 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてをお選びいただき、それぞれ希望する1週あたりの日数をお選びください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間についてあてはまるものをお選びください。

※しばらく先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

※児童館で行っている放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に回答してください。

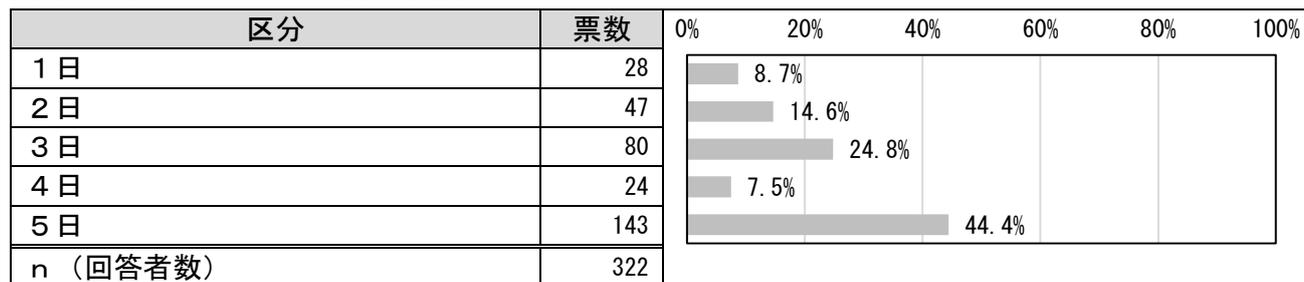
- ・高学年（4～6年生）になったら放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、低学年では42.5%であった「自宅」が70.2%と最も高くなっています。ついで「習い事」が57.5%、低学年では59.5%であった「放課後児童クラブ(学童保育)」は23.7%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
自宅	322	70.2%					
祖父母宅や友人・知人宅	86	18.7%					
習い事	264	57.5%					
児童館	48	10.5%					
放課後子ども教室	53	11.5%					
放課後児童クラブ（学童保育）	109	23.7%					
ファミリーサポートセンター	2	0.4%					
放課後等デイサービス	15	3.3%					
その他	69	15.0%					
無効・無回答	11	2.4%					
n（回答者数）	459						

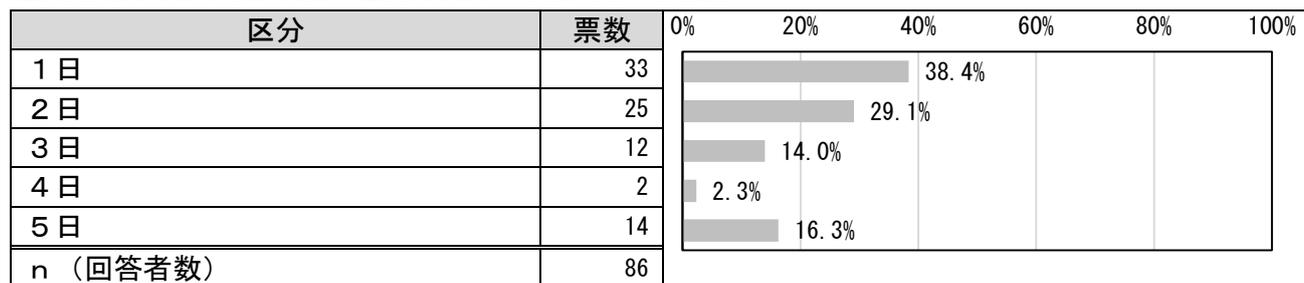
週あたりの利用希望日数(4～6年生)

- ・小学校4～6年生の間の、週あたりの利用希望日数については、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」「放課後等デイサービス」では「5日」の割合が最も高くなっています。
- ・「習い事」は、「1日」「2日」との回答が多くなっています。
- ・放課後児童クラブ（学童保育）を選んだ方の利用希望時間では、「18時台」が最も高くなっています。

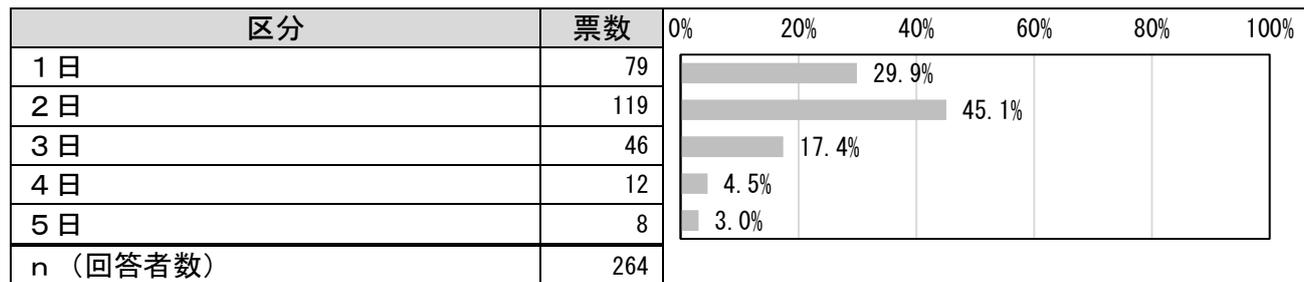
自宅;1週間あたりの日数(単一回答)



祖父母宅や友人・知人宅;1週間あたりの日数(単一回答)



習い事;1週間あたりの日数(単一回答)



児童館;1週間あたりの日数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1日	19						
2日	11						
3日	9						
4日	1						
5日	8						
n (回答者数)	48						

放課後子ども教室;1週間あたりの日数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1日	31						
2日	13						
3日	4						
4日	0						
5日	5						
n (回答者数)	53						

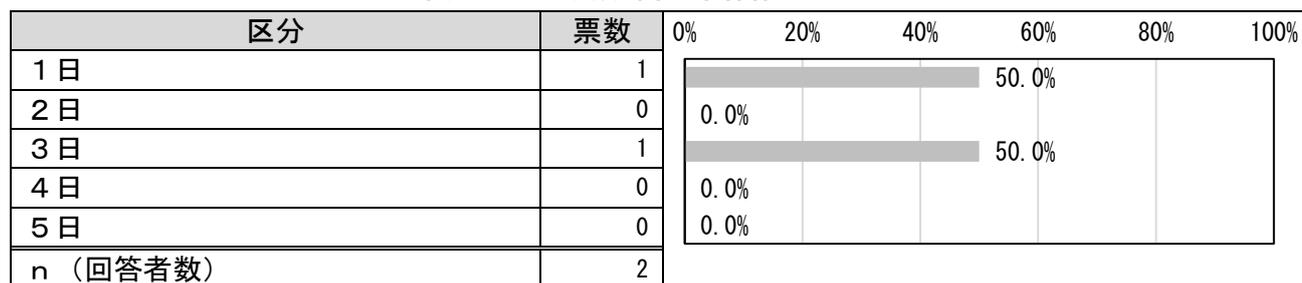
放課後児童クラブ(学童保育);1週間あたりの日数(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1日	11						
2日	10						
3日	27						
4日	8						
5日	53						
n (回答者数)	109						

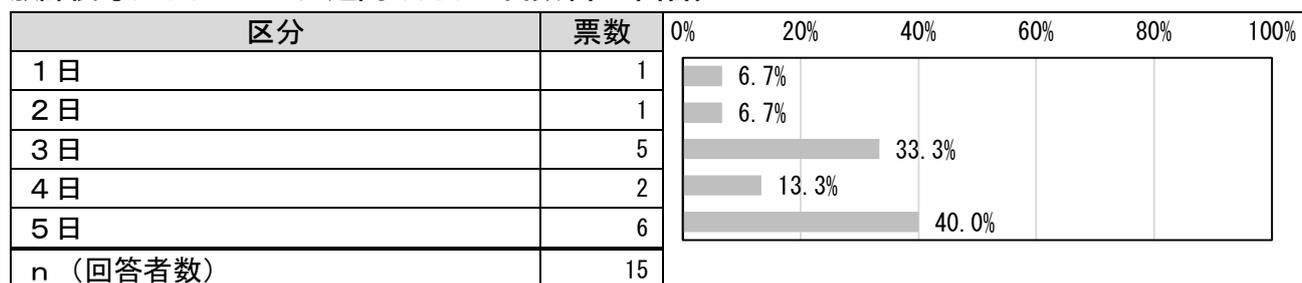
放課後児童クラブ(学童保育);希望時間(単一回答)

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
15時台以前	0						
16時台	7						
17時台	22						
18時台	29						
19時台	8						
20時台以降	1						
無効・無回答	42						
n (回答者数)	109						

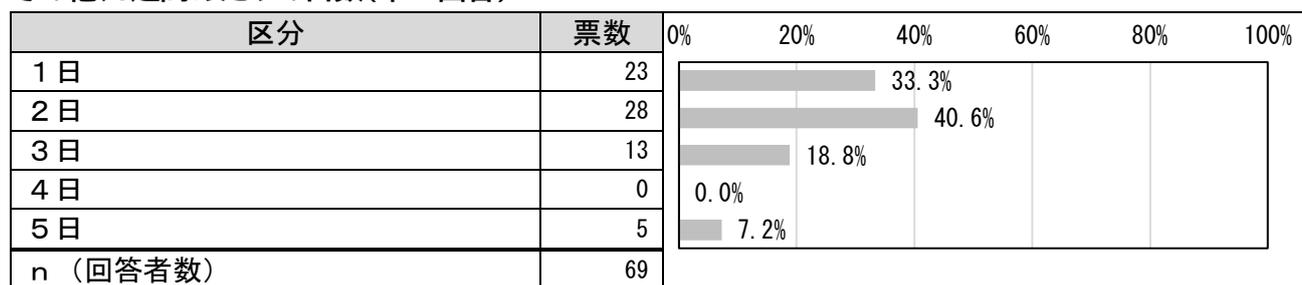
ファミリーサポートセンター;1週間あたりの日数(単一回答)



放課後等デイサービス;1週間あたりの日数(単一回答)



その他;1週間あたりの日数(単一回答)



(3)土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望(単一回答)

問 21 または問 22 で放課後の時間を過ごさせたいと思う場所として「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」を選んだ方

問 23 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。「(1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日」それぞれについて、あてはまるもの 1 つをお選びいただき、利用したい時間帯をお選びください。

- ・放課後児童クラブの土曜日と日曜日・祝日の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ 57.0%、81.4%となっています。
- ・利用を希望する時間帯については、土曜日、日曜日・祝日ともに、開始時間では「8時台」、終了時間では「18時台」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

(1)土曜日

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
低学年(1~3年生)の間は利用したい	72	27.4%					
高学年(4~6年生)になっても利用したい	26	9.9%					
利用する必要はない	150	57.0%					
無効・無回答	15	5.7%					
n(回答者数)	263						

問 23 の(1)土曜日で「1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい」、「2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい」を選んだ方

利用したい時間帯をお答えください。

利用開始時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
6時台以前	0	0.0%		
7時台	20	20.4%		
8時台	37	37.8%		
9時台	12	12.2%		
10時台	2	2.0%		
11時台	0	0.0%		
12時台	0	0.0%		
13時台	2	2.0%		
14時台	14	14.3%		
15時台	8	8.2%		
16時台	1	1.0%		
17時台	0	0.0%		
18時台	0	0.0%		
19時台	0	0.0%		
20時台以降	0	0.0%		
無効・無回答	2	2.0%		
n(回答者数)	98			

利用終了時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
12時台以前	1	1.0%		
13時台	2	2.0%		
14時台	1	1.0%		
15時台	5	5.1%		
16時台	10	10.2%		
17時台	29	29.6%		
18時台	37	37.8%		
19時台	11	11.2%		
20時台以降	0	0.0%		
無効・無回答	2	2.0%		
n(回答者数)	98			

(2)日曜日・祝日

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
低学年（1～3年生）の間は利用したい	26	9.9%					
高学年（4～6年生）になっても利用したい	10	3.8%					
利用する必要はない	214	81.4%					
無効・無回答	13	4.9%					
n（回答者数）	263						

問 23 の(2)日曜日・祝日で「1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい」、「2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい」を選んだ方

利用したい時間帯をお答えください。

利用開始時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
6時台以前	0	0.0%		
7時台	9	25.0%		
8時台	13	36.1%		
9時台	5	13.9%		
10時台	0	0.0%		
11時台	0	0.0%		
12時台	0	0.0%		
13時台	1	2.8%		
14時台	5	13.9%		
15時台	1	2.8%		
16時台	1	2.8%		
17時台	0	0.0%		
18時台	0	0.0%		
19時台	0	0.0%		
20時台以降	0	0.0%		
無効・無回答	1	2.8%		
n（回答者数）	36			

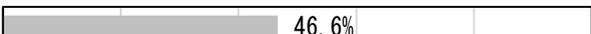
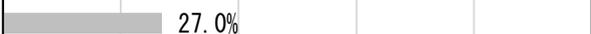
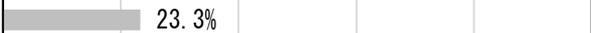
利用終了時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
12時台以前		2.8%		
13時台		0.0%		
14時台		0.0%		
15時台		0.0%		
16時台		8.3%		
17時台		27.8%		
18時台		33.3%		
19時台		25.0%		
20時台以降		0.0%		
無効・無回答		2.8%		
n（回答者数）				

(4)長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望(単一回答)

問 24 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中に放課後児童クラブの利用を希望しますか。あてはまるもの1つをお選びいただき、利用したい時間帯をお選びください。なお、事業の利用には、一定の利用料が発生します。

- ・長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望についてみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が46.6%と最も高く、ついで高学年（4～6年生）になっても利用したい」が27.0%となっています。
- ・利用を希望する時間帯については、開始時間では「8時台」、終了時間では「17時台」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
低学年（1～3年生）の間は利用したい	214						
高学年（4～6年生）になっても利用したい	124						
利用する必要はない	107						
無効・無回答	14						
n（回答者数）	459						

問 24 で「1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい」又は「2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい」を選んだ方

利用したい時間帯をお答えください。

利用開始時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
6時台以前	0	0.0%		
7時台	58	17.2%		
8時台	149	44.1%		
9時台	50	14.8%		
10時台	4	1.2%		
11時台	0	0.0%		
12時台	2	0.6%		
13時台	8	2.4%		
14時台	34	10.1%		
15時台	22	6.5%		
16時台	3	0.9%		
17時台	0	0.0%		
18時台	0	0.0%		
19時台	0	0.0%		
20時台以降	0	0.0%		
無効・無回答	8	2.4%		
n（回答者数）	338			

利用終了時間(単一回答)

区分	票数	0%	50%	100%
12時台以前	3	0.9%		
13時台	4	1.2%		
14時台	4	1.2%		
15時台	21	6.2%		
16時台	61	18.0%		
17時台	130	38.5%		
18時台	83	24.6%		
19時台	23	6.8%		
20時台以降	1	0.3%		
無効・無回答	8	2.4%		
n（回答者数）	338			

10 職場の両立支援制度

(1)子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況(単一回答)

問 25 あて名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親 それぞれについて、あてはまるもの1つをお選びください。また、取得していない方はその理由を下の欄からお選びください。

- ・子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況についてみると、母親では「取得した（取得中である）」が67.1%、父親では「取得していない」が79.9%と最も高くなっています。
- ・父親の取得状況は15.7%ですが、H30年度調査時の2.5%に比べると増加しています。

母親

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
働いていなかった	402	22.2%					
取得した（取得中である）	1,215	67.1%					
取得していない	161	8.9%					
無効・無回答	34	1.9%					
n（回答者数）	1,812						

父親

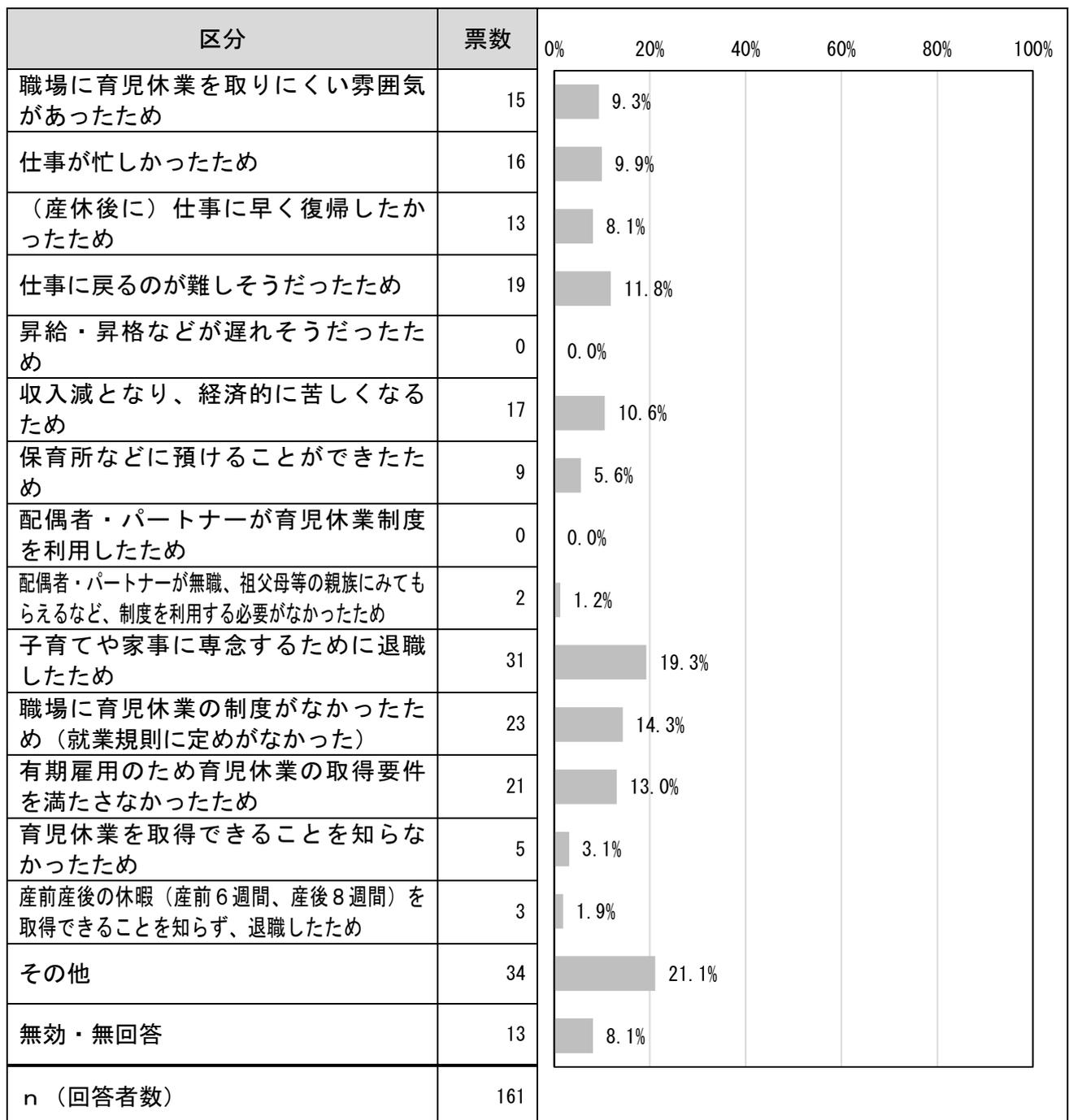
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
働いていなかった	25	1.4%					
取得した（取得中である）	285	15.7%					
取得していない	1,447	79.9%					
無効・無回答	55	3.0%					
n（回答者数）	1,812						

(2)育児休業を取得していない理由(複数回答)

問 25 で育児休業を「3. 取得していない」を選んだ方

- ・育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職したため」が19.3%と最も高く、ついで「職場に育児休業の制度がなかったため（就業規則に定めがなかった）」が14.3%となっています。
- ・父親では「仕事が忙しかったため」が42.2%で最も高く、ついで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」が38.5%となっています。

母親



父親

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため	557						
仕事が忙しかったため	610						
(産休後に) 仕事に早く復帰したかったため	8						
仕事に戻るのが難しそうだったため	51						
昇給・昇格などが遅れそうだったため	96						
収入減となり、経済的に苦しくなるため	378						
保育所などに預けることができたため	34						
配偶者・パートナーが育児休業制度を利用したため	393						
配偶者・パートナーが無職、祖父母等の親族にみてもらえなど、制度を利用する必要がなかったため	174						
子育てや家事に専念するために退職したため	34						
職場に育児休業の制度がなかったため(就業規則に定めがなかった)	140						
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかったため	10						
育児休業を取得できることを知らなかったため	33						
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職したため	1						
その他	110						
無効・無回答	72						
n(回答者数)	1,447						

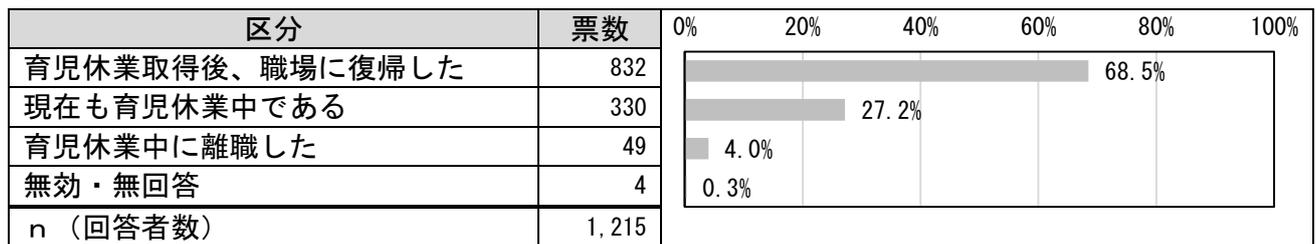
(3) 育児休業取得後、職場への復帰状況(単一回答)

問 25 で育児休業を「2. 取得した(取得中である)」を選んだ方

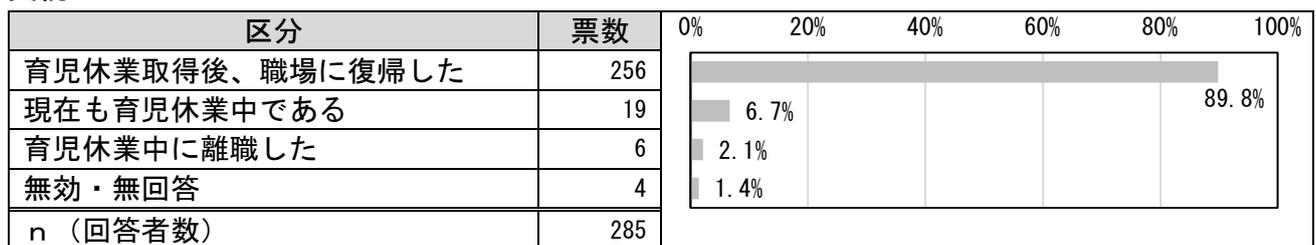
問 25-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・ 育児休業取得後の職場への復帰状況についてみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が母親では68.5%、父親では89.8%となっています。「育児休業中に離職した」との回答も母親では4.0%、父親では2.1%あります。

母親



父親



(4) 育児休業からの職場復帰のタイミング(単一回答)

問 25-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

問 25-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つをお選びください。

※年度初めの保育所の入所を希望し、1月～2月頃復帰して一時的にその他の保育施設やファミリーサポートセンターなどを利用した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。また、年度初めの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

- ・職場復帰の時期が年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったかについてみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が60.0%であり、H30年度調査の49.7%と比べると増加しています。「それ以外だった」は39.8%となっています。
- ・父親はほとんどが「それ以外だった」(81.3%)と回答しています。

母親

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	499						
それ以外だった	331						
無効・無回答	2	0.2%					
n (回答者数)	832						

父親

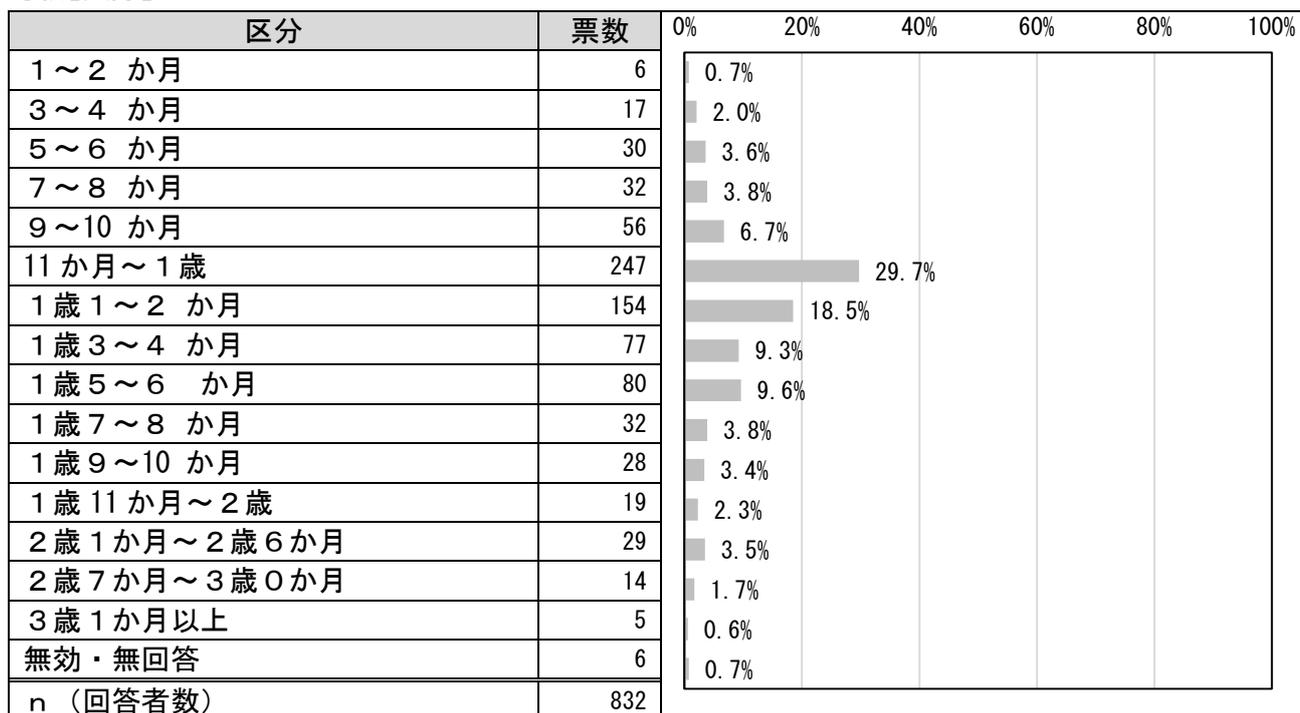
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	30						
それ以外だった	208						
無効・無回答	18	7.0%					
n (回答者数)	256						

(5)育児休業から職場復帰時の「実際」と「希望」の子どもの年齢(単一回答)

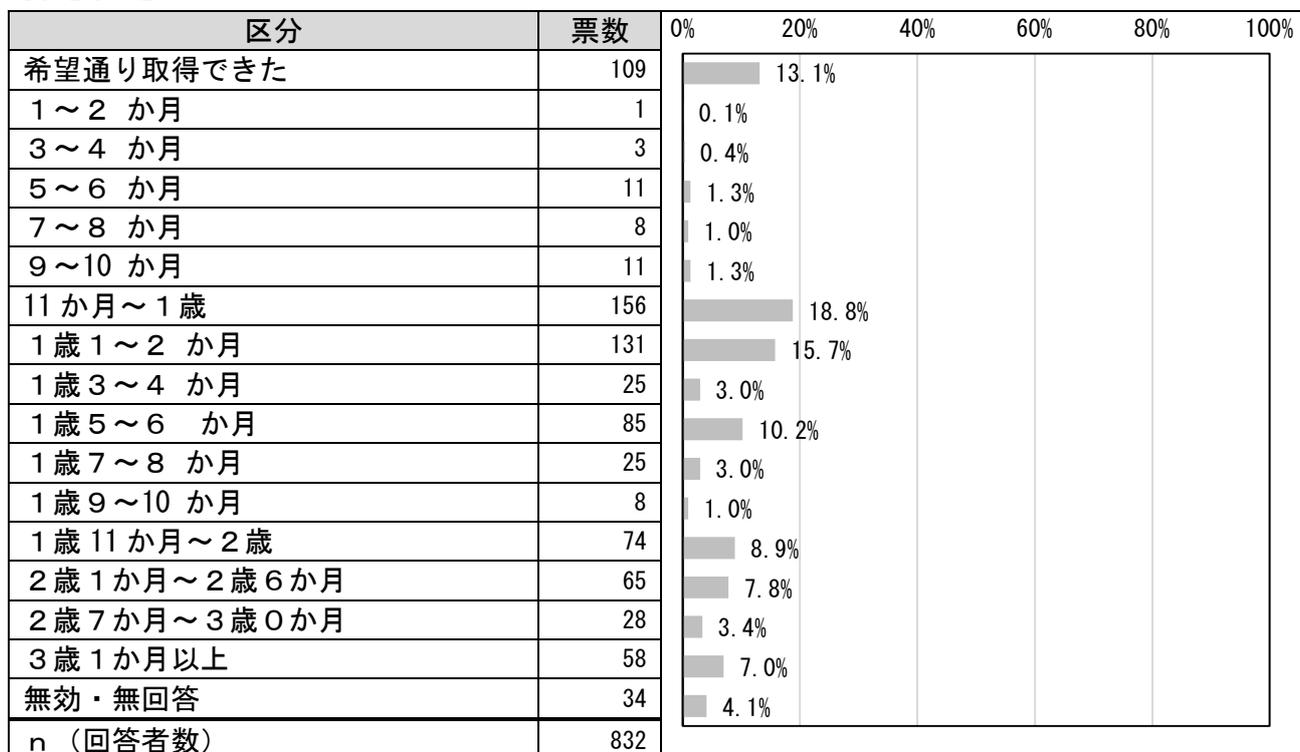
問 25-3 「実際」にお子さんが何歳何か月のときに、育児休業から職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月のときまで取得したかったですか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・育児休業から実際に子どもが何歳何か月のときに職場復帰したかについてみると、母親では「11か月～1歳」が29.7%と最も高くなっています。希望も「11か月～1歳」が18.8%と最も高くなっています。
- ・父親は職場復帰の月齢が「1～2か月」が46.5%と、母親に比べて著しく早く育休を切り上げています。

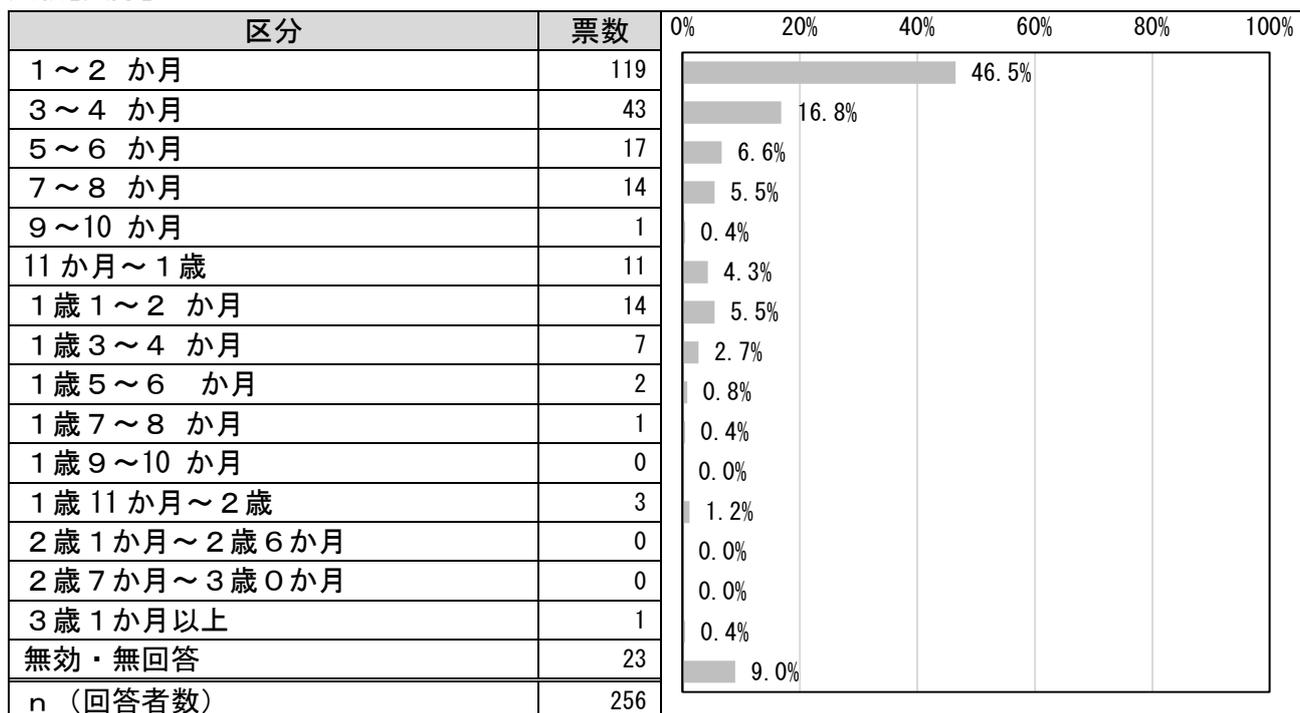
母親【実際】



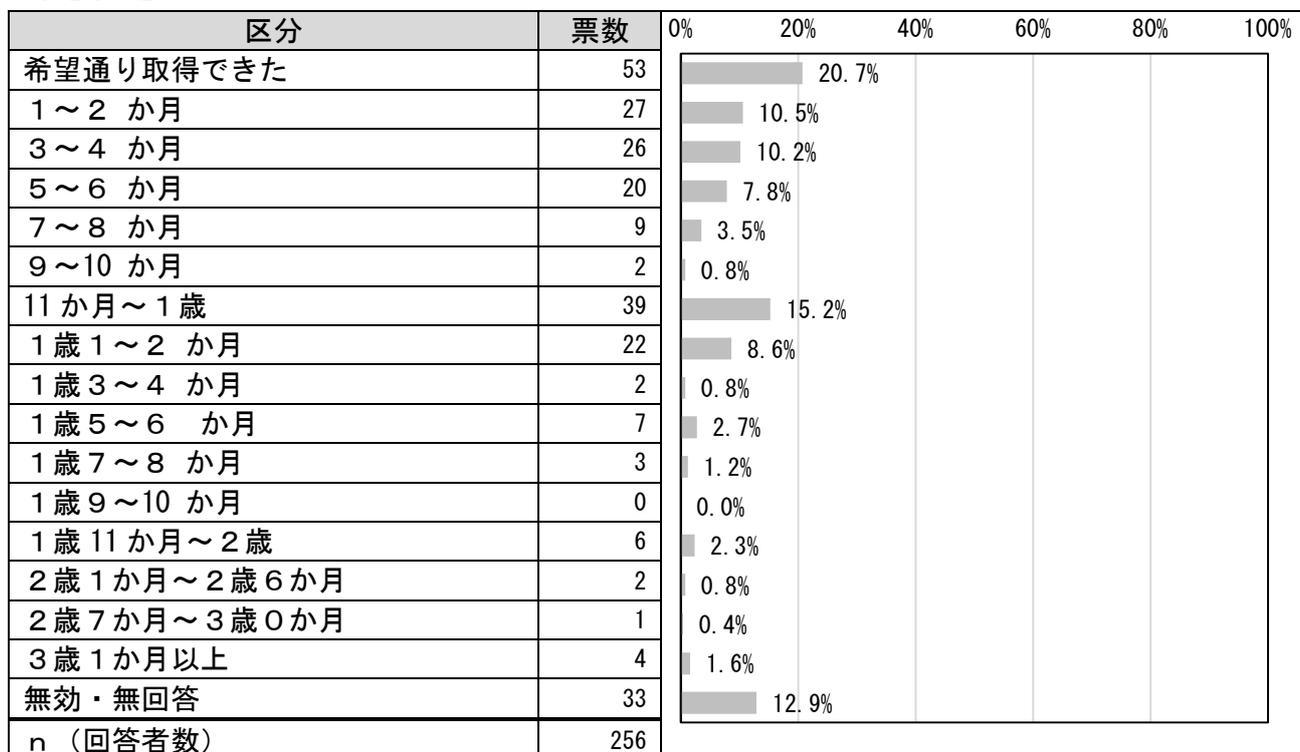
母親【希望】



父親【実際】



父親【希望】

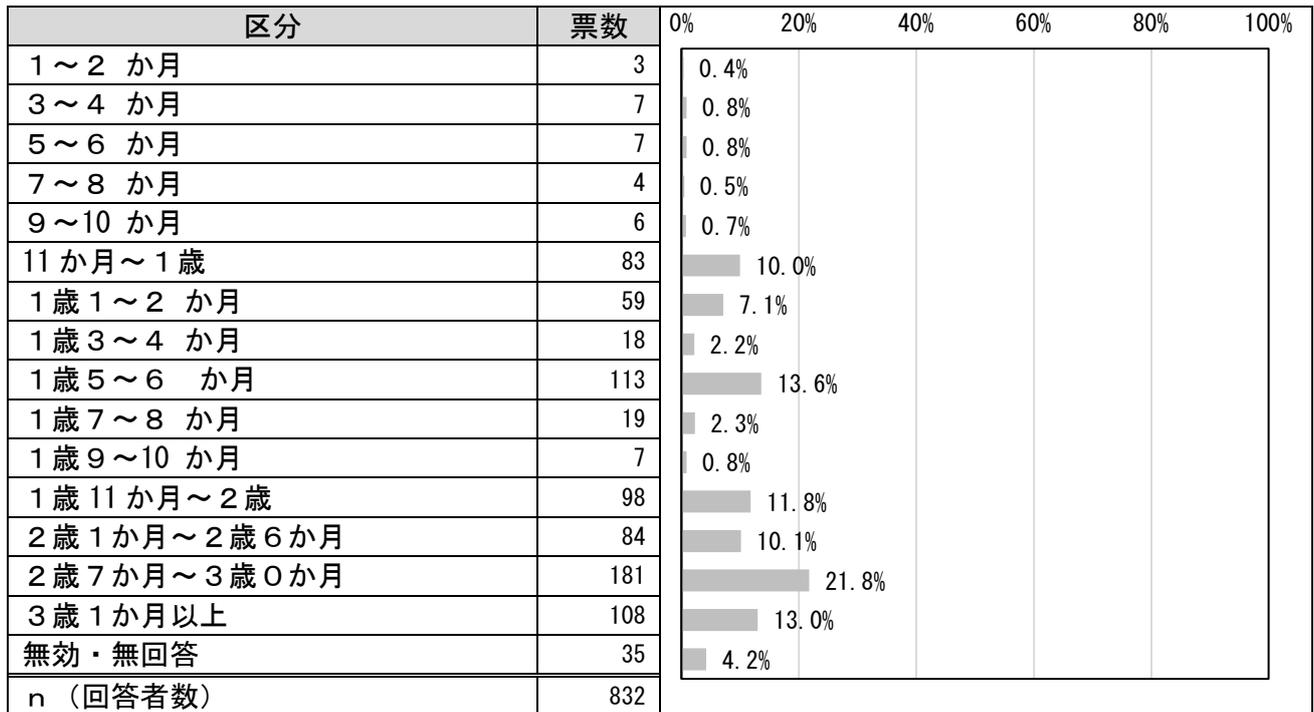


(6)3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の育休取得希望(単一回答)

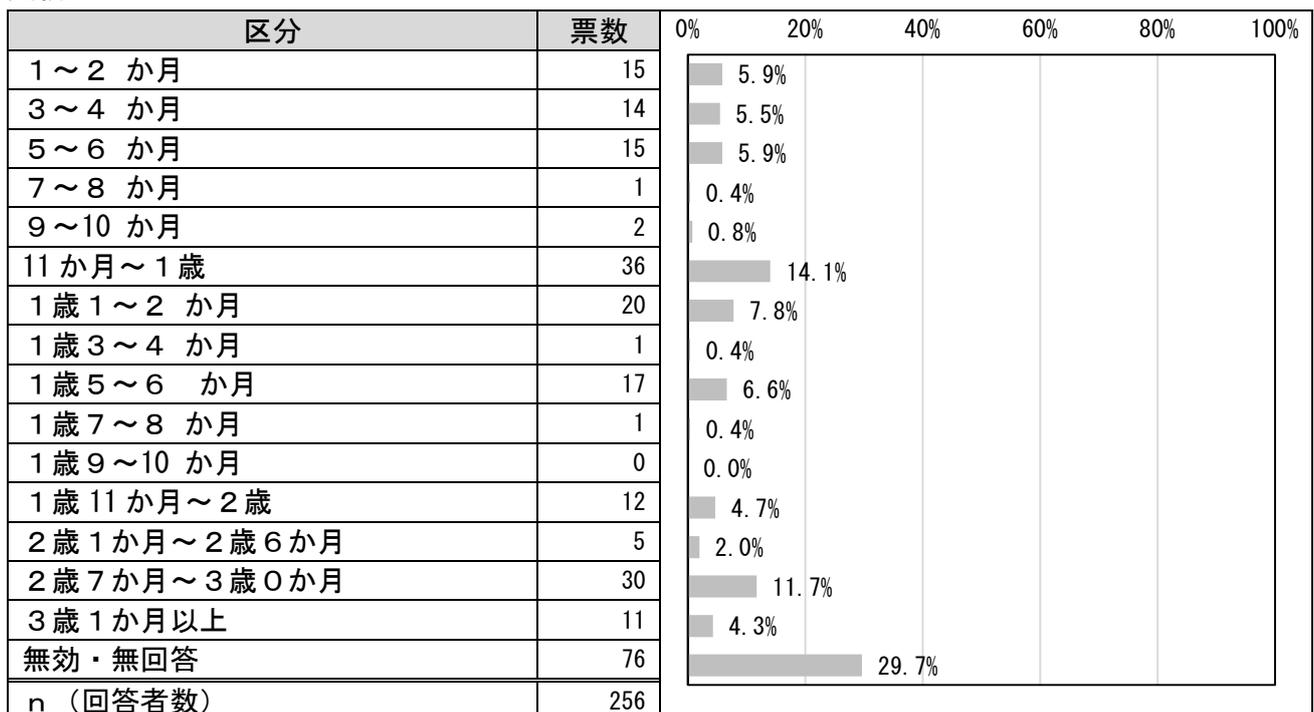
問 25-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

- ・育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に、何歳何か月のときまで取得したかったかについてみると、母親では「2歳7か月～3歳0か月」が21.8%と最も高くなっています。

母親



父親



(7)希望の時期に職場復帰しなかった理由(複数回答)

問 25-3 で育児休業からの実際の職場復帰と希望が異なる方

問 25-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておうかがいします。

- ・育児休業からの復帰時期において実際と希望が異なる方の、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてみると、母親において希望より早く復帰した方では、「希望する保育所・認定こども園に入るため」が34.0%と最も高くなっています。また、母親において「希望」より遅く復帰した方では「希望する保育所に入れなかったため」が最も高くなっていることから、認定こども園などの入所が職場復帰の時期に大きな影響を与えています。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※あてはまるものすべてをお選びください。

母親

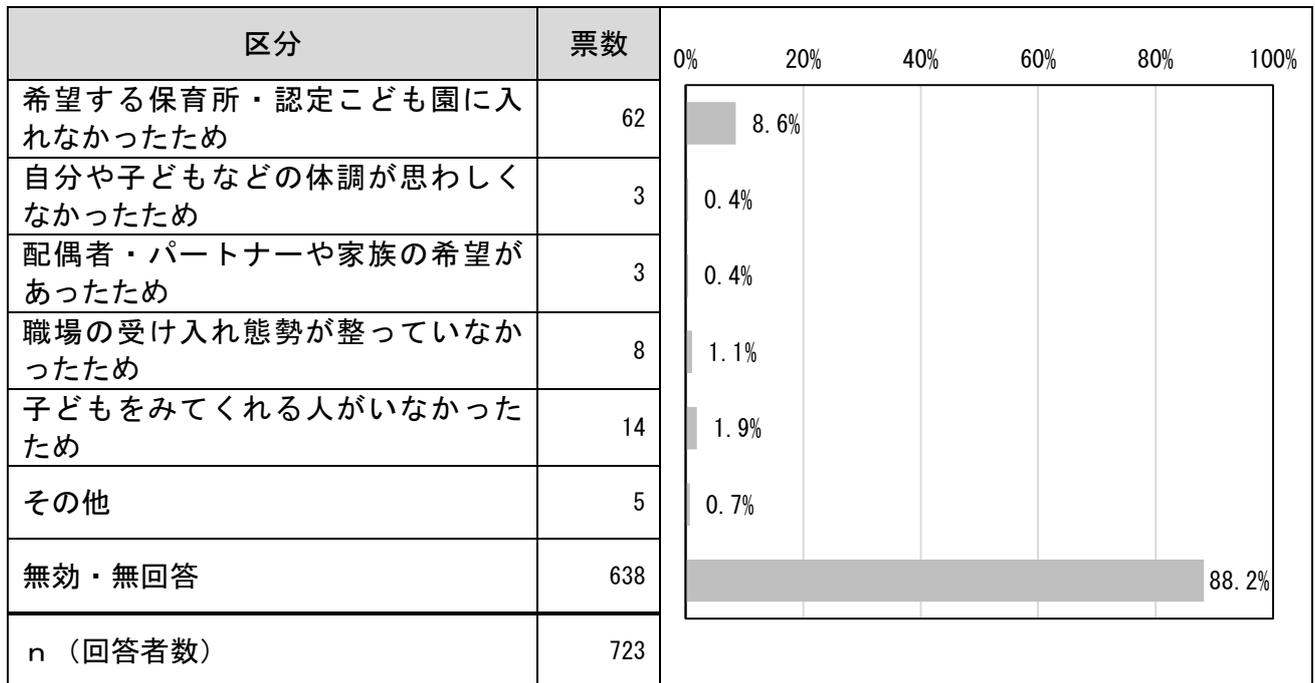
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
希望する保育所・認定こども園に入るため	246	34.0%					
配偶者・パートナーや家族の希望があったため	22	3.0%					
経済的な理由で早く復帰する必要があるため	159	22.0%					
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	131	18.1%					
その他	69	9.5%					
無効・無回答	278	38.5%					
n (回答者数)	723						

父親

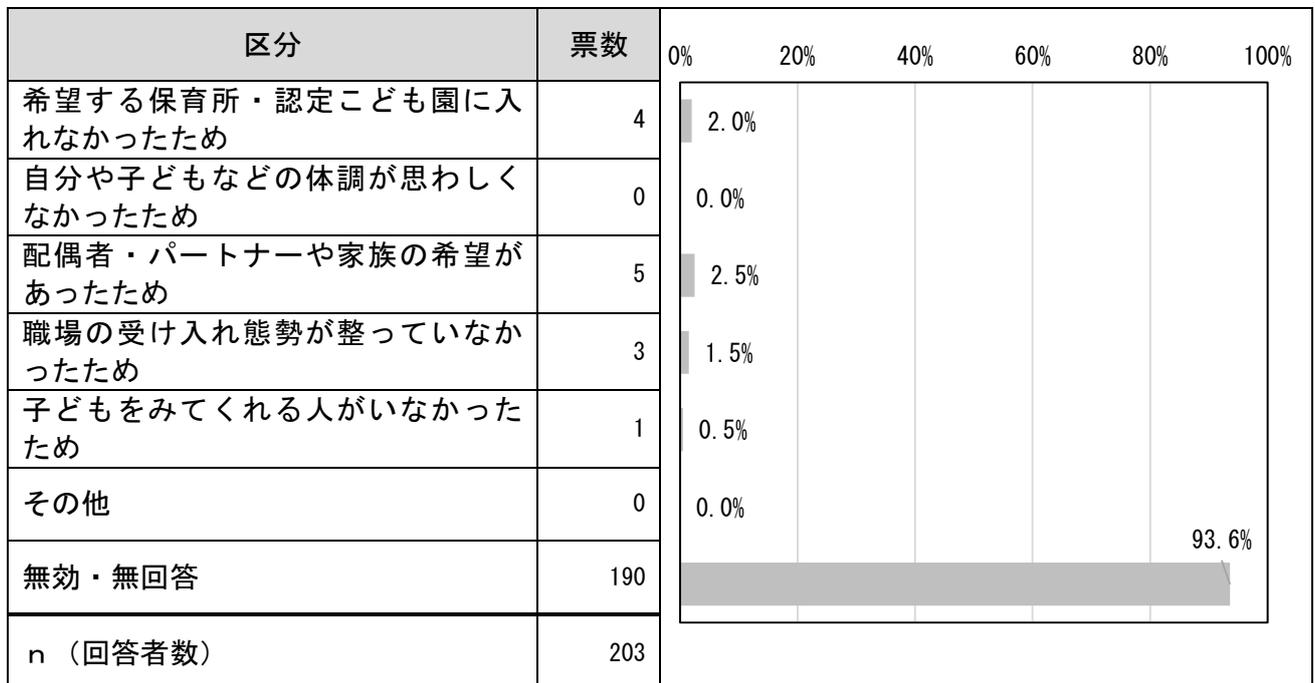
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
希望する保育所・認定こども園に入るため	21	10.3%					
配偶者・パートナーや家族の希望があったため	11	5.4%					
経済的な理由で早く復帰する必要があるため	57	28.1%					
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	27	13.3%					
その他	28	13.8%					
無効・無回答	83	40.9%					
n (回答者数)	203						

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまるものすべてをお選びください。

母親



父親



(8)職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況(単一回答)

問 25-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

問 25-6 育児休業からの復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまるもの1つをお選びください。

「短時間勤務制度」・・・育児介護休業法で定められているもので、3歳に満たない子を養育する労働者が、所定労働時間の短縮など、無理なく仕事が続けられるようにするための制度です。

- ・短時間勤務制度の利用状況についてみると、母親では「利用した」が54.2%と最も高くなっています。
- ・一方、父親で「利用した」との回答は、11.3%にとどまりました。

母親

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用する必要がなかった	210	25.2%					
利用した	451	54.2%					
利用したかったが、利用しなかった	159	19.1%					
無効・無回答	12	1.4%					
n (回答者数)	832						

父親

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用する必要がなかった	141	55.1%					
利用した	29	11.3%					
利用したかったが、利用しなかった	57	22.3%					
無効・無回答	29	11.3%					
n (回答者数)	256						

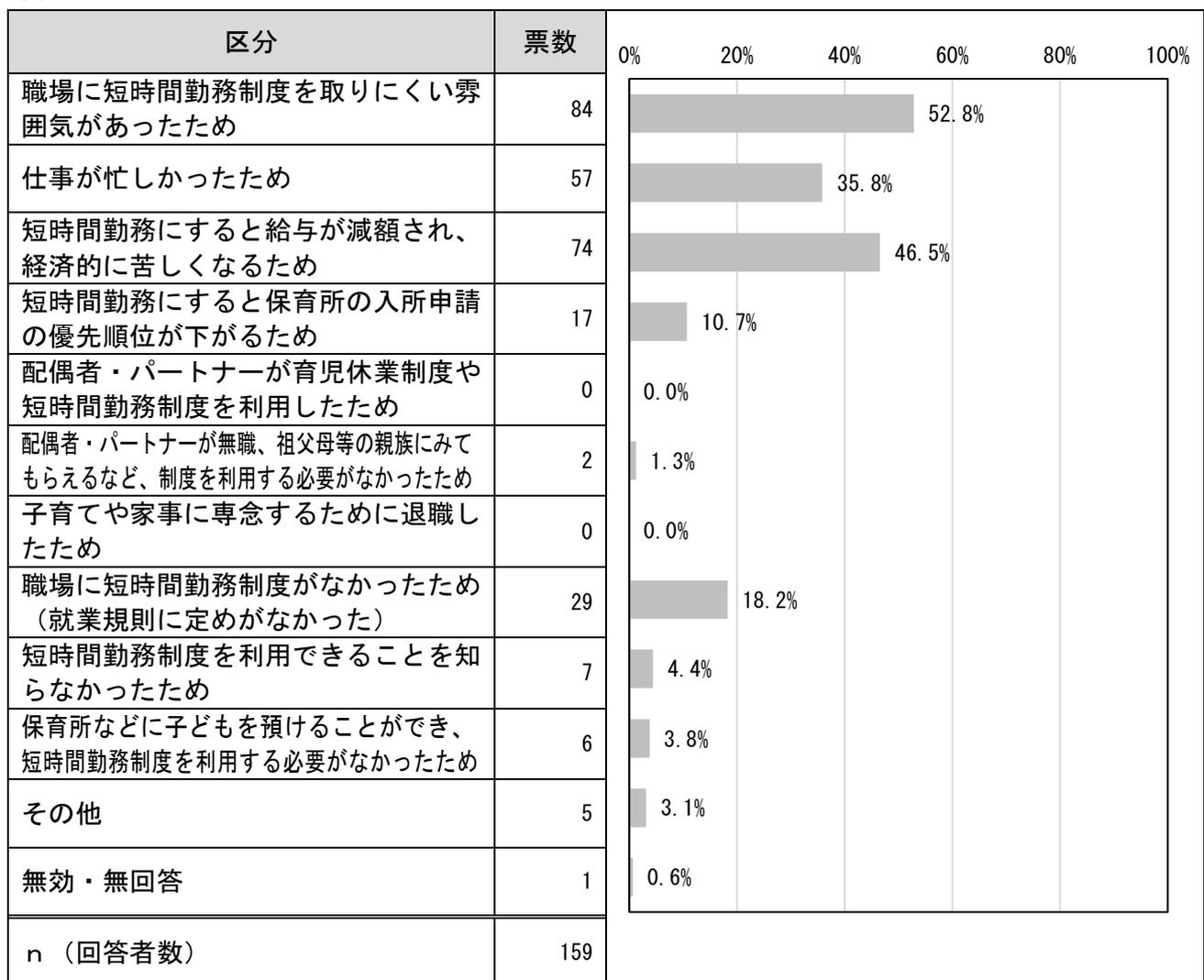
(9)短時間勤務制度を利用しなかった理由(複数回答)

問 25-6 で短時間勤務制度を「3. 利用したかったが、利用しなかった(できなかった)」を選んだ方

問 25-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてをお選びください。

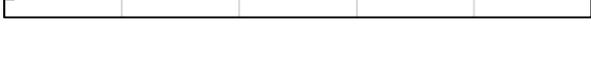
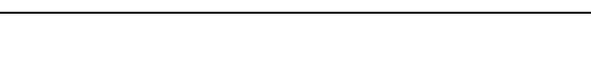
- ・短時間勤務制度を利用しなかった理由についてみると、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」が52.8%と最も高く、ついで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため」が46.5%となっています。

母親



- ・短時間勤務制度を利用しなかった理由についてみると、父親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」が57.9%と最も高く、ついで「仕事が忙しかったため」52.6%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため」が49.1%となっています。

父親

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため	33						
仕事が忙しかったため	30						
短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため	28						
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がるため	5						
配偶者・パートナーが育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため	8						
配偶者・パートナーが無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため	1						
子育てや家事に専念するために退職したため	0						
職場に短時間勤務制度がなかったため（就業規則に定めがなかった）	6						
短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため	1						
保育所などに子どもを預けることができ、短時間勤務制度を利用する必要がなかったため	1						
その他	2						
無効・無回答	1						
n（回答者数）	57						

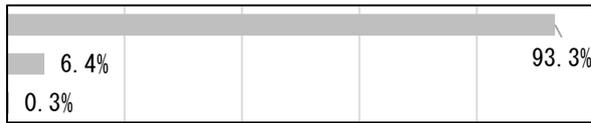
(10)子どもが1歳になったときに必ず利用できる保育所・認定こども園などがあれば、1歳になるまで育児休業を取得するか(単一回答)

問 25-1 で「2. 現在も育児休業中である」を選んだ方

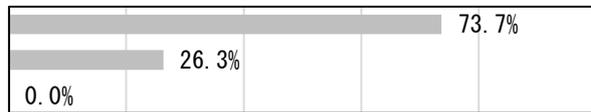
問 25-8 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所・認定こども園などがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育所・認定こども園などがあっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・現在も育児休業中の方で、子どもが1歳になったときに必ず利用できる保育所・認定こども園などがあれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについてみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が93.3%となっており、「1歳になる前に復帰したい」との回答の6.4%を大きく上回っています。

母親

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1歳になるまで育児休業を取得したい	308						
1歳になる前に復帰したい	21						
無効・無回答	1	0.3%					
n (回答者数)	330						

父親

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1歳になるまで育児休業を取得したい	14						
1歳になる前に復帰したい	5						
無効・無回答	0	0.0%					
n (回答者数)	19						

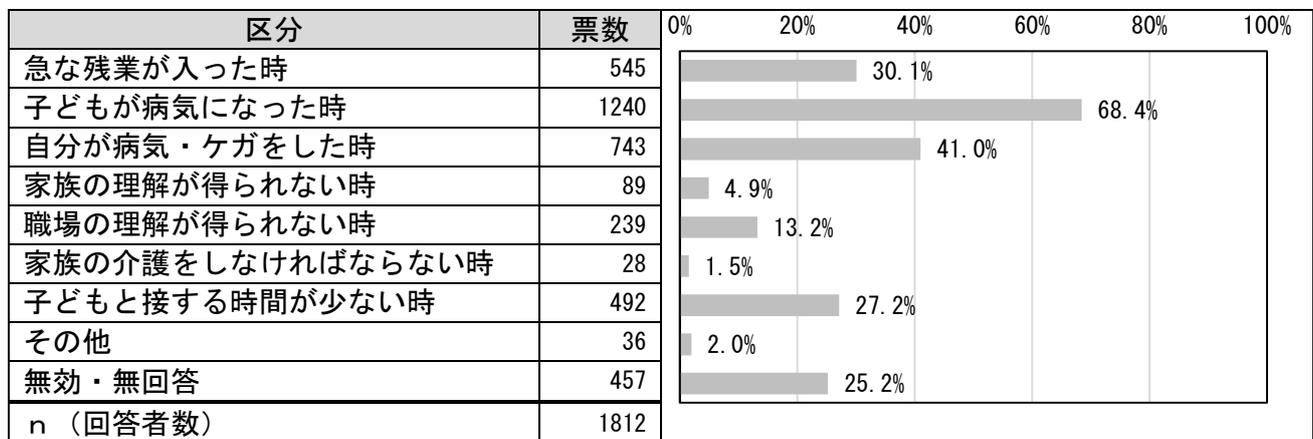
11 ワーク・ライフ・バランス

(1)仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じる時(複数回答※3 つまで)

現在、働いている方

問 26 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じるのはどのような時ですか。主なものを3つまでお選びください。

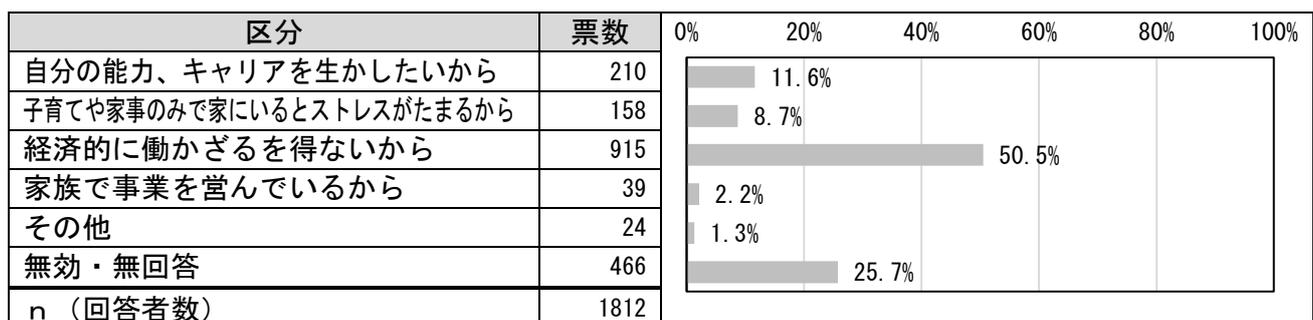
- ・仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じる時はどのようなときか尋ねると、「子どもが病気になった時」が68.4%、「自分が病気・ケガをした時」が41.0%と続いており、自分や子どもの病気やケガの際の対応が課題となっています。



(2)仕事を続けている理由(単一回答)

問 27 現在、仕事を続けている理由は何ですか。あなたの考えにもっとも近いもの1つをお選びください。

- ・仕事を続けている理由について尋ねると、「経済的に働かざるを得ないから」との回答が50.5%と最も多くなっています。



(3)家庭内での家事分担(単一回答)

配偶者・パートナーと同居されている方

問 28 あなたの家庭での男女の家事分担は、次のうちどのような形ですか。あてはまるもの1つをお選びください。

- ・配偶者等との家事分担については、「できることをそれぞれが分担している」が50.7%と最も多く、ついで「女性が主に家事をしている」が43.7%となっています。
- ・「男性が主に家事をしている」との回答は1.0%にとどまっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
できることをそれぞれが分担している	919	50.7%					
男性が主に家事をしている	19	1.0%					
女性が主に家事をしている	791	43.7%					
その他	8	0.4%					
無効・無回答	75	4.1%					
n (回答者数)	1812						

(4)家庭内での家事・育児の分担割合(単一回答)

配偶者・パートナーと同居されている方

問 29 現在のあなたの家庭で、男女それぞれの家事・育児を担う割合について、あなたが思う「現実」と「希望」の割合についてあてはまるもの1つをお選びください。なお、現実が希望どおりである場合は、希望欄の回答は必要ありません。

- ・男女の家事・育児の分担割合について「現実」と「希望」をそれぞれ尋ねると、家事の現実は「ほぼ女性」が52.2%と最も高くなっており、ついで「男女半々」が30.8%です。
- ・家事の希望は、「男女半々」が72.0%と最も高く、男女とも同じ程度の分担が望ましいと考えていることが伺えます。
- ・育児については、現実が「ほぼ女性」が53.8%と最も高くなっており、ついで「男女半々」が33.0%です。
- ・育児の希望は、「男女半々」が80.7%と最も高く、男女とも同じ程度の分担が望ましいと考えていることが伺えます。

家事・現実

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
すべて男性	0	0.0%					
ほぼ男性	32	1.8%					
男女半々	559	30.8%					
ほぼ女性	946	52.2%					
すべて女性	147	8.1%					
無効・無回答	128	7.1%					
n (回答者数)	1812						

家事・希望

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
すべて男性	4	0.2%					
ほぼ男性	29	1.6%					
男女半々	1304	72.0%					
ほぼ女性	261	14.4%					
すべて女性	11	0.6%					
無効・無回答	203	11.2%					
n (回答者数)	1812						

育児・現実

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
すべて男性	0	0.0%					
ほぼ男性	6	0.3%					
男女半々	598	33.0%					
ほぼ女性	974	53.8%					
すべて女性	102	5.6%					
無効・無回答	132	7.3%					
n (回答者数)	1812						

育児・希望

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
すべて男性	0	0.0%					
ほぼ男性	9	0.5%					
男女半々	1462	80.7%					
ほぼ女性	139	7.7%					
すべて女性	8	0.4%					
無効・無回答	194	10.7%					
n (回答者数)	1812						

(5)ワーク・ライフ・バランスを実現するために必要なもの(複数回答※3 つまで)

問 30 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために、必要なものは何だと思
いますか。主なものを3つまでお選びください。

・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために、必要なものについては「フレックスタイム制、短時間勤務、時差出勤など多様な働き方の導入」が44.3%、「休業制度（育児休業や介護休業など）」が35.6%、「ワーク・ライフ・バランスを認める社会・職場のムード」が34.8%と、職場での環境整備に関する項目が上位となっており、続いて「事業所の従業員に対する経済的支援」が25.1%と続いています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
休業制度（育児休業や介護休業など）	645	35.6%					
事業所の従業員に対する経済的支援（保育料やベビーシッター代等の補助など）	455	25.1%					
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設、企業主導型保育事業を含む）の設置	148	8.2%					
フレックスタイム制、短時間勤務、時差出勤など多様な働き方の導入	803	44.3%					
テレワーク（ICTの活用で時間や場所の制約を受けない働き方）、勤務地の限定	381	21.0%					
ノー残業デーなど時間外労働削減のための措置	190	10.5%					
休暇制度（ボランティア休暇、リフレッシュ休暇など）	258	14.2%					
ワーク・ライフ・バランスを認める社会・職場のムード	630	34.8%					
有給休暇取得の促進（1時間単位で利用できる有給休暇制度の拡充など）	305	16.8%					
復職支援（情報提供、学習支援など）	44	2.4%					
保育所・放課後児童クラブなど子どもを預かる施設、介護施設の充実	412	22.7%					
取組企業への経済的支援	102	5.6%					
経営者への理解促進	145	8.0%					
配偶者・パートナーの意識改革	226	12.5%					
その他	42	2.3%					
無効・無回答	43	2.4%					
n（回答者数）	1812						

12 子育てに関して

(1)子育てに関して感じていること(単一回答)

問 31 あなたは子育てに関して現在どのように感じていますか。あなたの考えにもっとも近いもの1つをお選びください。

- ・子育てに関して現在感じていることは「楽しいと感じている」が40.2%、「どちらかといえば楽しい」が42.1%となっており、子育てを楽しんでいる方が82.3%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
楽しいと感じている	729	40.2%					
どちらかといえば楽しい	762	42.1%					
何となく不安や負担を感じる	260	14.3%					
非常に不安や負担を感じる	42	2.3%					
無効・無回答	19	1.0%					
n (回答者数)	1812						

年齢別×子育てに関して感じていること

- ・子どもの年齢別に子育てに関して感じていることをみていくと、年齢が下がるにつれて「楽しいと感じている」との割合が増加しています。また、「何となく不安や負担を感じる」との回答は、子どもが5歳の親が19.8%と最も多くなっています。

上段：票数 下段：割合	子育てに関して感じていること					
	n (回答者数)	楽しいと感じている	どちらかといえば楽しい	何となく不安や負担を感じる	非常に不安や負担を感じる	無効・無回答
全体	1,812	729	762	260	42	19
	100.0%	40.2%	42.1%	14.3%	2.3%	1.0%
0歳	438	218	150	55	8	7
	100.0%	49.8%	34.2%	12.6%	1.8%	1.6%
1歳	247	113	100	24	8	2
	100.0%	45.7%	40.5%	9.7%	3.2%	0.8%
2歳	229	98	91	36	4	0
	100.0%	42.8%	39.7%	15.7%	1.7%	0.0%
3歳	255	91	118	42	2	2
	100.0%	35.7%	46.3%	16.5%	0.8%	0.8%
4歳	274	93	130	36	10	5
	100.0%	33.9%	47.4%	13.1%	3.6%	1.8%
5歳	192	62	87	38	5	0
	100.0%	32.3%	45.3%	19.8%	2.6%	0.0%
6歳	167	53	81	28	4	1
	100.0%	31.7%	48.5%	16.8%	2.4%	0.6%
無効・無回答	10	1	5	1	1	2
	100.0%	10.0%	50.0%	10.0%	10.0%	20.0%

家事分担(現実)×子育てに関して感じていること

- ・家事分担（現実）別に子育てに関して感じていることをみていくと、「全て女性」を除き、男性の家事の分担割合が高いほど「楽しいと感じている」との割合が増加しています。

上段：票数 下段：割合	子育てに関して感じていること					
	n (回答者数)	楽しいと感じている	どちらかといえば楽しい	なんとなく不安や負担を感じる	非常に不安や負担を感じる	無効・無回答
全体	1,812	729	762	260	42	19
	100.0%	40.2%	42.1%	14.3%	2.3%	1.0%
すべて男性	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ほぼ男性	32	17	10	5	0	0
	100.0%	53.1%	31.3%	15.6%	0.0%	0.0%
男女半々	559	245	226	75	11	2
	100.0%	43.8%	40.4%	13.4%	2.0%	0.4%
ほぼ女性	946	366	424	132	22	2
	100.0%	38.7%	44.8%	14.0%	2.3%	0.2%
全て女性	147	58	53	30	6	0
	100.0%	39.5%	36.1%	20.4%	4.1%	0.0%
無効・無回答	128	43	49	18	3	15
	100.0%	33.6%	38.3%	14.1%	2.3%	11.7%

育児分担(現実)×子育てに関して感じていること

- ・育児分担（現実）別に子育てに関して感じていることをみていくと、「男女半々」において「楽しいと感じている」との割合が最も高くなっています。

上段：票数 下段：割合	子育てに関して感じていること					
	n (回答者数)	楽しいと感じている	どちらかといえば楽しい	なんとなく不安や負担を感じる	非常に不安や負担を感じる	無効・無回答
全体	1,812	729	762	260	42	19
	100.0%	40.2%	42.1%	14.3%	2.3%	1.0%
すべて男性	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ほぼ男性	6	1	3	2	0	0
	100.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%
男女半々	598	277	243	66	10	2
	100.0%	46.3%	40.6%	11.0%	1.7%	0.3%
ほぼ女性	974	370	428	151	24	1
	100.0%	38.0%	43.9%	15.5%	2.5%	0.1%
全て女性	102	36	37	24	5	0
	100.0%	35.3%	36.3%	23.5%	4.9%	0.0%
無効・無回答	132	45	51	17	3	16
	100.0%	34.1%	38.6%	12.9%	2.3%	12.1%

(2)子育てに関して気になること、悩んでいること(複数回答※3 つまで)

問 32 あなたは子育てに関して、特に気になることや悩んでいることはどのようなことですか。主なものを3つまでお選びください。

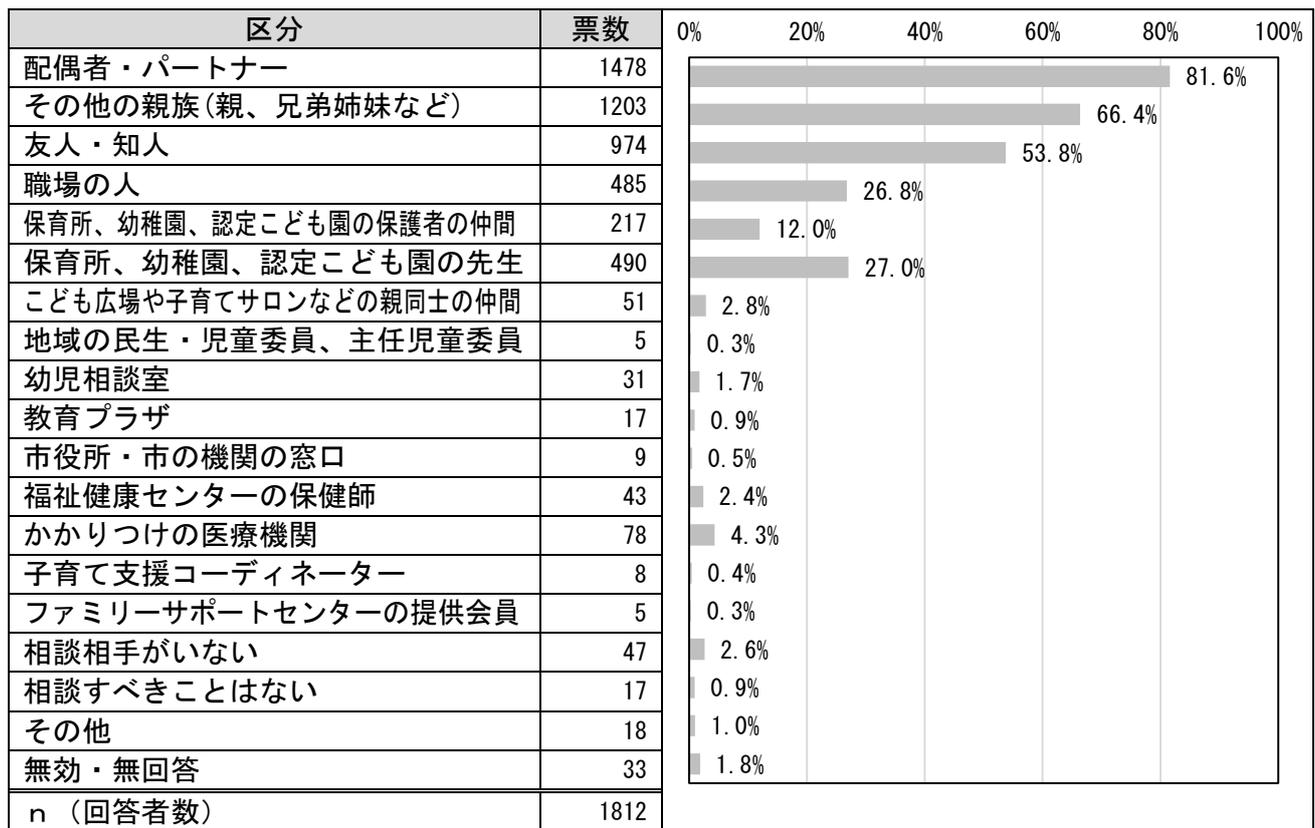
- ・子育てに関して、特に気になることや悩んでいることは、「子どもの教育に関すること」が42.1%と最も多くなっており、次いで「子どもの病気や発育・発達に関すること」が36.4%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
子どもの病気や発育・発達に関すること	660						
子どもの教育に関すること	763						
離乳食や夜泣きの対応などの育児の方法	199						
子どもとの接し方	486						
話し相手や相談相手がいない	62						
他の子どもの保護者との付き合いが負担	92						
仕事や自分のやりたいことが十分できない	512						
子育てに関しての配偶者・パートナー、親(祖父母)との意見の相違	125						
配偶者・パートナーが協力的ではない	92						
子育てに係る経済的負担が大きい	546						
自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの目が気になる	28						
子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからない	78						
特にない	224						
その他	50						
無効・無回答	31						
n (回答者数)	1812						

(3)子育てや教育に関する悩みの相談相手(複数回答)

問 33 子育てや教育に関する悩みを誰に相談していますか。あてはまるものすべてをお選びください。

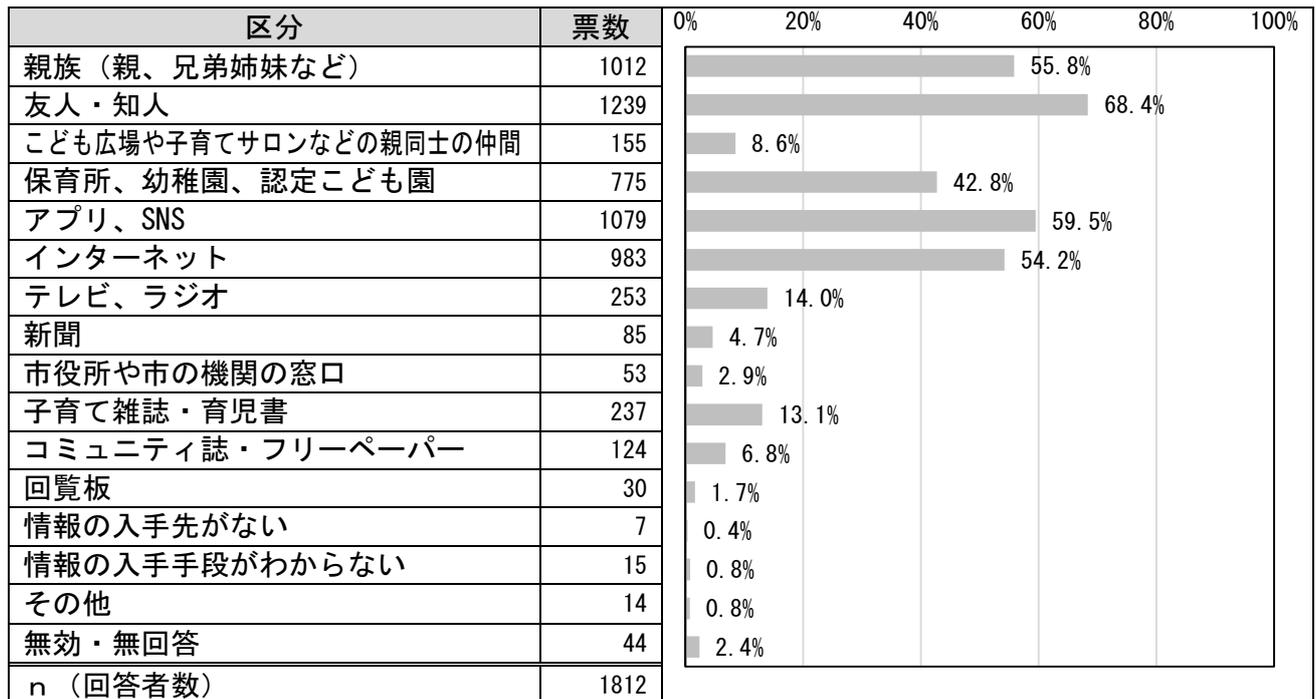
- ・子育てや教育に関する悩みの相談相手は「配偶者・パートナー」が最も多く 81.6%を占めており、次いで「その他の親族(親、兄弟姉妹など)」が 66.4%、「友人・知人」が 53.8%となっています。



(4)子育てに関する情報の入手先(複数回答)

問 34 子育てに関する情報をどのように得ていますか。あてはまるものすべてをお選びください。

- ・子育てに関する情報の入手先は、「友人・知人」が68.4%と最も多くなっており、次いで「アプリ、SNS」が59.5%、「親族（親、兄弟姉妹など）」が55.8%、「インターネット」が54.2%となっています。



13 子育て支援

(1)もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うか(単一回答)

問 35 あなたは、もう一人子どもがほしい（産みたい）と思いますか。あてはまるもの1つをお選びください。また、「2. 条件が整えばほしい」を選んだ場合にはその条件を、「3. ほしくない」を選んだ場合にはその理由を、主なものを3つまでお選びください。

- ・もう一人子どもがほしい(産みたい)かどうかについて尋ねると、「条件が整えばほしい」が42.3%と最も多く、ついで「ほしくない」が31.0%、「ほしい」が25.5%となりました。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ほしい	462						
条件が整えばほしい	767						
ほしくない	561						
無効・無回答	22						
n（回答者数）	1812						

(2)もう一人子どもがほしい(産みたい)と思う条件(複数回答※3つまで)

問 35 もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うかで「2. 条件が整えばほしい」を選んだ方

- ・「条件が整えばほしいと」回答した方にその条件を尋ねると、「経済的に余裕ができれば」が76.7%、「子育てや教育に要する費用の負担が軽ければ」が54.4%、「年齢が若ければ（体力があれば）」が48.9%となっており、上位に経済的な事情に関する項目が2つ入っています。

【条件】

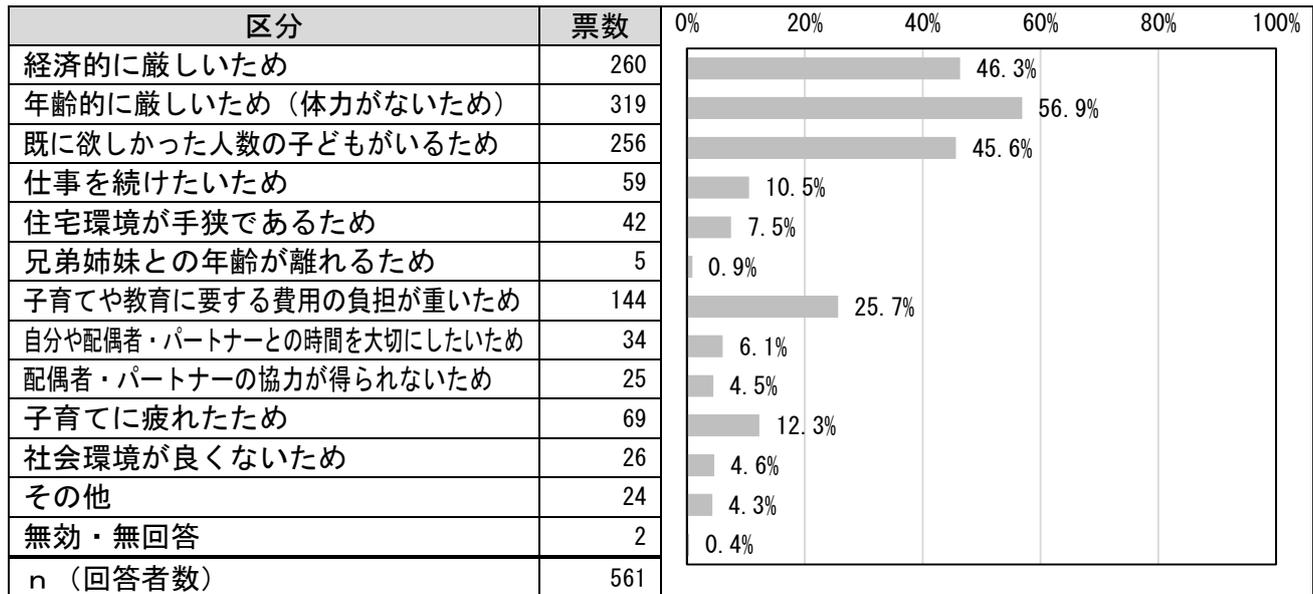
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
経済的に余裕ができれば	588						
年齢が若ければ（体力があれば）」	375						
仕事の復帰できる環境が整えば	66						
職場の理解があれば	78						
住宅事情がよければ	57						
子育てや教育に要する費用の負担が軽ければ	417						
配偶者・パートナーの協力があれば	187						
社会環境がよければ	128						
子どもの性別が分かれば	31						
末子がもう少し大きくなれば	65						
その他	25						
無効・無回答	2						
n（回答者数）	767						

(3)もう一人子どもがほしくない理由(複数回答※3つまで)

問 35 もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うかで「3. ほしくない」を選んだ方

・一方で、「ほしくない」との回答者にその理由を尋ねると「年齢的に厳しいため（体力がないため）」が 56.9%、「経済的に厳しいため」が 46.3%、「既に欲しかった人数の子どもがいるため」が 45.6%となっています。

【理由】



子どもの人数×もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うか

・子どもの人数別にみると、「1人」と回答している保護者は、「ほしい」「条件を整えればほしい」を合計すると 85.0%となり、8割を超えます

上段：票数 下段：割合	もう一人子どもがほしいと思うか				
	n（回答者数）	ほしい	条件を整え ればほしい	ほしくない	無効・ 無回答
全体	1,812	462	767	561	22
	100.0%	25.5%	42.3%	31.0%	1.2%
1人	837	357	354	118	8
	100.0%	42.7%	42.3%	14.1%	1.0%
2人	692	87	316	282	7
	100.0%	12.6%	45.7%	40.8%	1.0%
3人	245	14	80	146	5
	100.0%	5.7%	32.7%	59.6%	2.0%
4人	25	2	13	9	1
	100.0%	8.0%	52.0%	36.0%	4.0%
5人以上	8	1	2	5	0
	100.0%	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%
無効・無回答	5	1	2	1	1
	100.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%

母親の就労別×もう一人子どもがほしい(産みたい)と思うか

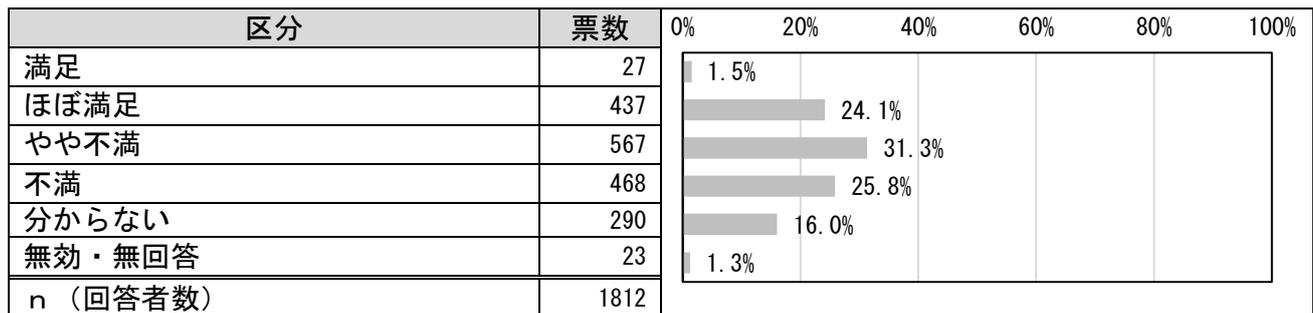
- ・母親の就労状況別にみると、「ほしい」と回答した中では「フルタイム(休業中)」の保護者の割合が36.2%と、他の就労形態に比べて高くなっています。
- ・一方、「ほしくない」との回答は、「無職(就労経験あり)」の保護者の割合が38.6%と高くなっています。また、「フルタイム(休業中)」の保護者は、パート・アルバイト等や無職の保護者よりも「ほしくない」との回答が少なくなっています。

上段：票数 下段：割合	もう一人子どもがほしいと思うか				
	n (回答者数)	ほしい	条件が整えばほしい	ほしくない	無効・無回答
全体	1,812	462	767	561	22
	100.0%	25.5%	42.3%	31.0%	1.2%
フルタイム (就労中)	635	165	263	199	8
	100.0%	26.0%	41.4%	31.3%	1.3%
フルタイム (休業中)	403	146	174	79	4
	100.0%	36.2%	43.2%	19.6%	1.0%
パート・アル バイト等(就労中)	421	76	189	152	4
	100.0%	18.1%	44.9%	36.1%	1.0%
パート・アル バイト等(休業中)	66	15	28	22	1
	100.0%	22.7%	42.4%	33.3%	1.5%
無職 (就労経験あり)	277	59	108	107	3
	100.0%	21.3%	39.0%	38.6%	1.1%
無職 (就労経験なし)	5	1	3	1	0
	100.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
無効・無回答	5	0	2	1	2
	100.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%

(4)行政が行っている子育て支援の満足度(単一回答)

問 36 現在、行政が行っている子育て支援について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つをお選びください。

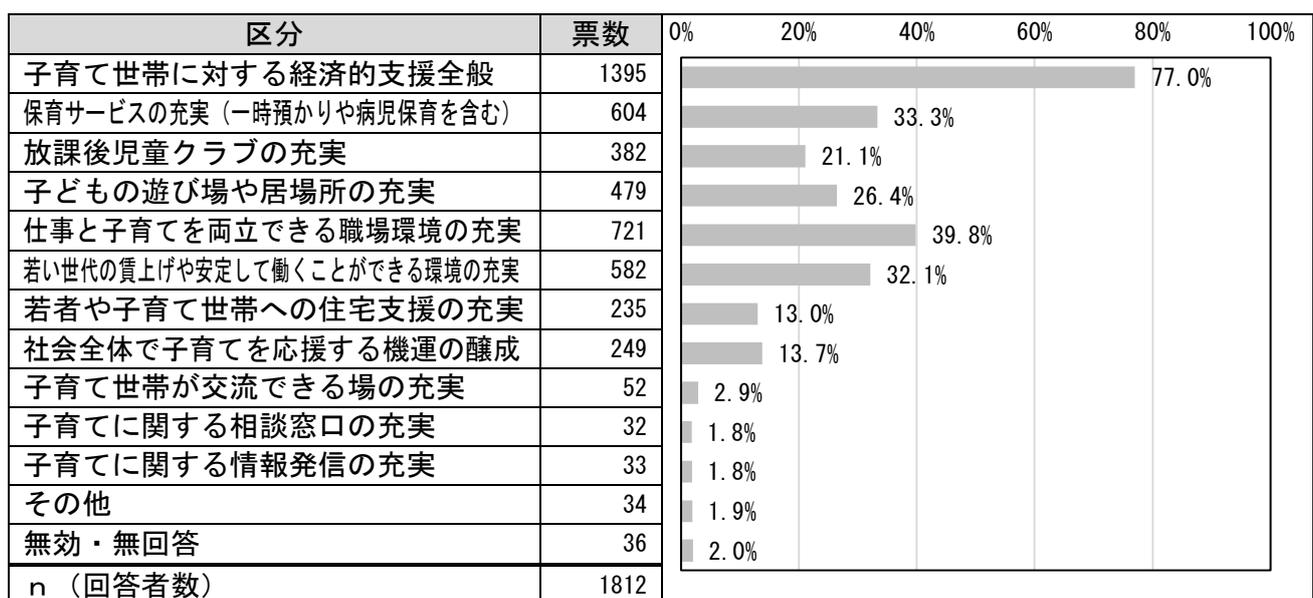
- ・行政が行っている子育て支援の満足度についてみると、「やや不満」が31.3%、「不満」が25.8%であり、合すると57.1%と半数を超えています。



(5)子育て支援策として重要な取組(複数回答※3 つまで)

問 37 あなたは子育て支援策として、どのような取組が重要だと考えますか。主なものを3つまでお選びください。

- ・子育て支援策として重要だと考える取組は、「子育て世帯に対する経済的支援全般」が最も多く77.0%を占めており、次いで「仕事と子育てを両立できる職場環境の充実」が39.8%、「保育サービスの充実」が33.3%となっています。



14 まちへの親しみ・定住

(1)金沢市への愛着や親しみの有無(単一回答)

問 38 あなたは金沢市に愛着や親しみがありますか。

- ・金沢市への愛着や親しみについて、「ある」が45.0%、「どちらかといえばある」が40.0%となっており、金沢市への愛着や親しみを感じている方が85.0%となっています。
- ・一方、「どちらかといばない」が10.1%、「ない」が3.9%となっており、金沢市への愛着や親しみを感じていない方が14.0%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ある	816	45.0%					
どちらかといえばある	724	40.0%					
どちらかといばない	183	10.1%					
ない	71	3.9%					
無効・無回答	18	1.0%					
n (回答者数)	1812						

(2)金沢市への愛着や親しみを感じるどころ(複数回答※3 つまで)

問 38 で金沢市への愛着や親しみの有無について「1・2」(ある)を選んだ方

問 39 金沢市のどのようなところに愛着や親しみを感じますか。あてはまるものを3 つまでお選びください。

- ・金沢市へ愛着や親しみを感じるのは、「生まれ育ったまちだから」が最も多く53.5%となっており、次いで「買い物や通勤・通学がしやすい」が32.3%、「安全・安心に暮らせる」が31.8%、「親しい友人・知人がいる」が26.6%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
生まれ育ったまちだから	824	53.5%					
歴史や伝統を感じられる	255	16.6%					
まちなみや景観が美しい	249	16.2%					
文化・芸術活動が盛んである	214	13.9%					
まちに賑わいがある	99	6.4%					
自然が豊かである	239	15.5%					
安全・安心に暮らせる	489	31.8%					
買い物や通勤・通学がしやすい	497	32.3%					
図書館やスポーツ施設などの公共施設が充実している	194	12.6%					
地域コミュニティ活動が盛んである	14	0.9%					
子育てがしやすい	134	8.7%					
親しい友人・知人がいる	410	26.6%					
その他	22	1.4%					
無効・無回答	6	0.4%					
n (回答者数)	1540						

(3)金沢市での定住希望(単一回答)

問 40 あなたはこれからも金沢市に住み続けたいと思いますか。

- ・金沢市での定住希望については、「ぜひ住み続けたい（複数の生活拠点を持つ場合を含む）」が40.0%、「可能であれば住み続けたい」が36.4%、「一度離れてもいつかは戻ってきて住み続けたい」が2.5%となっており、金沢市に住み続けたいと思っている方が78.9%となっています。
- ・一方、「どちらかといえば住みたくない」が5.0%、「住みたくない」が1.5%となっており、金沢市に住み続けたくないと思っている方が6.5%となっています。

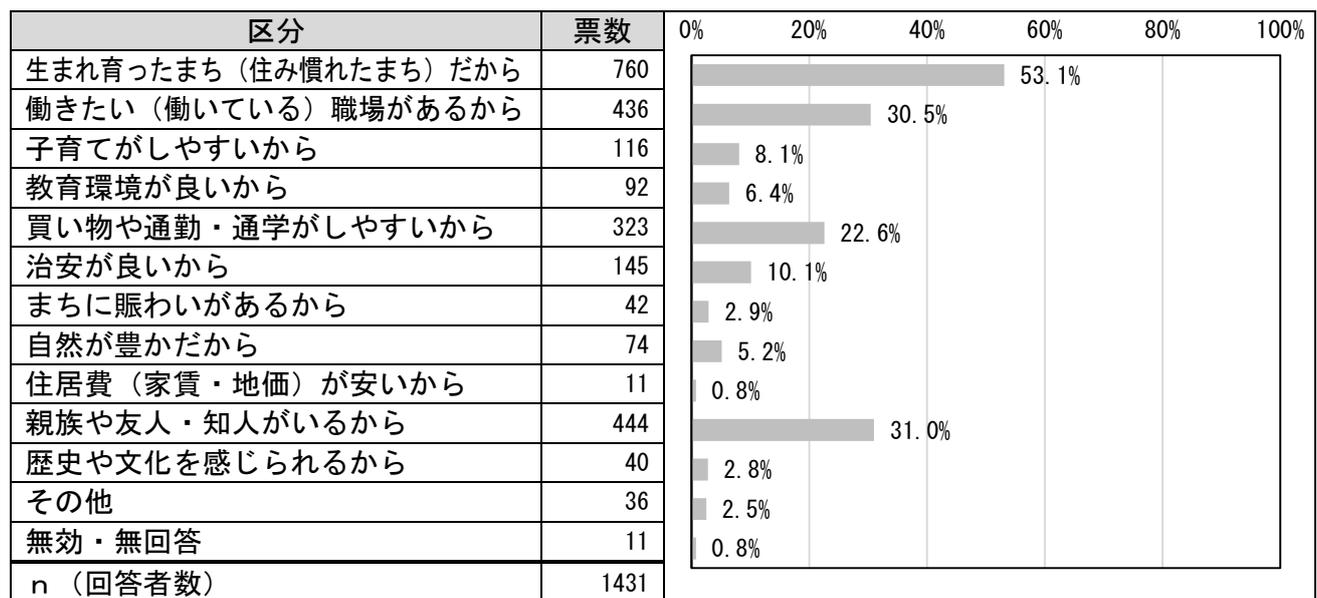
区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
ぜひ住み続けたい（複数の生活拠点を持つ場合を含む）	725	40.0%					
可能であれば住み続けたい	660	36.4%					
一度離れてもいつかは戻ってきて住み続けたい	46	2.5%					
どちらかといえば住みたくない	91	5.0%					
住みたくない	28	1.5%					
どちらともいえない・こだわりはない	246	13.6%					
無効・無回答	16	0.9%					
n（回答者数）	1812						

(4)金沢市に住み続けたい理由(複数回答※2 つまで)

問 40 で金沢市での定住希望について「1~3」(住み続けたい)を選んだ方

問 41 金沢市に「住み続けたい」と思う理由は何ですか。あてはまるものを2 つまでお選びください。

- ・金沢市に「住み続けたい」と思う理由は、「生まれ育ったまち（住み慣れたまち）だから」が 53.1%と最も多くなっており、次いで「親族や友人・知人がいるから」が 31.0%、「働きたい（働いている）職場があるから」が 30.5%となっています。



(5)金沢市に住み続けたくない理由(複数回答※2 つまで)

問 40 で金沢市での定住希望について「4・5」(住み続けたくない)を選んだ方

問 42 金沢市に「住み続けたくない」と思う理由は何ですか。あてはまるものを2 つまでお選びください。

- ・金沢市に「住み続けたくない」と思う理由は、「出身地に戻りたい・戻らなければならないから」が最も多く 37.0%を占めており、「子育てがしにくいから」が 36.1%となっています。

区分	票数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
出身地に戻りたい・戻らなければならないから	44	37.0%					
働きたい職場がないから	8	6.7%					
子育てがしにくいから	43	36.1%					
教育環境が良くないから	15	12.6%					
買い物や通勤・通学が不便だから	9	7.6%					
治安が悪いから	2	1.7%					
まちに賑わいがないから	5	4.2%					
自然が少ないから	2	1.7%					
住居費(家賃・地価)が高いから	23	19.3%					
知人や友人がいないから	17	14.3%					
新しいところで生活してみたいから	5	4.2%					
もっと都会に住みたいから	10	8.4%					
その他	27	22.7%					
無効・無回答	0	0.0%					
n(回答者数)	119						

15 自由意見

(1)子どもがいて「良かった」と感じる事・「感動した」こと(自由記入)

問 43 子どもがいて「良かった」と感じる事・「感動した！」ことはどんなことですか。どんなことでも結構ですので、記入してください。

子どもの成長

- ・赤ちゃんだった時のことを考えると歩けるようになったり喋れるようになったり、そばで日々の成長を見守れることが何よりいい事だと思います。
- ・今までできなかったことが出来るようになるなど、子どもの成長が感じられた時。子どもがいるだけで、家の中が明るく賑やかになる。
- ・日々の成長のスピード。赤ちゃんだったのに、今は周りのことを気かけたり、下の子を世話をしている姿を見ると、一年一年の成長が大きくて感動する。
- ・日々スポンジのようにいろんなものを吸収して成長を感じることが出来る時。急にできなかったことができるようになることにいつも驚かされ、感動する。
- ・成長するほど喧嘩することも増えたけれど、そんな時にも成長を感じるし、発見が多くて毎日が楽しいです。自分が産んだけど自分とは違う考え方に個性を感じて素敵だなと思えるのも幸せです。
- ・毎日溢れんばかりの癒しをくれること。ここに存在してくれているだけでとてつもない愛情に包まれています。また周りの人の優しさに触れ、気付くことができたこと。毎日自分なりに必死に育児していますが、しっかりと日々成長してくれることに感動しています。
- ・独身時代は子どもが苦手な方だったが、出産してからは我が子の成長が嬉しいし、よその子どもも可愛いと思えるようになった。友人や知人は疎遠になってしまった者も多いが、子どもはいつも「かーちゃん、大好きだよ」と言ってくれる。とても愛しい。
- ・おしゃべりをできるようになり、子どもの感じた嬉しかった事や楽しかった事を伝えてくれるようになった時に成長を感じて嬉しい気持ちになった。

自分の親への感謝

- ・子どもがいる事で自身の親への感謝ができる事や、一つ一つできる事が日に日に増えていくのを見ているのがいつも楽しく感動しています。
- ・自分もこうやって育ててもらったのだと改めて親に感謝する機会をもらえた。
- ・親の大変さを理解し、自身の親への感謝の気持ちを日々感じる事ができた。
- ・自分の子どもがどんなにかわいいか、自分もどれだけ愛されてきたかを知ることができてよかった。

家族の絆

- ・パートナーとの仲も深まる。毎日成長の連続で感動している。子どもがいるから辛いことも頑張ろうと思える。
- ・家の中が明るくなった。みんなとの会話が増えた。
- ・家族が賑やかになる。実家や親戚との交流が増える。

地域・人との交流

- ・親、兄弟、親族、ママ友など子どもの数分付き合いも増え、人間関係が広がる。
- ・子どもがいないと行かなかった場所に行って新しいお友達が出来たり、大人と交流をして色々と世界観や価値観が変わったと思う。
- ・色々な知り合いが出来たり会話が弾むきっかけになり、引っ越してから金沢をより深く知ることができた。
- ・こども関連イベントで、出会いや知識を得ることができた。

自分の成長

- ・大人だけでは出来ない経験ができること。人が成長するところを生で実感できること。
- ・大変な事も多いが、やはり人を育てる中でしか感じられない愛おしさを日々感じ、成長させてもらっている。
- ・「お母さん大好き」と愛情を向けてもらえることが嬉しい。子どもの成長を通して、自分の未熟なところを認識して自分の意識も変わっていくところがいい。
- ・自分の生き方についても考えるきっかけになったこと。子どもを通じた交流（園や学校など）が増えたこと。視野が広がったこと。

その他

- ・はじめて子どもを育てているが、わからないこと、難しいことがたくさんあった。辛い時もあったが慣れであったり、周囲にアドバイスを求めたり、力を貸してもらい、この一年間を乗りきることができたと思う。
- ・子どもがいることで自分自身の心が救われている感じがしました。つらいこと、悲しいことがあっても子どもの笑顔を見るだけで頑張ろうという気持ちが湧いてきます。子どもの強い生きる力に感動しました。
- ・『心配しないで、大きくなっても一緒にお買い物に行っておあげる』って双子男児に言われた時、頑張ってたよかったですと思いました。

(2)子育てで「つらい」と感じる事・「困ったこと」(自由記入)

問 44 子育てで「つらい」と感じる事・「困ったこと」はどんなことですか。どんなことでも結構ですので、記入してください。

しつけや生活習慣

- ・言うことを聞いてくれない時。家事の負担が増える。
- ・言ったことを守ってもらえないとき。外でワガママを言われたとき。
- ・作ったご飯を食べてくれないとき。思うように買い物が出来ないとき。泣き暴れ手がつけられないとき。
- ・子どものゲームやネット依存にイライラし、対応策も見いだせない。
- ・兄弟喧嘩が多い。理不尽な要求に対して常に冷静に対処し続けることが難しい。
- ・パートナーとの意見の違い。
- ・躰けても言うことを聞かずフラフラする。いくら言い聞かせても約束を守れない。発達障害では？と思うが、適度な相談場所がない。園生活や小学校で迷惑をかけないか不安だ。
- ・上の子と遊んであげたくても下の子のお世話や授乳で十分な時間が作れないこと。泣いたり寝かしつけに時間がかかり、一緒に遊んでと言われても我慢させてしまっている。
- ・祖父母に子育てや日々の努力を否定されること。食物アレルギー持ちで病院にもかかっているのに何も気にしてくれないこと。

子どもの友達関係

- ・子どもが喧嘩している時。友達とトラブルがあった時。
- ・子どもがつらい思い（学校や友達関係で）をしていると、自分もつらくなる。夫の仕事が忙しい時は家事、子育ての負担が全て自分にかかってくるので、そうなった時はしんどくなる。
- ・子ども同士のトラブル(揉め事)に親がどこまで入れればいいのか困ったことはあります。

発達・発育

- ・夜泣きによる寝不足。
- ・イヤイヤ期や文句を言う時は大変です。
- ・叱り方が分からない、反抗されたときの対応が難しい。
- ・時々癩癩を起こしたように泣くので、周囲の視線が気になる。

自分の時間が無い

- ・日々育児に追われ自分の時間が全く取れず息が詰まりそうになる時がある。
- ・週末、仕事は休みだが、子育ては休みではないので、休む時間がなく辛いと感じる。親も心身共に休みたい。
- ・自分の睡眠時間や自由時間を確保できないことがある。
- ・近くに親戚がいないため、子どもが病気の時などに仕事を休まざるを得ない。また、ワンオペのタイミングが多く、気軽に会える友人もいないため、辛いと感じる時がある。
- ・毎日、仕事との両立で時間が足りない。休みの日は平日に仕事と家事がスムーズに行くように買い物や食事の作り置きやその他の準備で時間をとられ子どもとゆっくり過ごす時間がない。残業で保育園のお迎えに間に合わない時、子どもが病気なのに自分は仕事が休めない時、何のために働いているのかと思います。

子育てへの不安

- ・自分の子育てがこれでいいのか不安になる。周りと比べてしまう。
- ・仕事と子育ての両立、妊婦中の上の子の世話、産後の子育て、子どもの発育、教育の仕方等、悩みがある時に、専門機関まで相談するとなるとハードルも高く、悶々とする時がある。行政等信頼できる機関とインターネットやSNSなど、手軽に悩みをやり取りできるツールがあると良いなど思う。
- ・ずっと相手をするのが疲れる。育て方が不安。

父親の育児不参加

- ・旦那が家より仕事優先であること。自宅保育をしていると、自分が体調不良になっても病院に行けないこと。
- ・夫の職場の無理解です。母親（私）の職場はサポートする気運がありますが、夫はずっと働かされておられ、産後は単身赴任でワンオペでした。夫の育休などあり得ない雰囲気でした。
- ・旦那がいない時、特に夜勤の時。支援センターなど日中はどこでもやっているが土日や夜やっていない所が多いので、いっぱいいっぱいになったとき精神的に辛い。

経済的負担

- ・できれば3歳までは毎日一緒にいたかったが、経済的余裕がないので働かざるおえず、1歳で保育園に預けなくてはいけないのがとても寂しく、辛い。
- ・もっと子どもとの時間を取りたいが、将来への経済的心配が大きく働かざるを得ない。
- ・義務教育にかかるお金、保育園の副食費、高校はほぼ9割行くのに義務教育でないため授業料無償といっても制服代や教科書代等かなりお金がかかる。年齢が上がるにつれお金かかるのに児童手当は下がっていく。

- ・夫婦共にシフト勤務、妻は夜勤がある仕事をしているが、物価上昇や経済的理由で夜勤もシフト勤務も辞められない。保育園のお迎え時間の制約があり、日祝は保育園がやっていないためファミサポさんやシッターさんに保育をお願いする。そうするとお金がさらにかかる。保育園での預かり時間の延長と日祝、年末年始やお正月なども保育できる園を増やして欲しい。

家庭と仕事の両立

- ・仕事との両立。仕事が終わってご飯やお風呂、寝かしつけまでの時間があまりないので疲れる。
- ・ワンオペ育児が精神的・体力的に負担が大きいこと。育児と仕事を両立すること。
- ・平日はワンオペでやらなければいけない。仕事と育児の両立で自分の体調を崩し、退職することになった。平日は1人で仕事、家事育児をこなしていて、自分のリフレッシュの時間も少なく、身体的にも精神的にもかなり辛かった。
- ・安心して預けられる自分の親が他県にいる。0~4歳までフルタイムでしたので、残業がほぼできず、大急ぎで保育園へ迎えに行きご飯、風呂がワンオペで毎日行われていた。
- ・仕事と家庭と子育ての両立が大変である。それを職場が理解しない。

病気の時の対応

- ・病気になったとき、病院は待ち時間が長く兄弟連れてだと大変すぎて辛い。また、兄弟に移ることや学校幼稚園を休まないといけない。仕事も休まないといけない。
- ・シングル家庭なので夜間などに自分や子どもの体調が悪化したとき誰にも助けを求められない。
- ・自分の体調が悪い時、誰かに子守りをしてもらう段取りをしないと、病院にも行けない。
- ・病気になった時に頼れる場所が少ない。病児保育も登録しているが、普段預けない場所に預けることに不安がある。

その他

- ・地元の目の前にある保育園に入園できずかなり離れた所に通っている。延長保育やバス代など市からの補償がない。地域の子どもが地域の保育園、こども園を利用させてほしい。
- ・夫婦での子育ての考え方の違いがあった時などはつらい。子ども中心の生活になり、夫婦での時間が取りにくくなった。

(3)金沢市の子育ての環境や支援についての意見(自由記入)

問 45 最後に、金沢市の子育ての環境や支援についてご意見がございましたら、ご自由に記入してください。

経済的支援

- ・未満児の保育料を無料にしてほしい（安くしてほしい）。
- ・こどもの医療費を18歳まで無償化してほしい。
- ・出産時の助成金など手厚くしてほしい。
- ・物的支援（オムツ、お尻拭き）があればありがたい。
- ・所得制限なく支援してほしい。
- ・第3子からではなく、第1子から手厚い経済サポートがあると2人目3人目も産みたいと思う。

こどもの預かり

- ・乳幼児(0～1才)が希望の保育園に入りやすくなるとありがたい。
- ・職場が土日祝日の勤務が普通なので、保育所で土日祝日も見てほしい。
- ・病児保育の定員数、施設をもっと増やしてほしい。土日に利用できる施設を増やしてほしい。
- ・一時預かり施設をもっと増やしてほしい。
- ・放課後児童クラブ(学童保育)を充実させてほしい。
- ・学童の利用時間帯を広げてほしい。フルタイムで働く親のニーズに合っていない。
- ・学童クラブで文化的、芸術的な活動などの経験ができれば嬉しい。
- ・医療的ケア児を軽度重度関係なく、預けられる保育園を整備してほしい。

遊び場

- ・大きな遊具がある公園(駐車場がちゃんとある)をもっと作ってほしい。
- ・もっと、金沢市内に室内で思いっきり遊ぶ場を作って欲しい。
- ・兄弟に年齢差があっても連れていきやすい室内遊び場を充実させてほしい。
- ・保育園の以上児や小学生になってからも楽しめる遊び場、施設がもう少しあるといい。
- ・子供と大人と一緒に遊んだり、学ぶことができる施設がもっとあるといいなと思う。
- ・土日や年末年始に利用できる子連れスポットが欲しい。

子育て支援

- ・産後ケアにもっと力を入れていただけたら嬉しい。
- ・土日祝就労者に対する支援を増やしてほしい。
- ・子供の数で区別せず、子育て世帯に等しく支援をしてほしい。
- ・子育てクーポンなどもう少し充実させてほしい。

- ・障害がある子と働く親への支援をもう少し考えてもらいたい。療育に行くために仕事を休んだり、保育園側から預ける時間を制限されて残業ができなくなるなど、思うように働けない。

情報提供・相談窓口

- ・どの施設が何を担っているのか、誰が利用できるのか、多くの人にわかるようにしてほしい。
- ・子育て支援など、利用活用できるものがわかりにくいので、SNSの専用アカウントで配信したりHPでもっとリンクを集約して周知、検索性あげる等してもらいたい。
- ・アプリやLINEといったSNSでの匿名メール相談窓口がほしい。
- ・保育園や幼稚園の情報が見えにくい。
- ・小学校や学童保育の情報がなく、今後どのようにすればいいのか、どこで情報を得ればいいのか全くわからず不安。こども園などに情報や案内を置くなど、見えるようにしてほしい。

その他

- ・保育所や学校等に勤務する人達の賃金を上げたり配置人数を増やして仕事の負担の軽減を測るなど、労働環境の改善を実施してほしい。子どもを安心して預けられる施設であってほしい。
- ・孫育てをしている祖父母世帯への補助があるといい。
- ・子ども達にもっと優しい街であって欲しい。大事な宝物として皆で育てる気持ちで支援を拡充してほしい。